

**第 2 期加東市
子ども・子育て支援に関する
アンケート調査結果報告書**

**平成 31 年 3 月
兵庫県 加東市**

目 次

第1章 調査実施の概要.....	3
1 調査の目的	3
2 調査の設計	3
3 調査票の配布と回収状況	4
4 報告書の見方について	4
(1) 年齢・学年の定義	4
(2) 電算処理の注意点	4
(3) グラフの見方について	5
5 調査対象者の属性・家族状況	5
(1) 就学前児童について	5
(2) 小学生について	6
(3) 居住地域の状況	6
(4) 調査回答者について	7
6 調査結果からみた課題・分析	8
第2章 子育て家庭を取り巻く環境	13
1 子育ての環境について	13
(1) 主な保育者と親族等協力者の状況	13
(2) 子育てに関する相談者の状況	16
2 主な保育者とその就労状況	17
(1) 母親の就労状況	17
(2) 父親の就労状況	22
第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望	29
1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望	29
(1) 平日の定期的な教育・保育事業	29
(2) 今後の利用希望	40
2 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望	42
(1) 土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望	42
(2) 長期休業中の教育・保育事業の利用希望	44
3 地域の子育て支援事業の利用状況	45
(1) 地域の子育て支援拠点事業の利用状況	45
(2) 今後の利用意向	46
4 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ	47

5 不定期の一時預かり等の利用について	51
(1) 不定期に利用している教育・保育事業の状況	51
(2) 宿泊を伴う一時預かり等の利用状況	54
6 放課後の過ごし方について	56
(1) 平日の放課後の過ごし方について	56
(2) 土曜日、日曜・祝日、長期休業期間中のアフタースクール利用希望	62
第4章 育児休業制度の利用状況	67
1 育児と仕事の両立支援制度について	67
(1) 育児休業制度の利用状況	67
(2) 職場復帰の状況	69
第5章 子育て全般	73
1 子育ての楽しさについて	73
2 充実してほしい子育て支援施策	74
第6章 子ども・子育て支援に関する自由意見	77
1 就学前児童の保護者の自由意見	77
2 小学生の保護者の自由意見	90
資料編	101
1 就学前児童の調査票	101
2 小学生の調査票	106

第 1 章

調査実施の概要

第1章 調査実施の概要

1 調査の目的

本市では「子ども・子育て支援法」に基づき、全ての子どもや子育て家庭が健やかに成長することができる社会の実現を目指して、平成27年3月に「加東市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、様々な子育て支援事業に取り組んできました。同計画は平成27年度から31年度までの5か年計画であり、来年度には計画の最終年度を迎えることから、次期計画となる「第2期加東市子ども・子育て支援事業計画」（以後、「第2期計画」という。）の策定を予定しています。

第2期計画策定にあたり、市民の皆様の子育て支援に関する実態、ご意見・ご要望などの必要な情報を得るため、子育て家庭のニーズについて動向分析等を行い、本市の現状及び今後の子ども・子育て支援における課題の整理を目的としたアンケート調査を実施しました。

2 調査の設計

調査票は調査対象者別に作成しており、各調査の件数および調査期間・方法は、以下のとおりです。

■ 調査票の種類と調査対象者及び調査の実施方法

①調査票「子ども・子育て支援に関するアンケート調査(就学前児童の保護者の方へ)」	
調査対象者	平成31年2月1日時点で、市内在住の就学前児童の保護者
調査票配布数	1,200人
調査期間	平成31年3月12日～平成31年3月25日
調査方法	郵送による配布・回収
②調査票「子ども・子育て支援に関するアンケート調査(小学生の保護者の方へ)」	
調査対象者	平成31年2月1日時点で、市内在住の小学生の保護者
調査票配布数	800人
調査期間	平成31年3月12日～平成31年3月25日
調査方法	郵送による配布・回収

3 調査票の配布と回収状況

調査によるそれぞれの配布・回答状況は、以下のとおりです。

■ 調査票の配布・回収状況

調査対象者	配布数(人)	回収数(人)	回収率(%)
就学前児童の保護者	1,200	471	39.3
小学生の保護者	800	326	40.8

4 報告書の見方について

(1) 年齢・学年の定義

就学前児童・小学生の年齢定義は、アンケート調査において誕生日の年月を回答しているため、下表による年齢区分により集計を行いました。

未就学児童 年齢区分	該当する生年月	小学生 学年区分	該当する生年月
0歳児	平成30年4月以降	1年生	平成24年4月～平成25年3月
1歳児	平成29年4月～平成30年3月	2年生	平成23年4月～平成24年3月
2歳児	平成28年4月～平成29年3月	3年生	平成22年4月～平成23年3月
3歳児	平成27年4月～平成28年3月	4年生	平成21年4月～平成22年3月
4歳児	平成26年4月～平成27年3月	5年生	平成20年4月～平成21年3月
5歳児	平成25年4月～平成26年3月	6年生	平成19年4月～平成20年3月

(注) 調査期間【平成30年度】における年齢定義

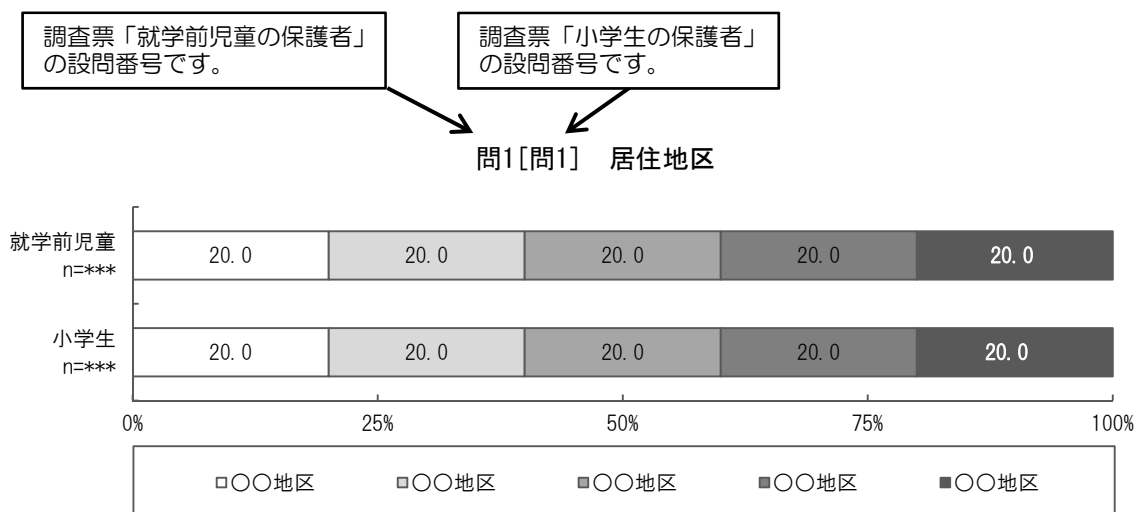
(2) 電算処理の注意点

調査結果の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

なお、基数となる実数は「n」として掲載し、各グラフや表の比率は「n」を母数とした割合を示しています。

また、複数回答が可能な設問では、各項目の割合の合計が100%を超える場合があります。

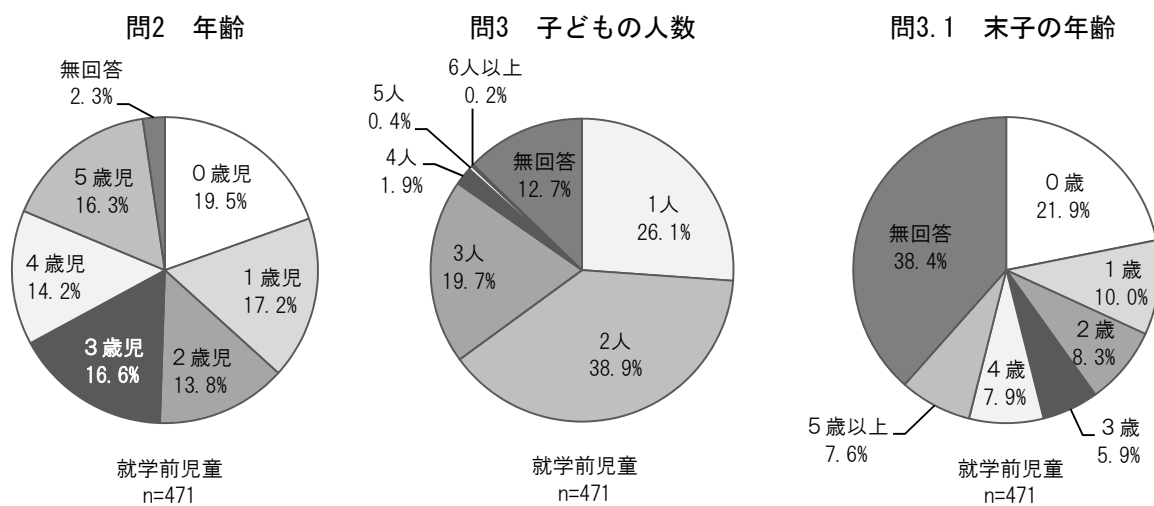
(3) グラフの見方について



5 調査対象者の属性・家族状況

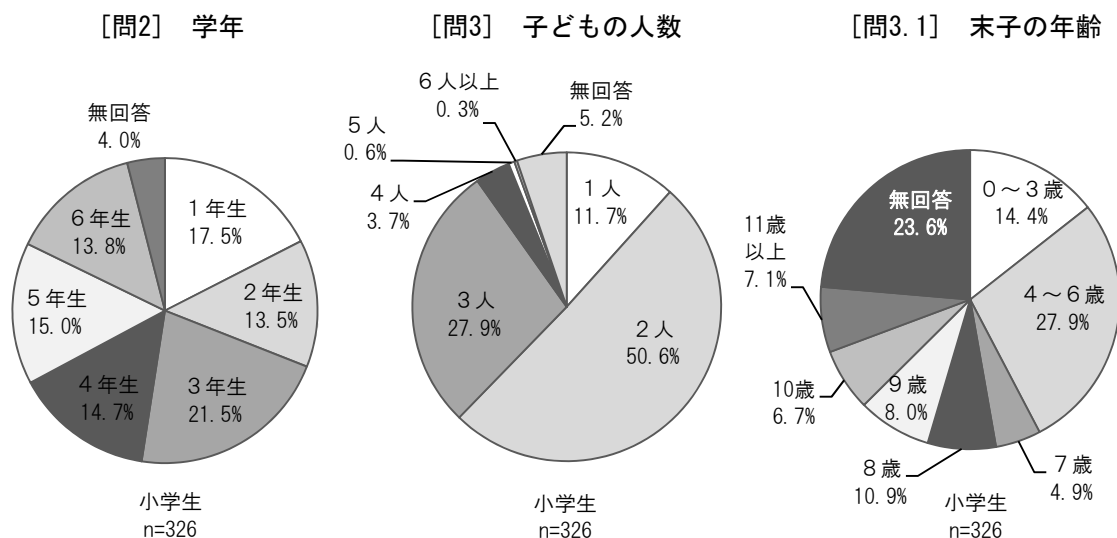
(1) 就学前児童について

○就学前児童471人の内訳は、以下のとおりです。



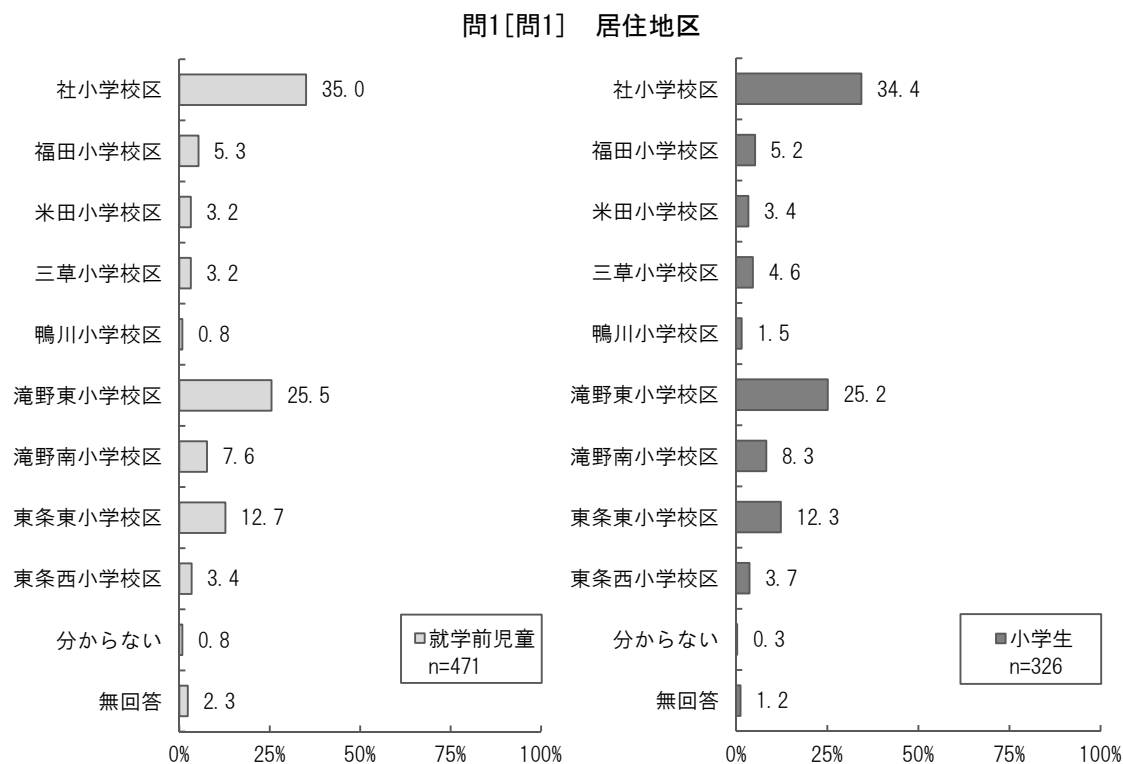
(2) 小学生について

○小学生326人の内訳は、以下のとおりです。



(3) 居住地域の状況

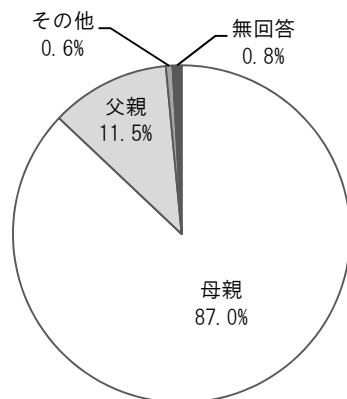
○回答者の居住地区の内訳は、以下のとおりです。



（４）調査回答者について

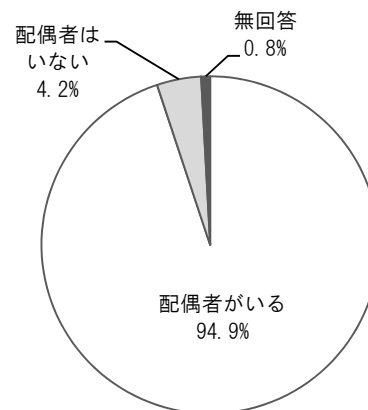
○回答者については、以下のとおりです。

問4 調査回答者（就学前児童）



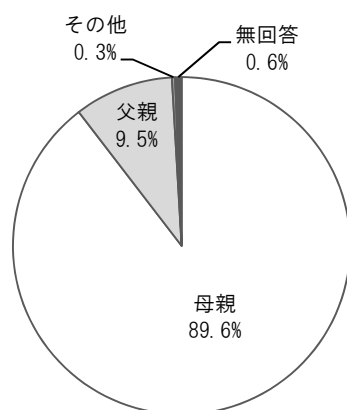
就学前児童
n=471

問5 配偶者の有無（就学前児童）



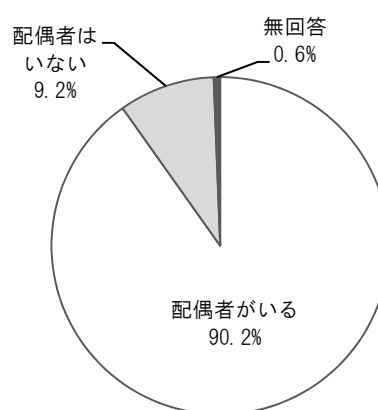
就学前児童
n=471

〔問4〕 調査回答者（小学生）



小学生
n=326

〔問5〕 配偶者の有無（小学生）



小学生
n=326

6 調査結果からみた課題・分析

課題1 子育て中の保護者の視点に立った施策展開のあり方

充実してほしい子育て支援策をみると、就学前児童・小学生いずれも「子どもの医療機関の充実」「園や学校教育環境の充実」「犯罪や交通事故から子どもを守る取り組みの充実」が5割を超え、上位3位に入っています。

また、自由回答の意見をみると、就学前児童では、医療費無償化の拡大や待機児童対策に関する要望が多く、小学生では安心して通学できる環境やアフタースクールに関する要望が多くなっています。

子育てしやすいまちとするために、子育て中の保護者の視点に立った施策展開が必要となります。【問30、問31[問20、問21]】

課題2 教育・保育の無償化によるニーズ増を想定した施設整備のあり方

教育・保育の無償化の視点から平日の教育・保育事業の利用希望をみると、「無償であれば利用したい」割合は、「事業所内保育施設」(32.9%)が最も高く、次いで「保育所」(30.1%)、「小規模な保育施設」(29.5%)、「自治体の認証・認定保育施設」(28.9%)、「幼稚園の預かり保育」(28.2%)が3割前後となっています。

今年10月から始まる教育・保育の無償化に伴う新たな利用ニーズ増に対応できるよう、教育・保育事業の整備のあり方について検討が必要です。【問13-1、問14】

課題3 アフタースクールの充実した事業内容のあり方

放課後の過ごし方の希望をみると、就学前児童では小学校低学年のうちは「アフタースクール(学童保育)」を51.9%が希望し、小学校高学年でも29.9%が希望しています。一方、小学生では小学校低学年のうちは31.9%が希望し、小学校高学年は11.7%が希望しています。

また、土曜日、日曜・祝日、長期休業期間中のアフタースクールの利用希望をみると、就学前児童では土曜日47.5%、日曜・祝日22.5%、長期休業期間中53.3%となっています。一方、小学生では土曜日28.0%、日曜・祝日6.5%、長期休業期間中31.6%となっています。

児童の安全な放課後の過ごし方に対し、「アフタースクール(学童保育)」は一定の役割を担っており、利用時間や利用のしやすさ、カリキュラムなど、事業のあり方について検討が必要です。

【問23、問24、問26、問27[問14、問15、問17、問18]】

課題4 母親の就労状況に柔軟に対応できる教育・保育事業の運営のあり方

日常的に子育てに関わる割合が高い母親について就労状況をみると、就学前児童では73.2%の方が就労しています。その帰宅時間は「19時台」までが9割を超え、そのうち「18～19時台」が4割を超えていることから、帰宅時間まで預けられるような教育・保育事業の運営のあり方について検討が必要です。

また、母親の就労日数をみると「6日以上」が就学前児童・小学生いずれも6%程度となっていることから、土曜日や日曜・祝日の運営についても検討が必要です。

【問6、問10、問10-1、問10-2[問6、問10、問10-1、問10-2]】

課題5 周囲の援助が得られない子育て環境にある家庭に対する支援のあり方

子育てに関する親族・知人等協力者の状況をみると、「いずれもない」と回答した保護者は就学前児童で8.7%、小学生で10.7%となっています。

また、気軽に相談できる相手が「いない／ない」と回答した保護者は就学前児童4.5%、小学生7.1%となっています。

協力が得られない子育て環境にある保護者の割合は高くはないものの、必要な子育て支援策や気軽に相談できる環境の整備が必要と考えます。【問8、問9[問8、問9]】

課題6 「児童館」の利用者増を図る対策のあり方

地域の子育て支援拠点事業の利用状況をみると、「児童館」の利用は41.4%、「その他、市内で開催されている類似のサービス（子育てひろば等）」の利用は14.0%となっています。また、新規利用希望は18.7%、既存利用者の利用日数を増やしたい割合も18.3%となっており、利用促進に向けた施策の検討が必要です。

この事業には子育てに関する相談支援を担う機能もあり、気軽に相談できる環境が整っているため、利用者が多くなれば子育て中の保護者の相談相手として十分な役割を果たせるものと考えます。【問15、問16】

第2章

子育て家庭を取り巻く環境

第2章 子育て家庭を取り巻く環境

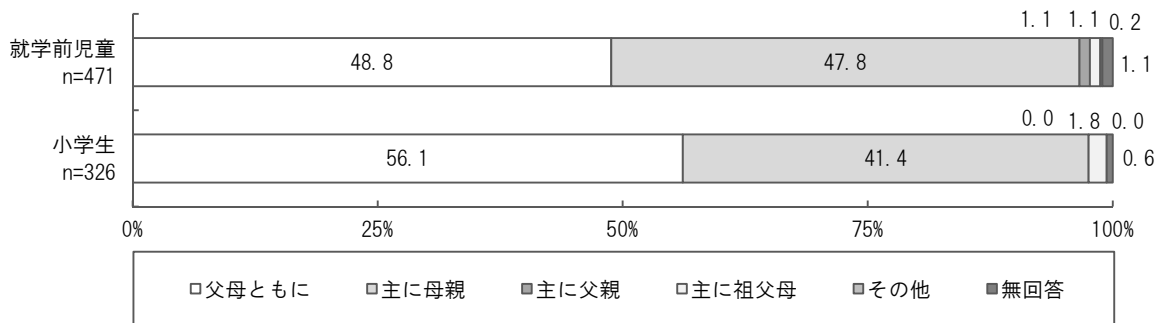
1 子育ての環境について

(1) 主な保育者と親族等協力者の状況

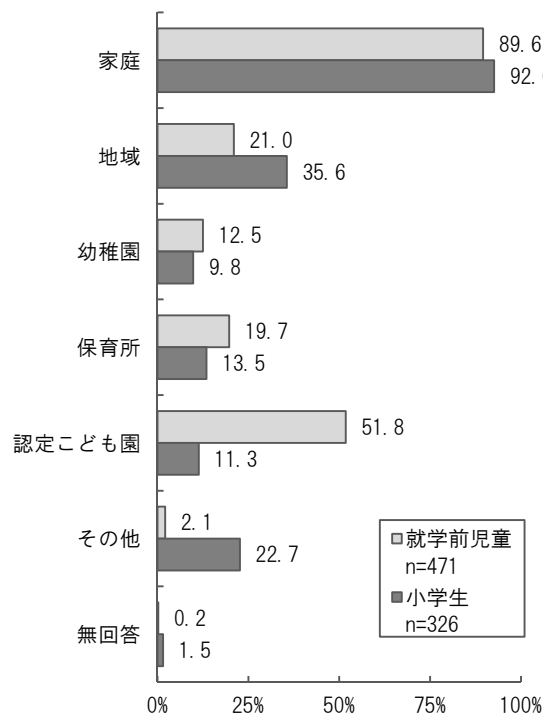
○主な保育者の状況をみると、就学前児童・小学生いずれも「父母ともに」「主に母親」で9割以上を占めています。

○子育てに影響を与える環境は、就学前児童・小学生いずれも「家庭」(89.6%・92.6%)が最も高く、次いで就学前児童は「認定こども園」(51.8%)、小学生は「地域」(35.6%)となっています。

問6[問6] 主な保育者の状況

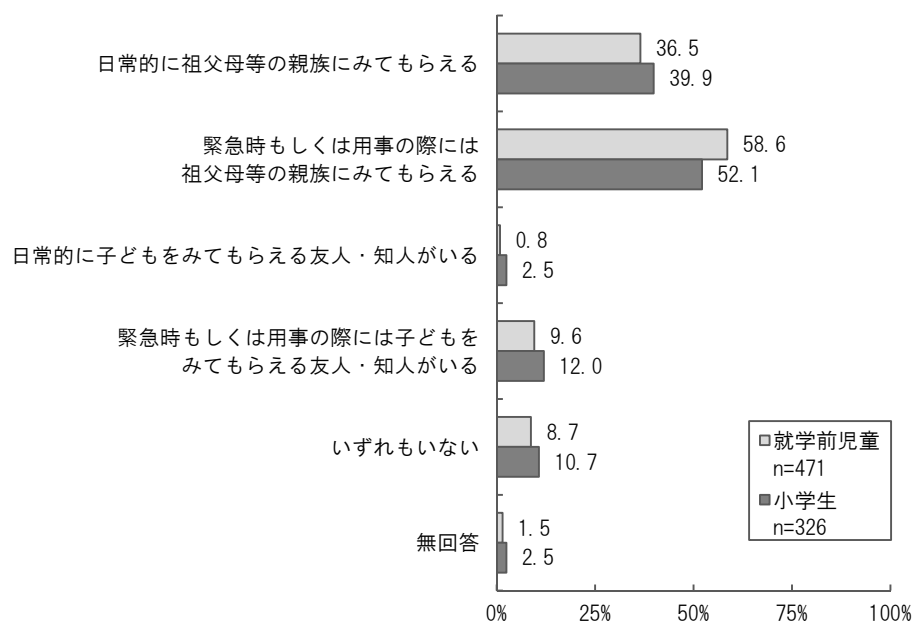


問7[問7] 子育てに影響を与える環境



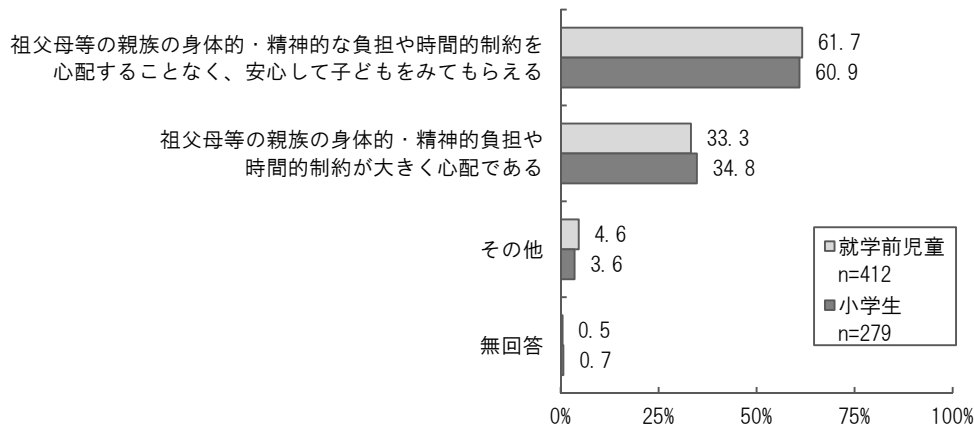
○子育てに関する親族・知人等協力者の状況をみると、就学前児童・小学生いずれも「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」(58.6%・52.1%)、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」(36.5%・39.9%)と親族の協力者が多い状況です。一方、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」(就学前児童9.6%・小学生12.0%)は1割前後であることから、緊急時であっても友人・知人には預けにくい状況がうかがえます。

問8[問8] 親族・知人等協力者の状況



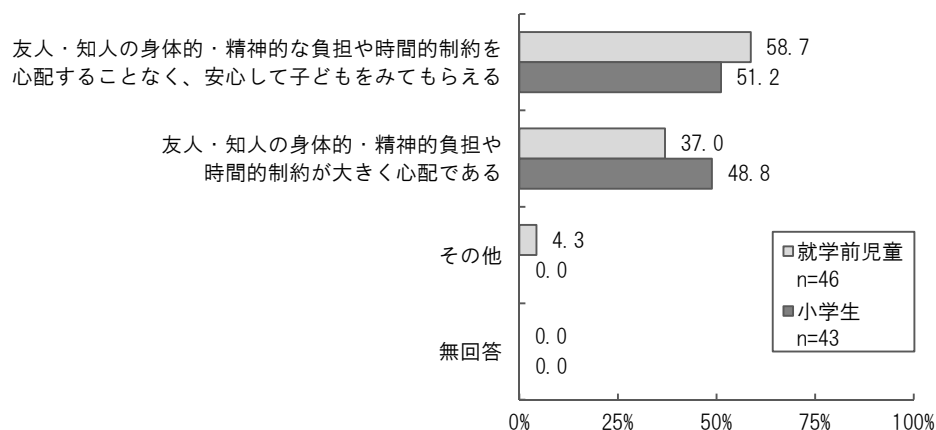
○祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況について、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」（就学前児童61.7%・小学生60.9%）が最も高いものの、「祖父母等の親族の身体的・精神的負担や時間的制約が大きく心配である」（就学前児童33.3%・小学生34.8%）と祖父母の負担を心配しながらみてもらっている割合も次いで高くなっています。

問8-1[問8-1] 祖父母等の親族に子どもをみてもらうことへの考え



○友人・知人に子どもを預かってもらっている状況について、「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」（就学前児童58.7%・小学生51.2%）が5割以上と最も高いものの、「友人・知人の身体的・精神的負担や時間的制約が大きく心配である」（就学前児童37.0%・小学生48.8%）も次いで高くなっています。

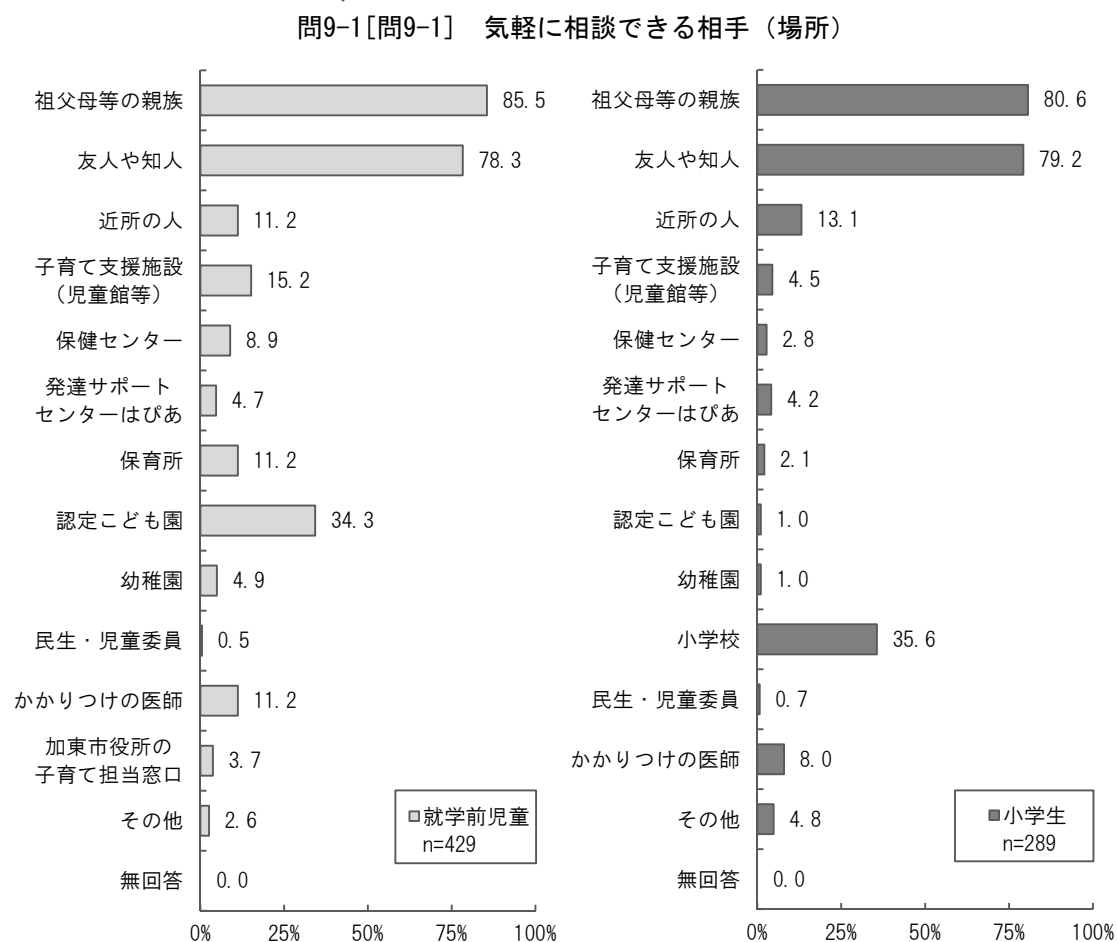
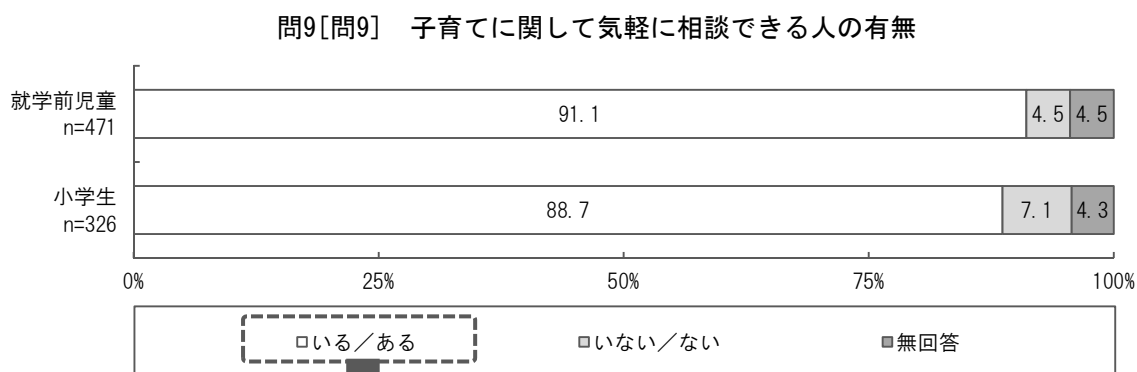
問8-2[問8-2] 友人・知人に子どもをみてもらうことへの考え



（２）子育てに関する相談者の状況

○子育てをする上で気軽に相談できる方の有無をみると、就学前児童・小学生いずれも「いる／ある」が約９割を占めています。

○気軽に相談できる相手（場所）は、就学前児童・小学生いずれも「祖父母等の親族」（85.5%・80.6%）が最も高く、次いで「友人や知人」（78.3%・79.2%）となっています。



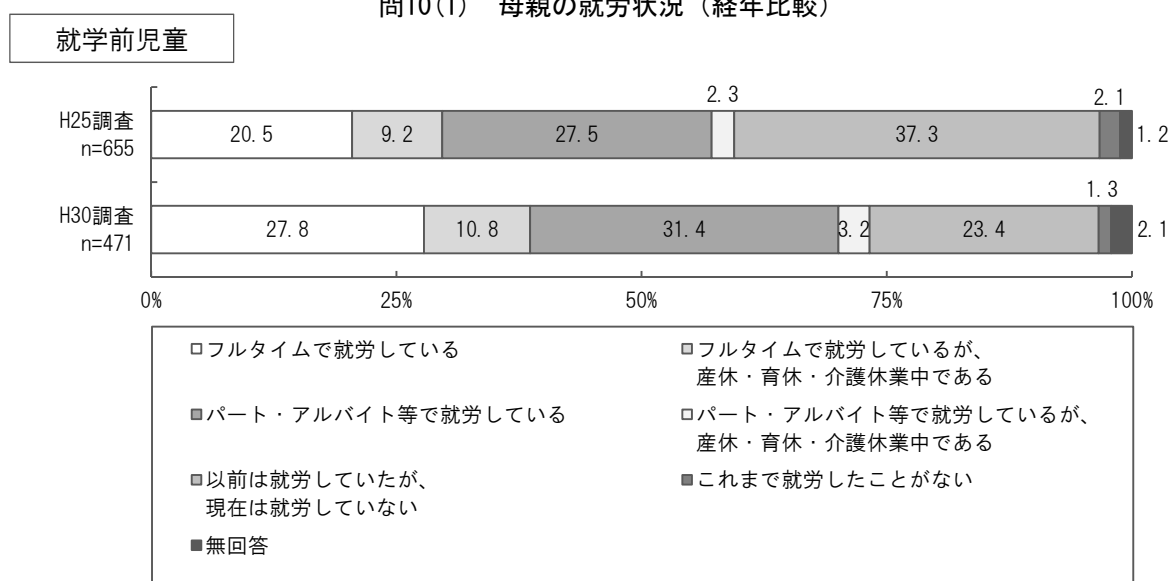
2 主な保育者とその就労状況

(1) 母親の就労状況

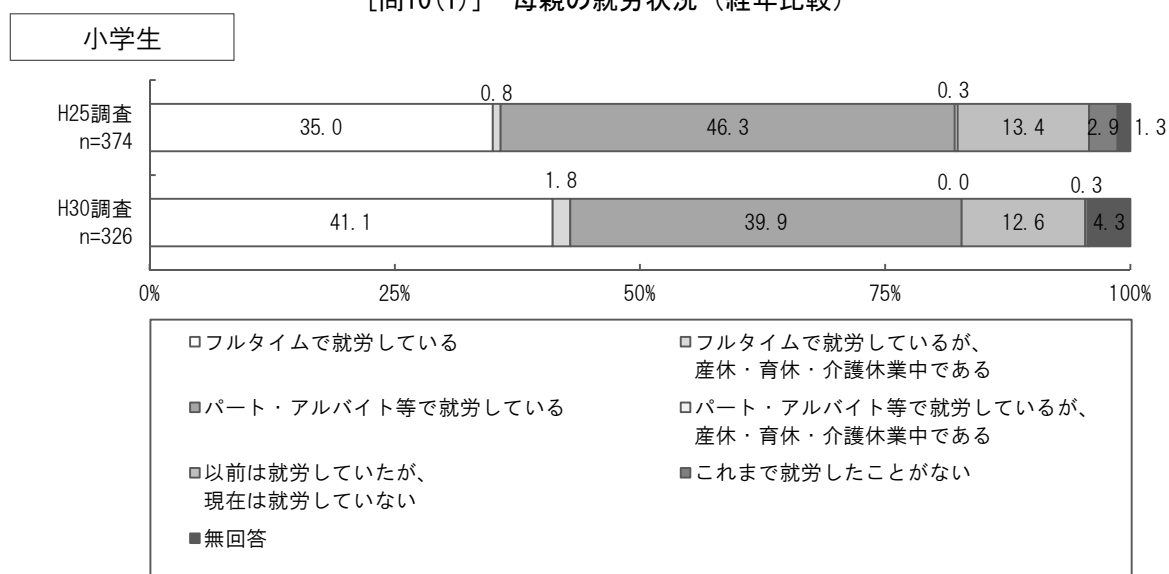
○母親の就労状況をみると、「フルタイムで就労している」「パート・アルバイト等で就労している」を合わせた現在就労している方(休業中を含む)は、就学前児童73.2%、小学生82.8%となっています。そのうち産休・育休・介護休業を取得中の方は、就学前児童14.0%、小学生1.8%となっています。

○前回調査と比較すると、就労している母親の割合は、就学前児童では13.7^{ポイント}、小学生では0.4^{ポイント}高くなっています。また、産休・育休・介護休業を取得中の割合は就学前児童では2.5^{ポイント}、小学生では0.7^{ポイント}高くなっています。

問10(1) 母親の就労状況（経年比較）

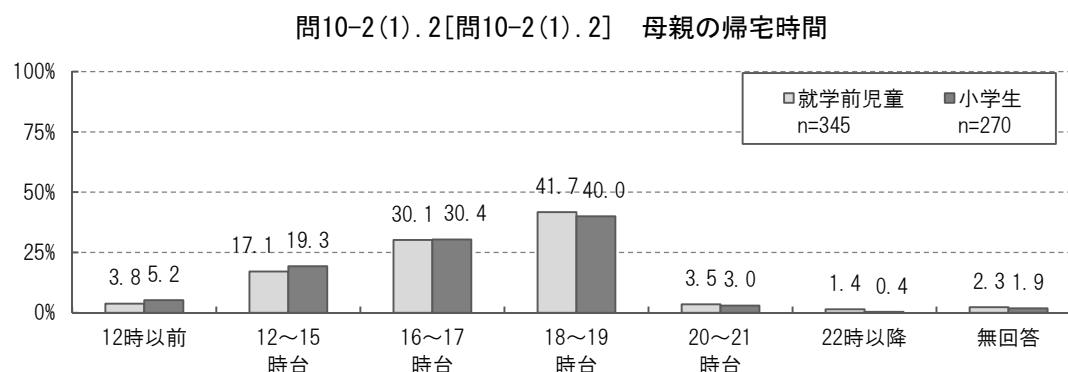
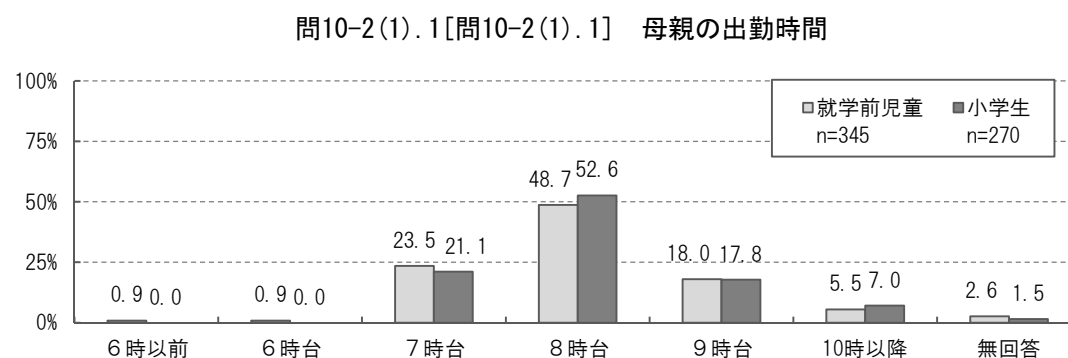
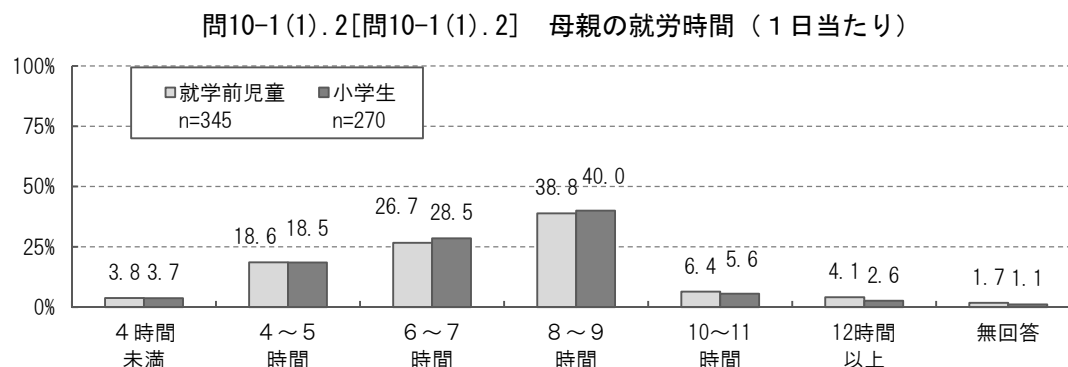
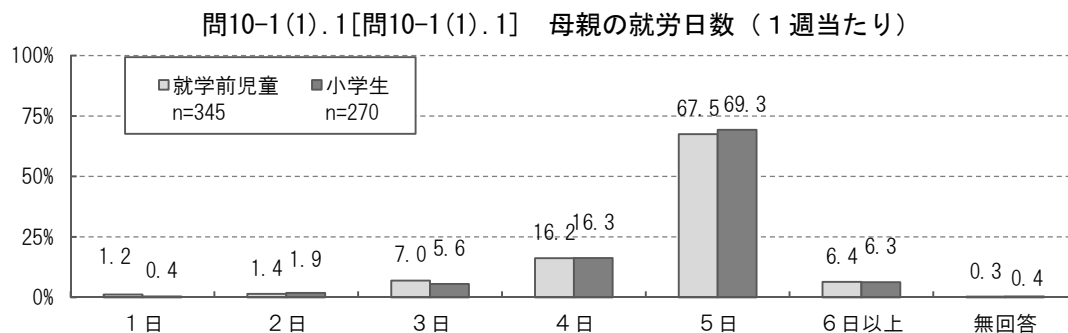


[問10(1)] 母親の就労状況（経年比較）

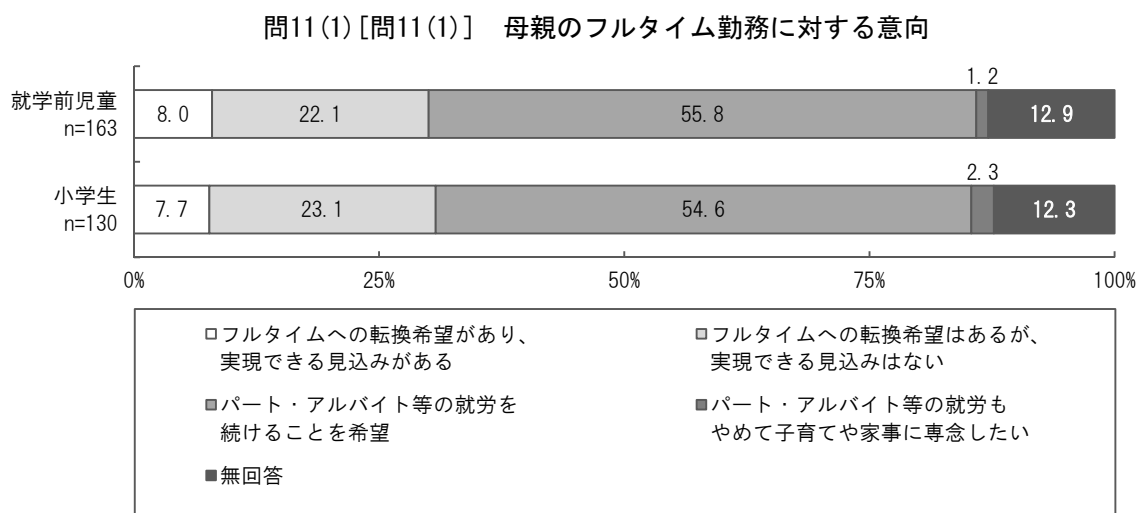


○母親の就労日数と就労時間をみると、就学前児童・小学生いずれも「5日」（67.5%・69.3%）、「8～9時間」（38.8%・40.0%）が最も高くなっています。

○母親の出勤時間と帰宅時間をみると、就学前児童・小学生いずれも「8時台」（48.7%・52.6%）、「18～19時台」（41.7%・40.0%）が最も高くなっています。



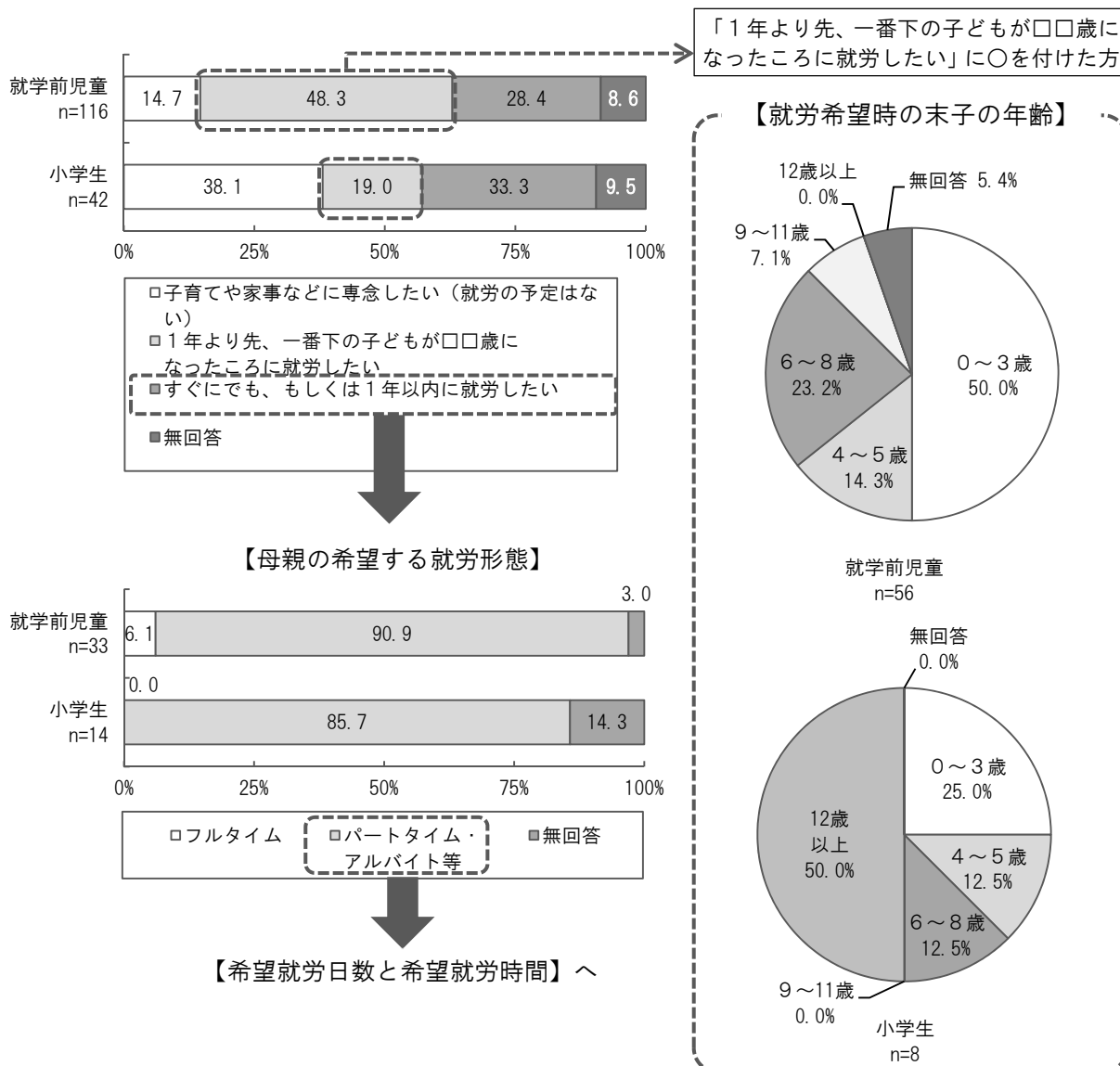
○「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」を合わせた『フルタイムへの転換希望』がある母親は、就学前児童30.1%、小学生30.8%となっています。



○『現在は就労していないが今後の就労希望がある』就学前児童の母親は76.7%（「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい（48.3%）」＋「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい（28.4%）」）となります。そのうち『すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい』母親が希望する就労形態としては「パートタイム、アルバイト等」（90.9%）、「フルタイム」（6.1%）となっています。また、『1年より先に就労したい』母親の、就労希望時の末子の年齢は「0～3歳」（50.0%）、「6～8歳」（23.2%）となっています。

○『現在は就労していないが今後の就労希望がある』小学生の母親は52.3%（「1年より先、一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい（19.0%）」＋「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい（33.3%）」）となります。そのうち『すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい』母親が希望する就労形態としては「パートタイム、アルバイト等」（85.7%）となっています。また、『1年より先に就労したい』母親の、就労希望時の末子の年齢は「12歳以上」（50.0%）、「0～3歳」（25.0%）となっています。

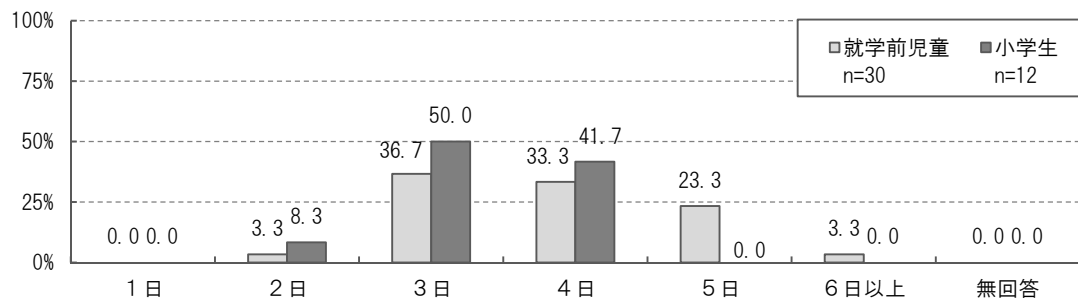
問12(1) [問12(1)] 就労していない母親の今後の就労意向



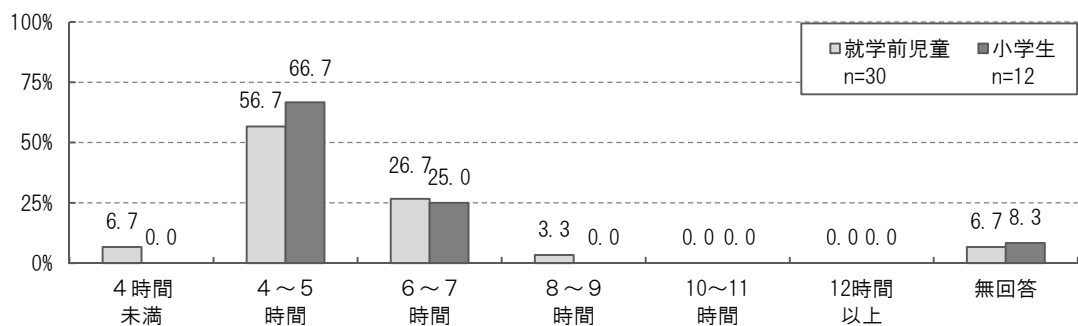
○パートタイム・アルバイト等での就労を希望する母親の希望就労日数をみると、就学前児童・小学生いずれも「3日」(36.7%・50.0%)が最も高く、次いで「4日」(33.3%・41.7%)となっています。

○希望就労時間は、就学前児童・小学生いずれも「4～5時間」(56.7%・66.7%)が最も高くなっています。

問12(1)②[問12(1)②] パートタイム・アルバイト等希望の母親の希望就労日数(1週当たり)



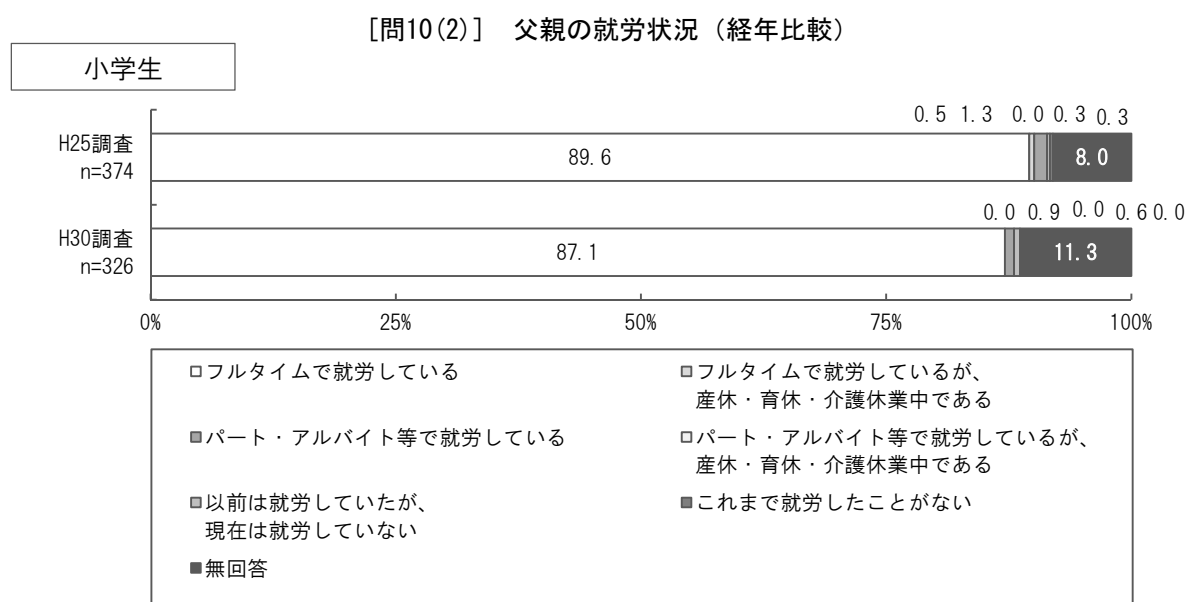
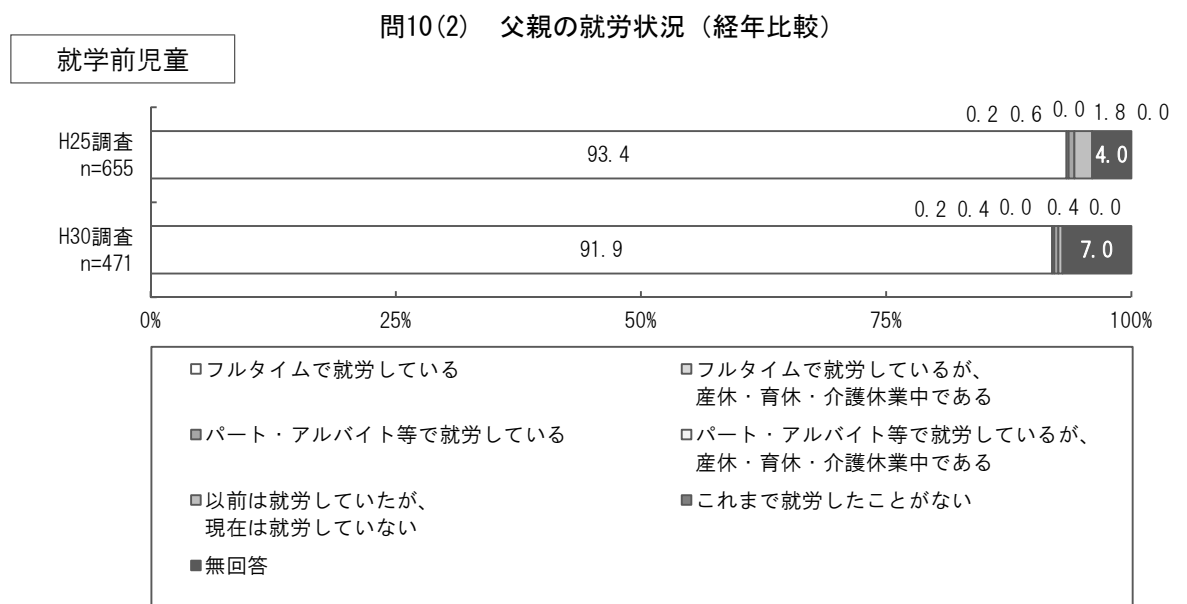
問12(1)②[問12(1)②] パートタイム・アルバイト等希望の母親の希望就労時間(1日当たり)



(2) 父親の就労状況

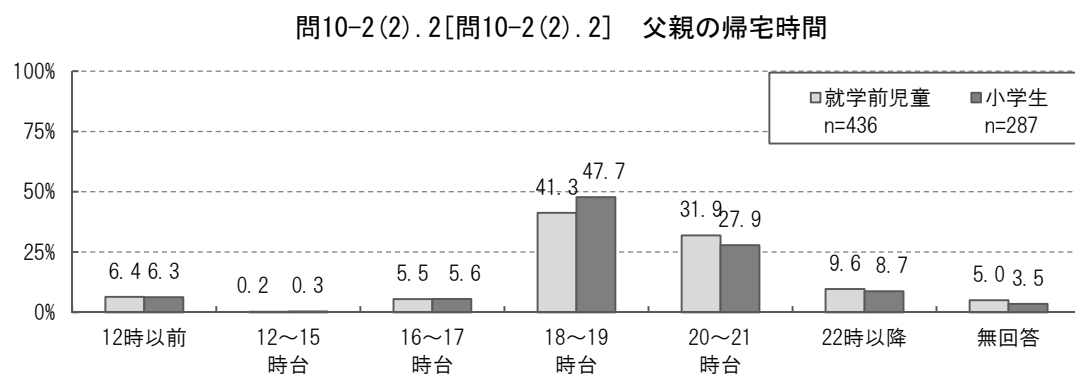
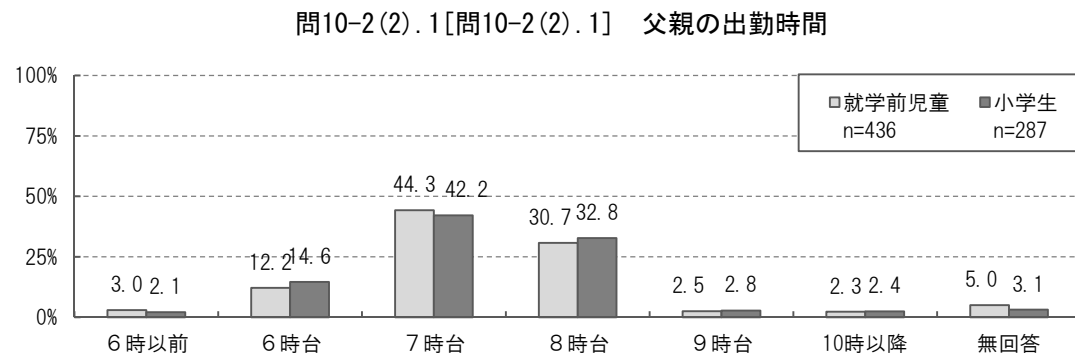
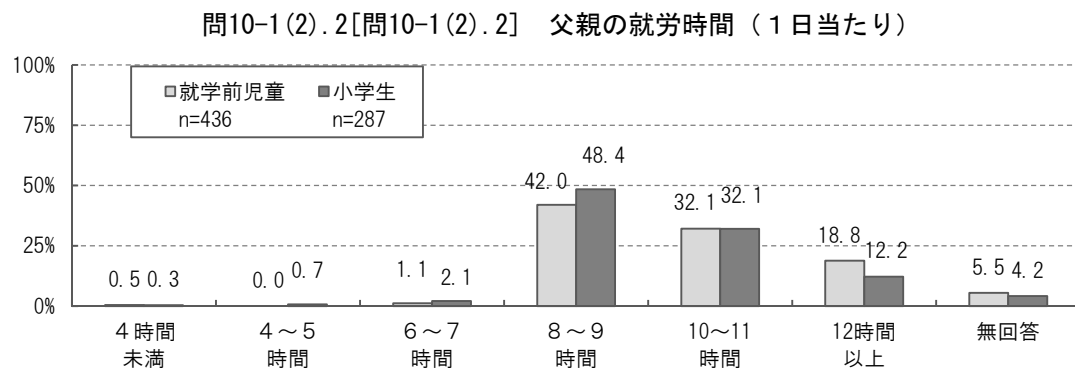
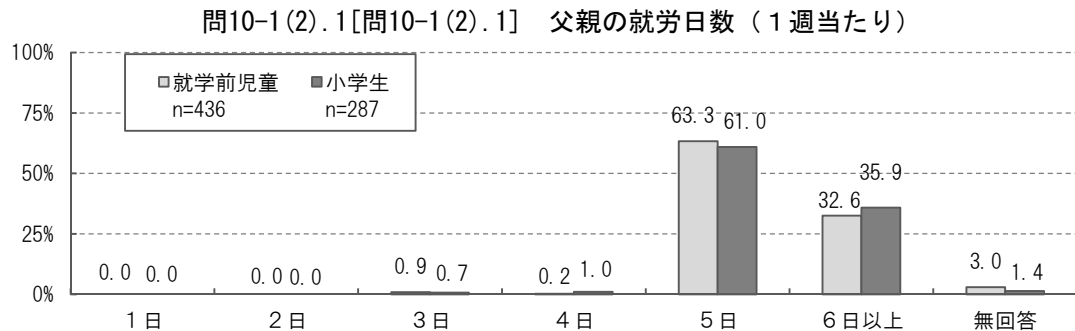
○父親の就労状況をみると、就学前児童・小学生いずれも「フルタイムで就労している」が大多数を占めています。

○前回調査と比較すると、前回も同様に、「フルタイムで就労している」が大多数を占めていますが、就学前児童では1.7^{ポイント}、小学生では3.4^{ポイント}低くなっています。また、育休・介護休業を取得中の割合は就学前児童では差がなく、小学生では0.5^{ポイント}低くなっています。

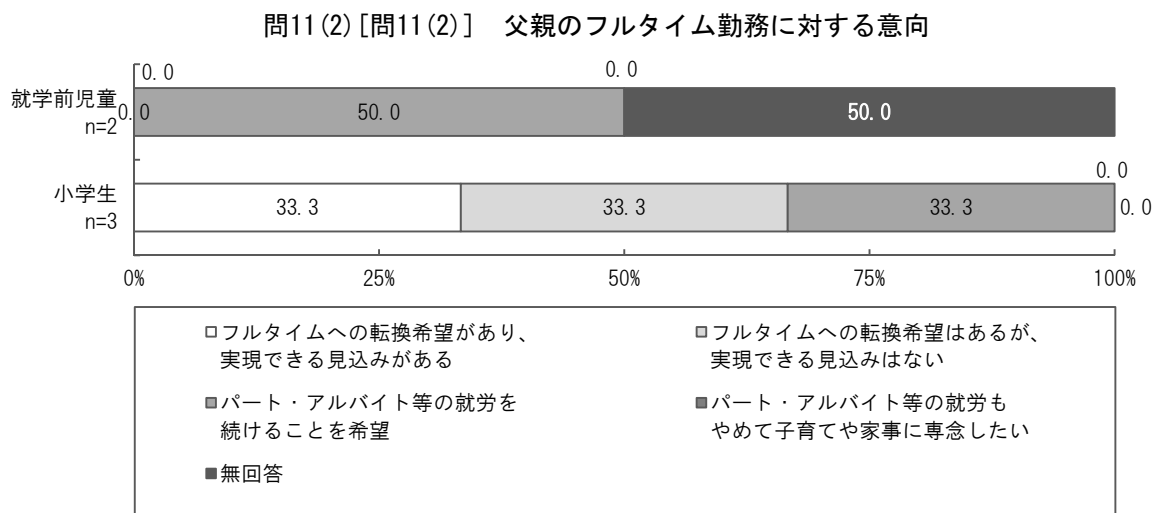


○父親の就労日数と就労時間をみると、就学前児童・小学生いずれも「5日」（63.3%・61.0%）、「8～9時間」（42.0%・48.4%）が最も高くなっています。

○父親の出勤時間と帰宅時間をみると、就学前児童・小学生いずれも「7時台」（44.3%・42.2%）、「18～19時台」（41.3%・47.7%）が最も高くなっています。

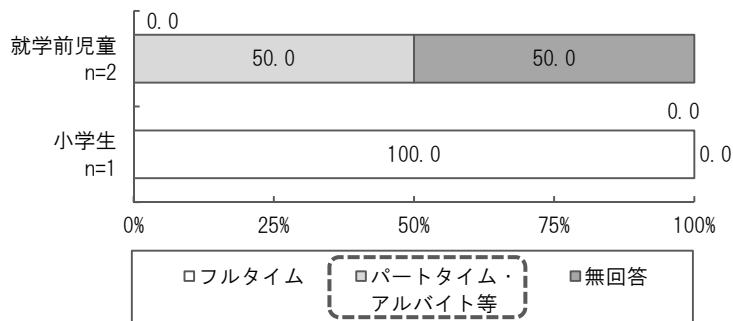
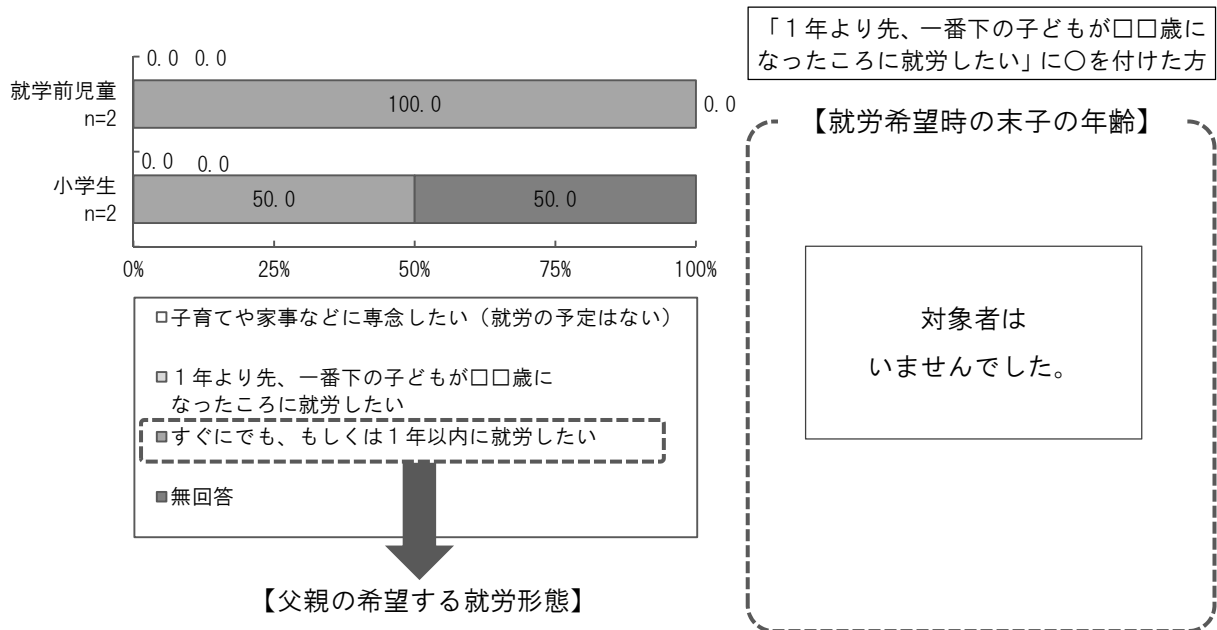


○「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」を合わせた、父親の『フルタイムへの転換希望』は以下の通りです。

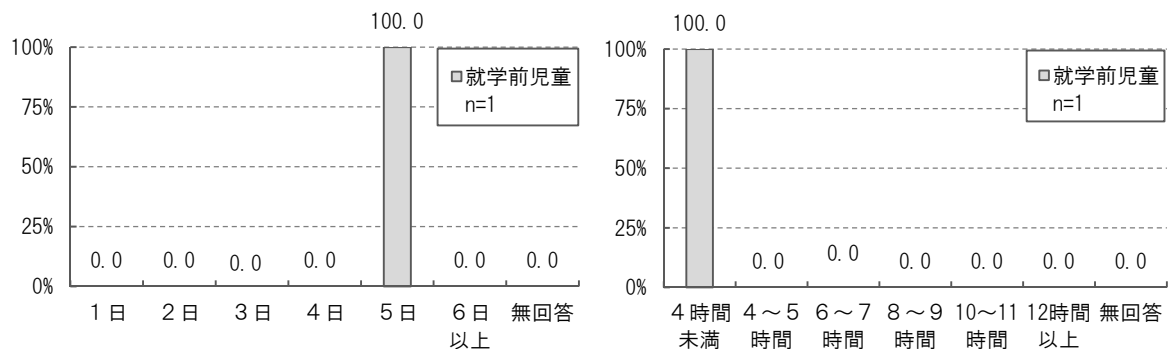


○現在就労していない父親の今後の就労意向は以下のとおりです。

問12(2) [問12(2)] 就労していない父親の今後の就労意向



問12(2)② パートタイム・アルバイト等希望の
父親の希望就労日数（1週当たり） 父親の希望就労時間（1日当たり）



第3章

子育て支援サービスの現状と 今後の利用希望

第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望

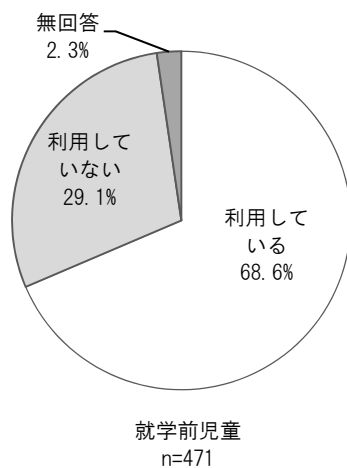
(1) 平日の定期的な教育・保育事業

○定期的な教育・保育事業を「利用している」は68.6%となっています。

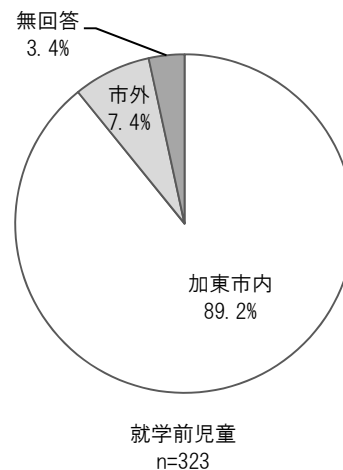
○利用中の事業をみると、「認定こども園」(70.6%)が最も高く、次いで「保育所」(15.5%)となっています。

○現在利用している教育・保育事業の実施場所は、「加東市内」が89.2%、「市外」が7.4%となっています。

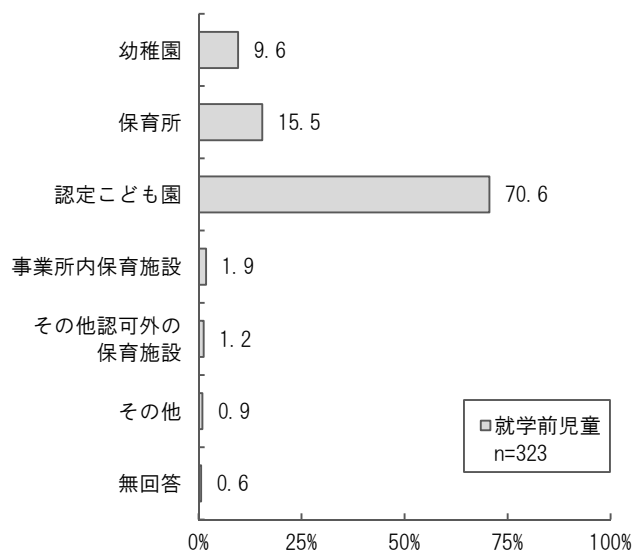
問13 定期的な教育・保育事業の利用状況



問13-2 教育・保育事業の実施場所



問13-1① 定期的な教育・保育事業の利用状況

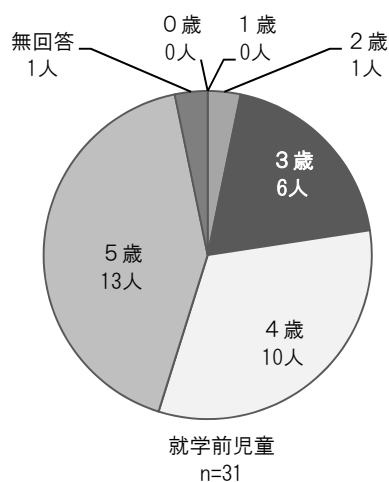


① 幼稚園利用者の状況

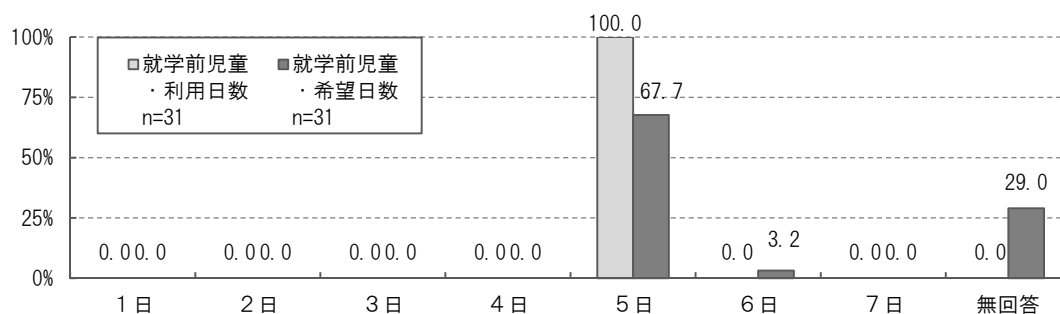
○幼稚園を利用していると回答した31人の年齢の内訳は、以下の通りです。

○幼稚園の利用日数と希望日数をみると、利用日数・希望日数いずれも「5日」（100.0%・67.7%）が最も高くなっています。

問13.1 幼稚園の年齢別利用者数



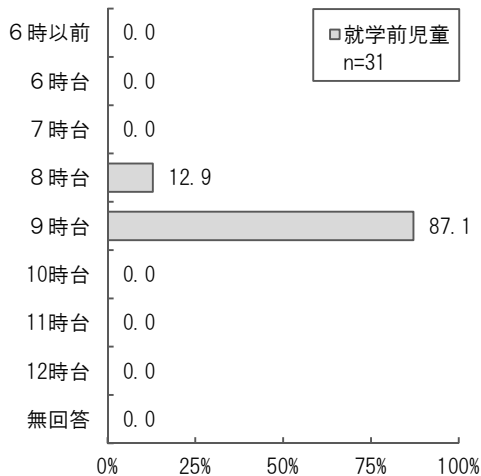
問13-1.1(1)(2) 幼稚園の利用日数と希望日数（1週当たり）



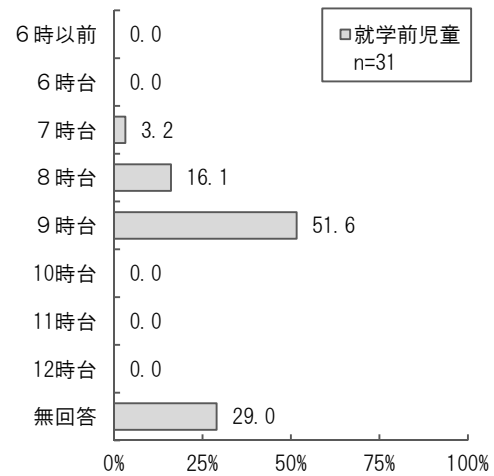
○利用開始時間・希望開始時間いずれも「9時台」(87.1%・51.6%)が最も高くなっています。

○利用終了時間・希望終了時間いずれも「14時台」(83.9%・35.5%)が最も高くなっていますが、希望終了時間では「16時台」以降の割合も高くなっています。

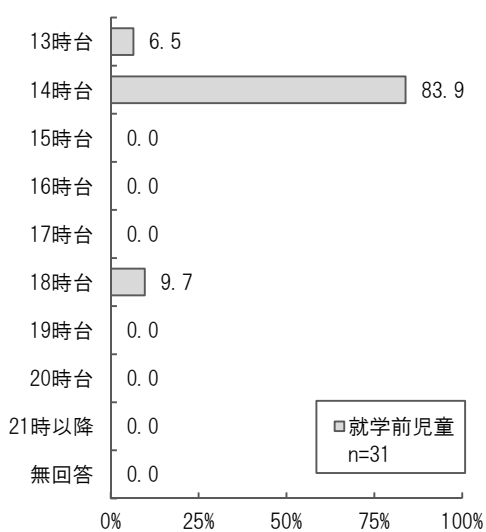
問13-1.1(1) 利用開始時間



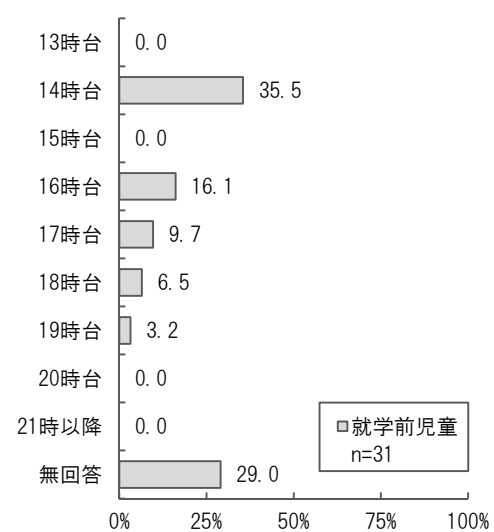
問13-1.1(2) 希望開始時間



問13-1.1(1) 利用終了時間



問13-1.1(2) 希望終了時間

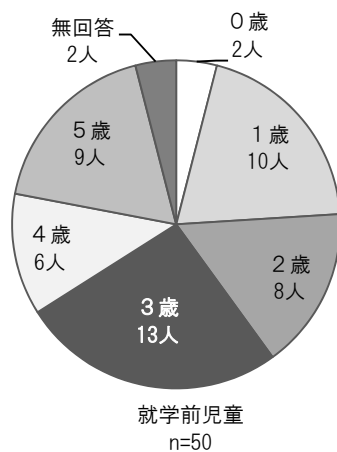


② 保育所利用者の状況

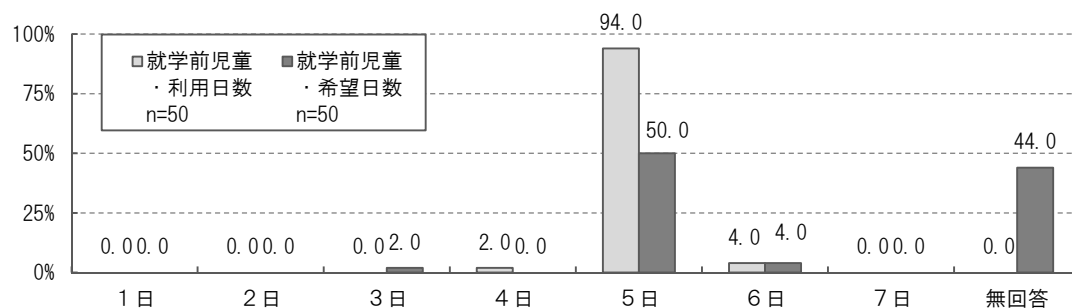
○保育所を利用していると回答した50人の年齢の内訳は、以下の通りです。

○保育所の利用日数と希望日数をみると、利用日数・希望日数いずれも「5日」（94.0%・50.0%）が最も高くなっています。

問13.2 保育所の年齢別利用者数



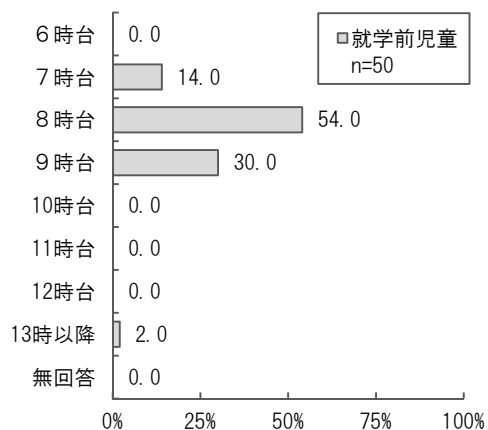
問13-1.2(1)(2) 保育所の利用日数と希望日数（1週当たり）



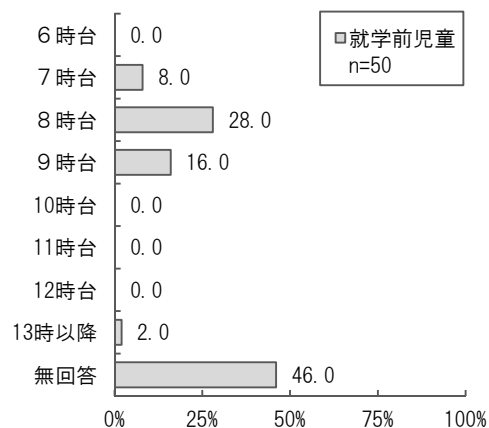
○利用開始時間・希望開始時間いずれも「8時台」(54.0%・28.0%)が最も高くなっています。

○利用終了時間・希望終了時間いずれも「16時台」～「18時台」の割合が高くなっています。

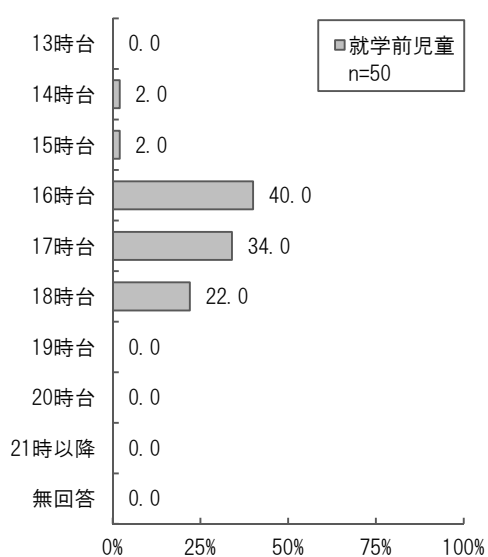
問13-1.2(1) 利用開始時間



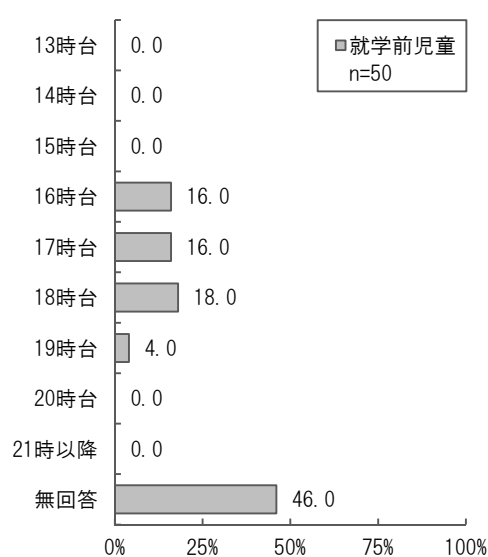
問13-1.2(2) 希望開始時間



問13-1.2(1) 利用終了時間



問13-1.2(2) 希望終了時間

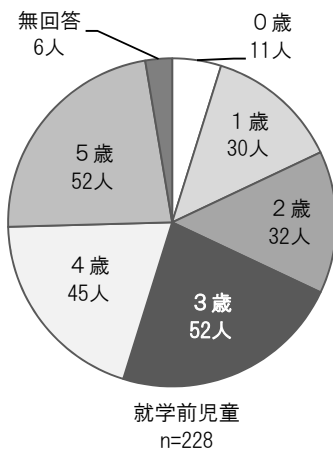


③ 認定こども園利用者の状況

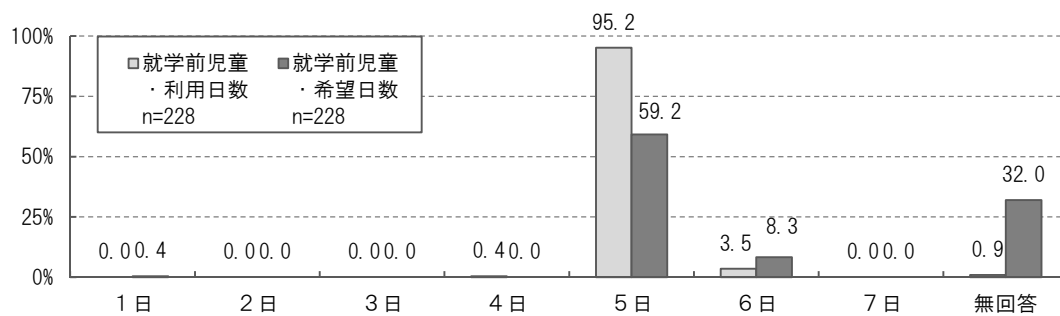
○認定こども園を利用していると回答した228人の年齢の内訳は、以下の通りです。

○認定こども園の利用日数と希望日数をみると、利用日数・希望日数いずれも「5日」（95.2%・59.2%）が最も高くなっています。

問13.3 認定こども園の年齢別利用者数



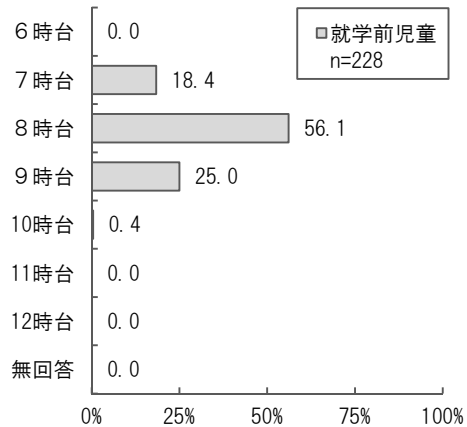
問13-1.3(1)(2) 認定こども園の利用日数と希望日数（1週当たり）



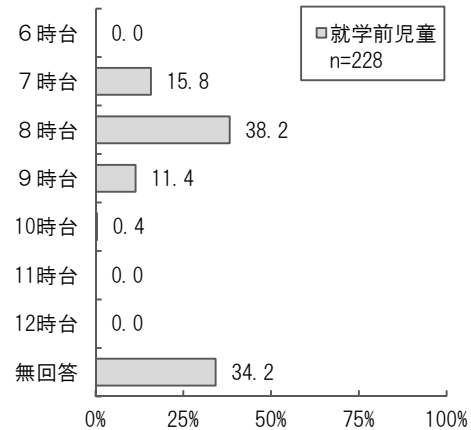
○利用開始時間・希望開始時間いずれも「8時台」(56.1%・38.2%)が最も高くなっています。

○利用終了時間・希望終了時間いずれも「16時台」～「18時台」の割合が高くなっています。

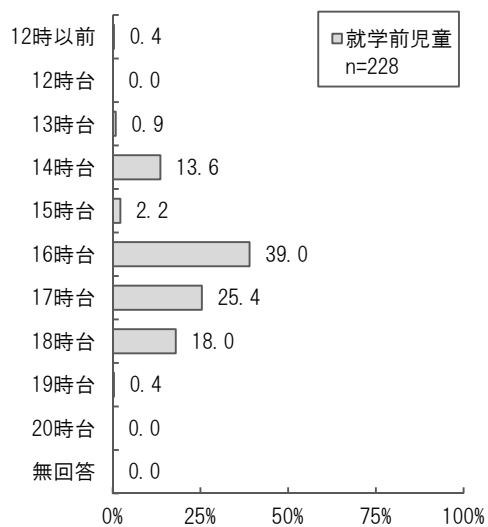
問13-1.3(1) 利用開始時間



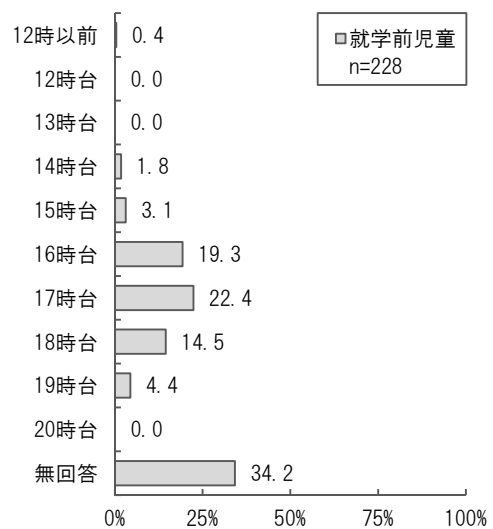
問13-1.3(2) 希望開始時間



問13-1.3(1) 利用終了時間



問13-1.3(2) 希望終了時間

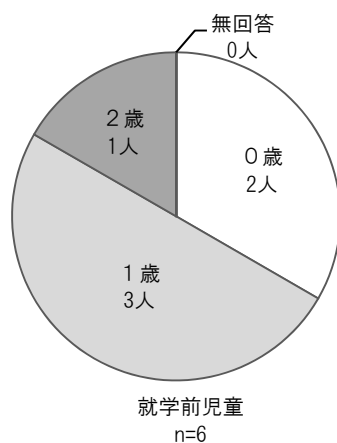


④ 事業所内保育

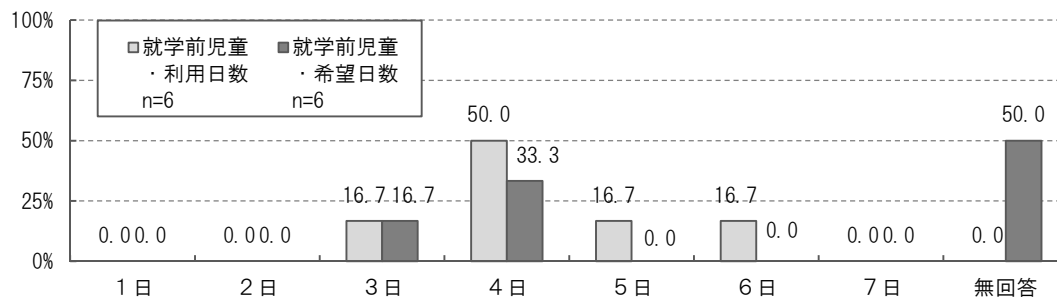
○事業所内保育を利用していると回答した6人の年齢の内訳は以下の通りです。

○事業所内保育の利用日数と希望日数をみると、利用日数では「4日」が3人、「3日」「5日」「6日」が各1人となっており、希望日数では「4日」が2人、「3日」が1人となっています。

問13.4 事業所内保育の年齢別利用者数



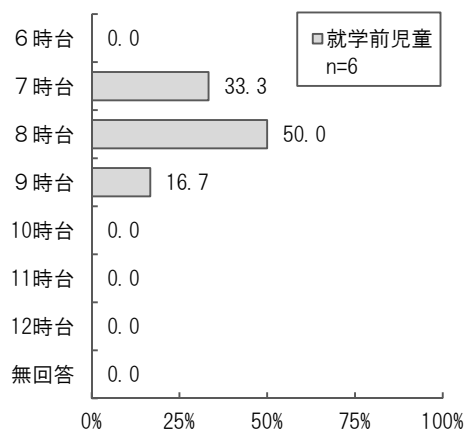
問13-1.4(1)(2) 事業所内保育の利用日数と希望日数（1週当たり）



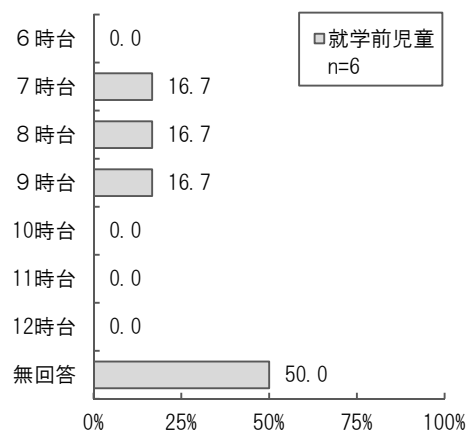
○利用開始時間・希望開始時間いずれも「7時台」～「9時台」の割合が高くなっています。

○利用終了時間は「14時台」「16時台」「17時台」「19時台」、希望終了時間は「14時台」「16時台」「17時台」となっています。

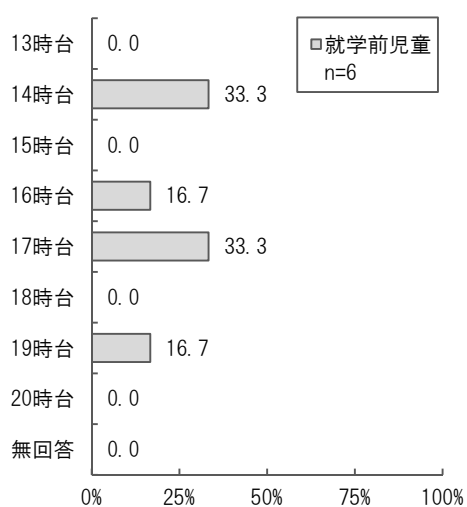
問13-1.4(1) 利用開始時間



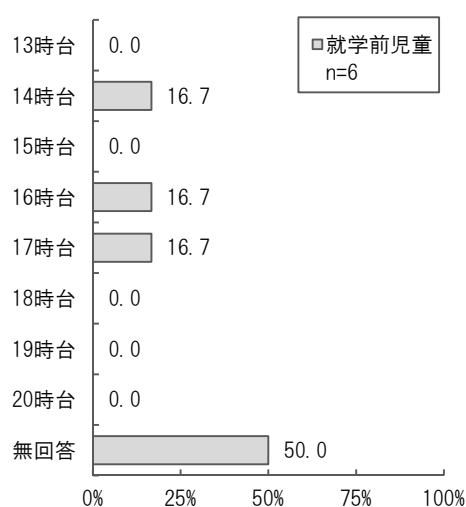
問13-1.4(2) 希望開始時間



問13-1.4(1) 利用終了時間



問13-1.4(2) 希望終了時間

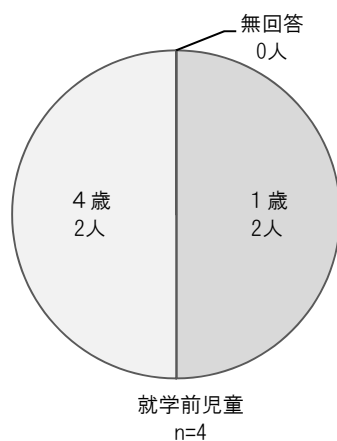


⑤ その他の認可外の保育施設

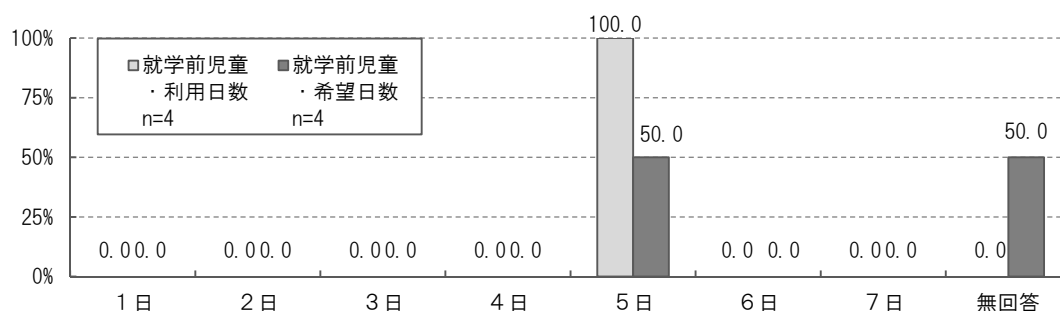
○その他の認可外の保育施設を利用していると回答した4人の年齢の内訳は以下の通りです。

○その他の認可外の保育施設の利用日数と希望日数をみると、利用日数・希望日数いずれも「5日」となっています。

問13.5 その他の認可外の保育施設の年齢別利用者数



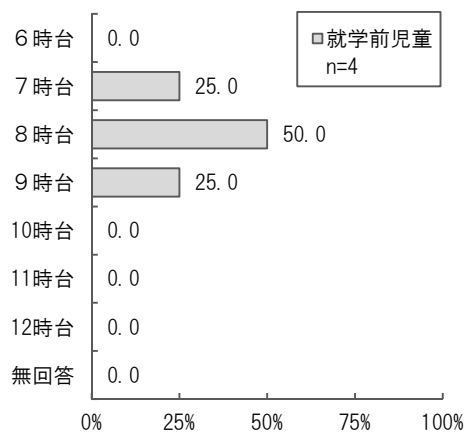
問13-1.5(1)(2) その他の認可外の保育施設の利用日数と希望日数（1週当たり）



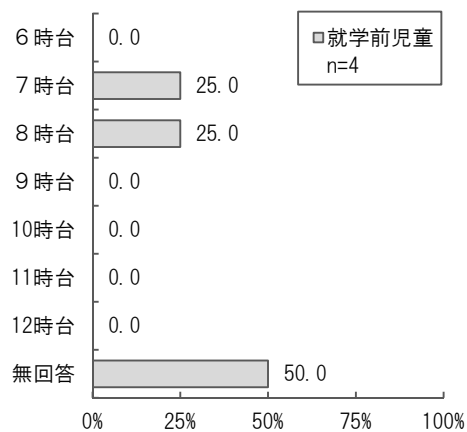
○利用開始時間は「7時台」～「9時台」、希望開始時間は「7時台」「8時台」となっています。

○利用終了時間・希望終了時間いずれも「17時台」「18時台」となっています。

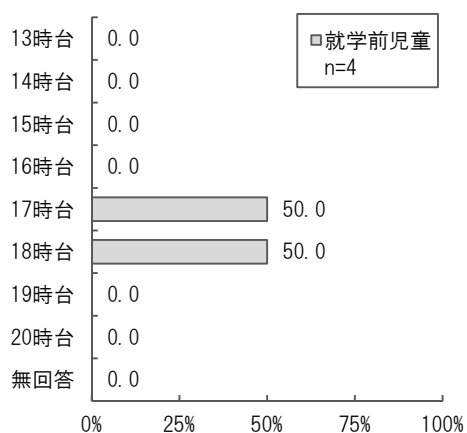
問13-1.5(1) 利用開始時間



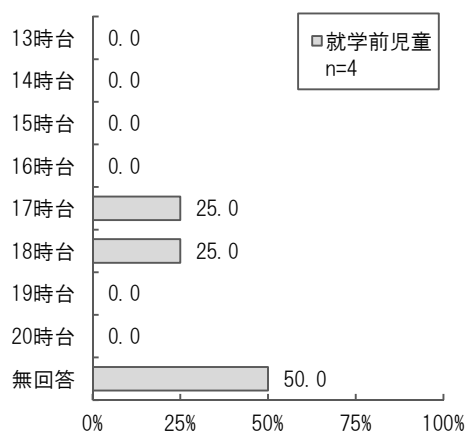
問13-1.5(2) 希望開始時間



問13-1.5(1) 利用終了時間

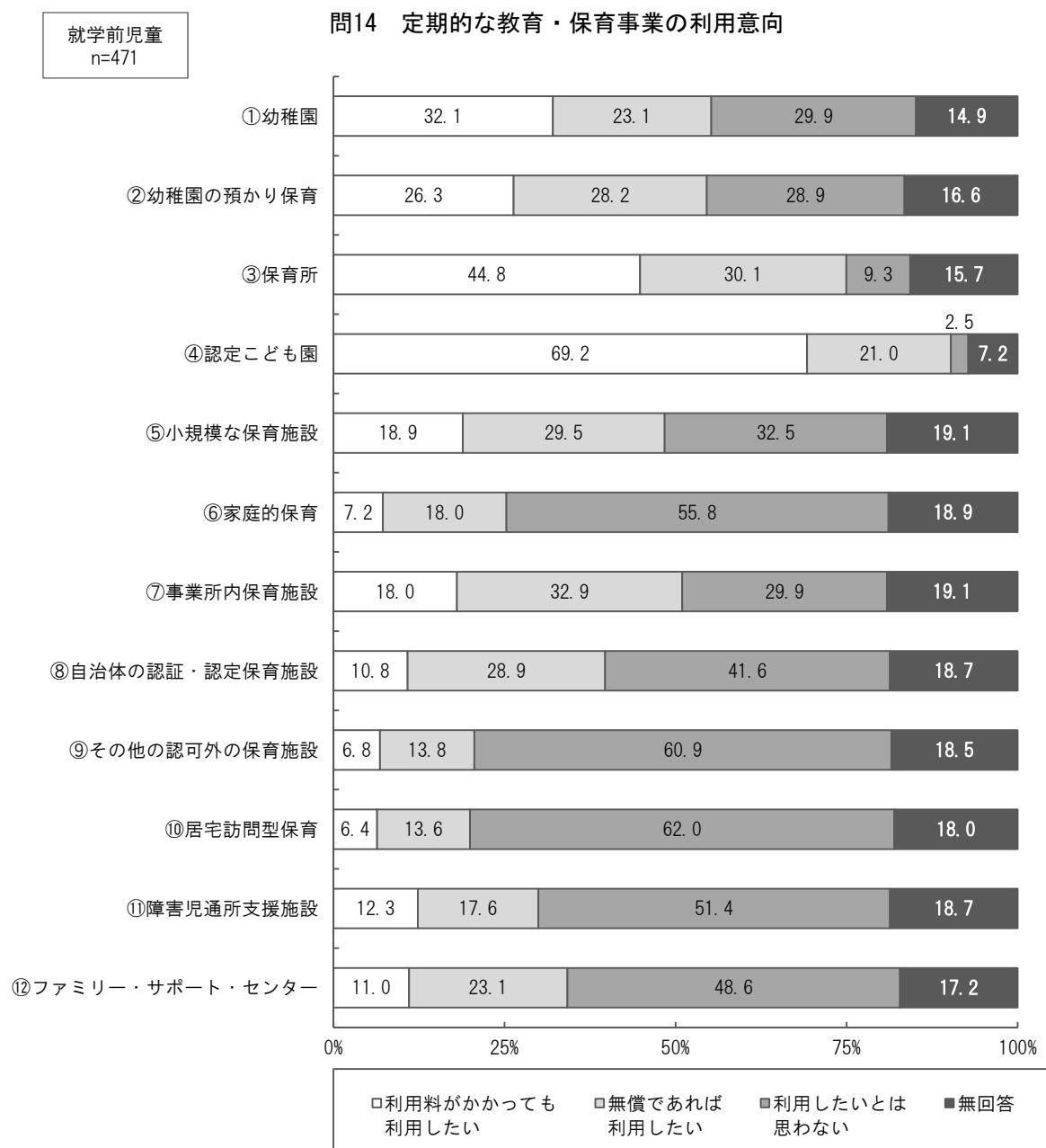


問13-1.5(2) 希望終了時間



（２）今後の利用希望

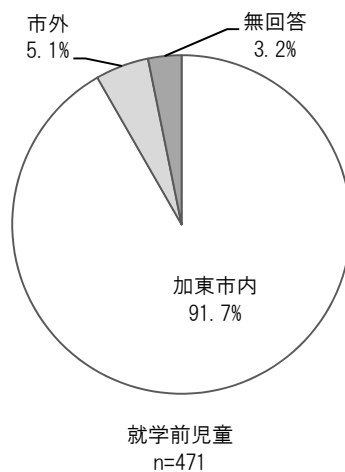
○平日の定期的な教育・保育事業の利用意向を事業別にみると、「利用料がかかっても利用したい」では「④認定こども園」（69.2％）が最も高く、次いで「③保育所」（44.8％）、「①幼稚園」（32.1％）となっています。また、「無償であれば利用したい」では、「⑦事業所内保育施設」（32.9％）が最も高く、次いで「③保育所」（30.1％）、「⑧自治体の認証・認定保育施設」（28.9％）となっています。



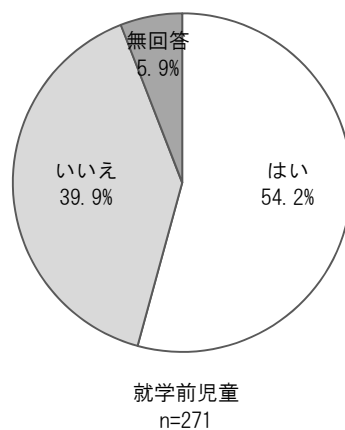
○希望する定期的な教育・保育事業の実施場所をみると、「加東市内」が91.7%と大半を占めています。

○特に幼稚園の利用を強く希望するか（幼稚園とそれ以外の事業を希望する方のみ）では、「はい」が54.2%、「いいえ」が39.9%となっています。

問14-1 希望する教育・保育事業の実施場所



問14-2 特に幼稚園の利用を強く希望しているか



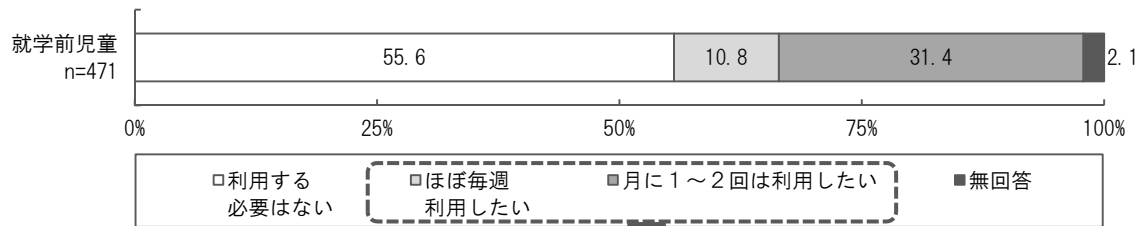
2 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

(1) 土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

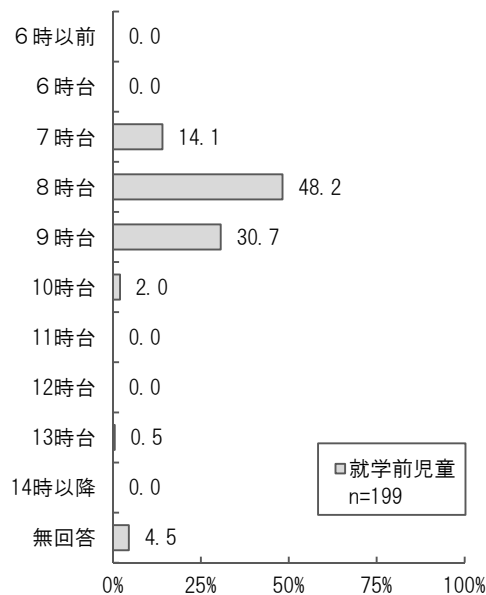
○土曜日の教育・保育事業の利用意向をみると、「ほぼ毎週利用したい」が10.8%、「月に1～2回は利用したい」が31.4%となっています。

○利用希望者の利用したい時間帯をみると、希望開始時間は「8時台」(48.2%)が半数近くを占め、希望終了時間は「17時台」～「18時台」の割合が高くなっています。

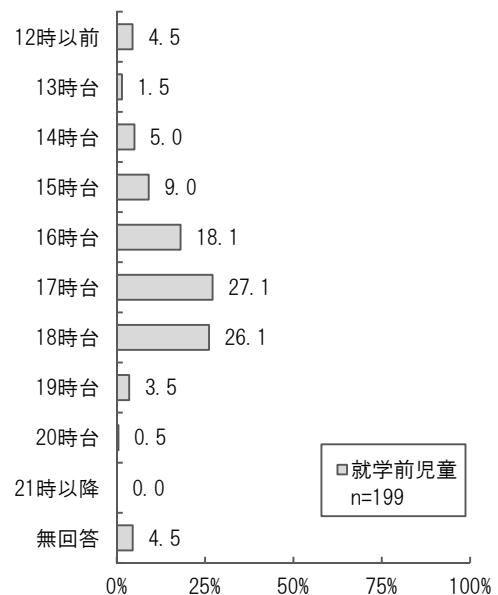
問17(1) 土曜日の利用希望



問17(1).1 希望開始時間



問17(1).1 希望終了時間

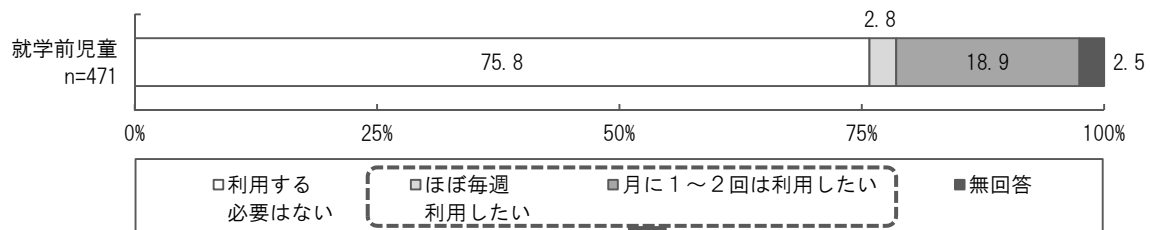


○日曜・祝日の教育・保育事業の利用意向をみると、「利用する必要はない」が8割近くを占めるものの、「月に1～2回は利用したい」と18.9%の方が希望しています。また、「ほぼ毎週利用したい」方は2.8%となっています。

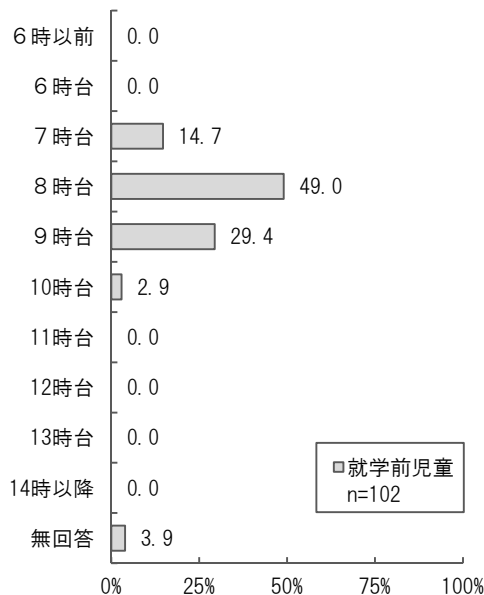
○利用希望者の利用したい時間帯をみると、希望開始時間は「7時台」～「9時台」が大半を占め、希望終了時間は「17時台」「18時台」の割合が高くなっています。

○土曜日と日曜・祝日において「月に1～2回は利用したい」理由をみると、「月に数回仕事が入るため」(65.5%)が最も高くなっています。

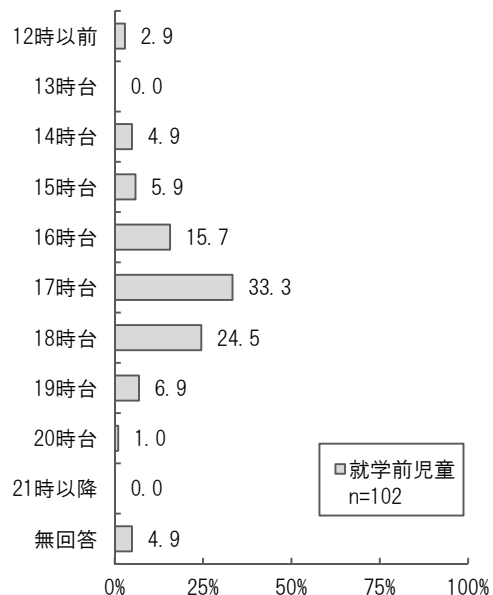
問17(2) 日曜・祝日の利用希望



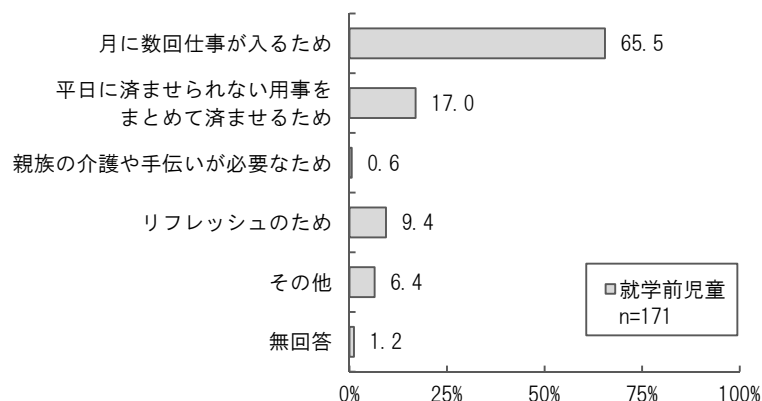
問17(2).1 希望開始時間



問17(2).1 希望終了時間

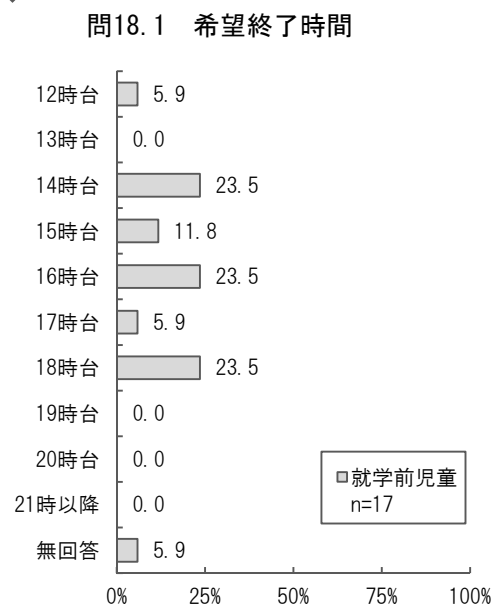
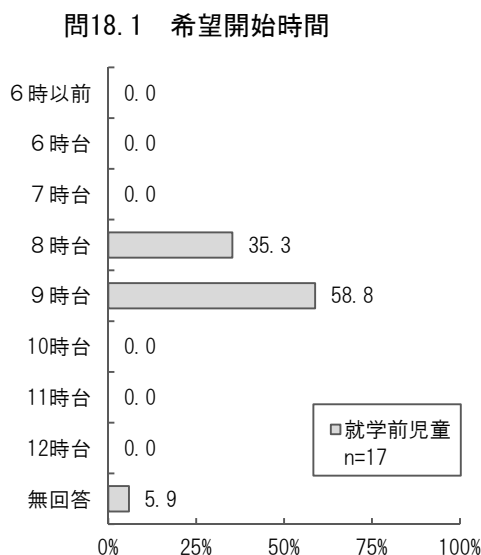
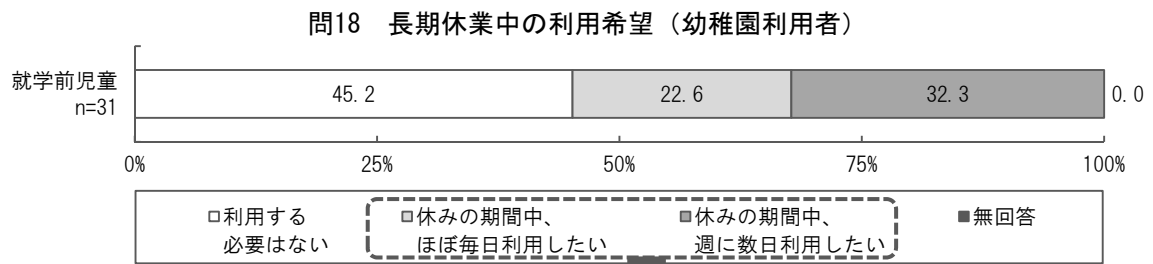


問17-1 毎週ではなく、「月に1～2回利用したい」理由

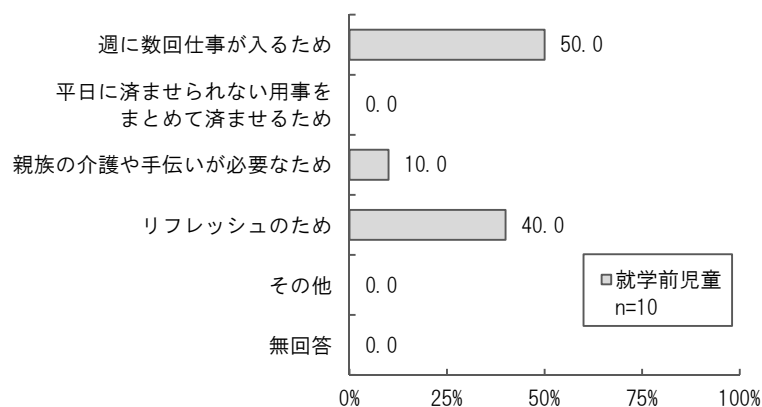


（２）長期休業中の教育・保育事業の利用希望

- 長期休業中の教育・保育事業の利用意向をみると、「休みの期間中、週に数日利用したい」が32.3%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が22.6%となっています。
- 利用希望者の利用したい時間帯をみると、希望開始時間は「8時台」「9時台」が大半を占め、希望終了時間は「14時台」～「16時台」の希望割合が高くなっています。
- 長期休業中に「週に数日利用したい」理由をみると、「週に数回仕事が入るため」（50.0%）が半数を占め、次いで「リフレッシュのため」（40.0%）となっています。



問18-1 「休みの期間中、週に数日利用したい」理由

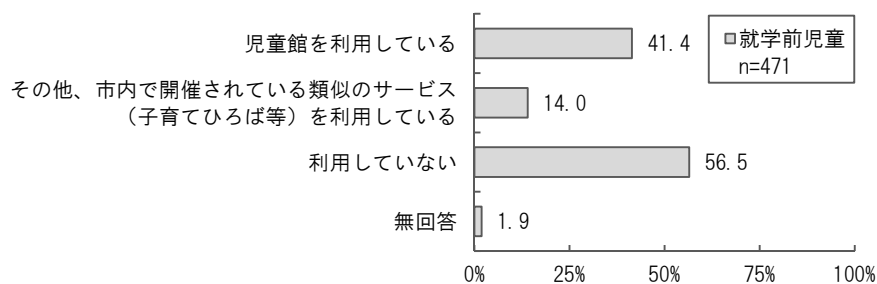


3 地域の子育て支援事業の利用状況

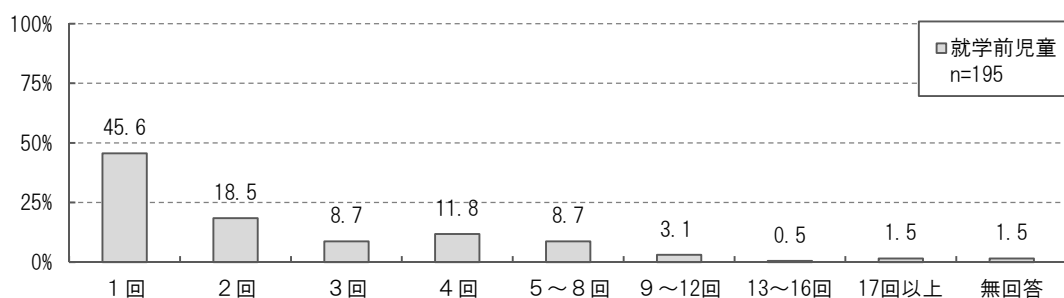
(1) 地域の子育て支援拠点事業の利用状況

- 地域の子育て支援拠点事業の利用状況をみると、「児童館を利用している」は41.4%、「その他、市内で開催されている類似のサービス(子育てひろば等)を利用している」は14.0%となっています。
- 「児童館」利用者の1か月当たりの利用回数は、「1回」(45.6%)が最も多く、次いで、「2回」(18.5%)となっています。
- 「その他、市内で開催されている類似のサービス(子育てひろば等)」利用者の1か月当たりの利用回数は、「1回」(59.1%)が最も多く、次いで、「4回」(19.7%)となっています。

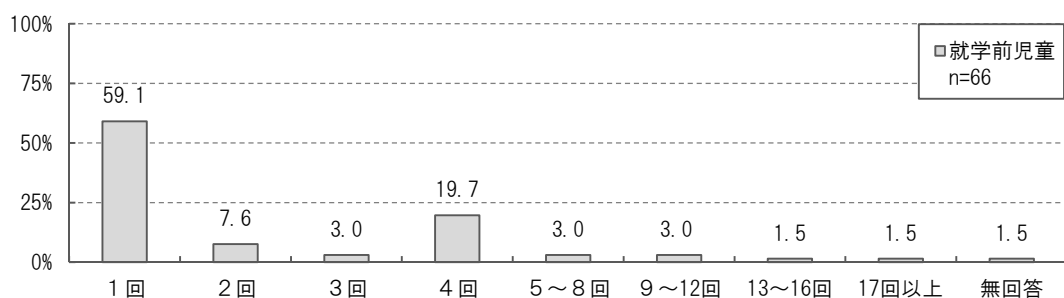
問15 地域子育て支援拠点事業の利用状況



問15.1 児童館の利用回数(1か月当たり)



問15.2 その他、市内で開催されている類似のサービスの利用回数(1か月当たり)

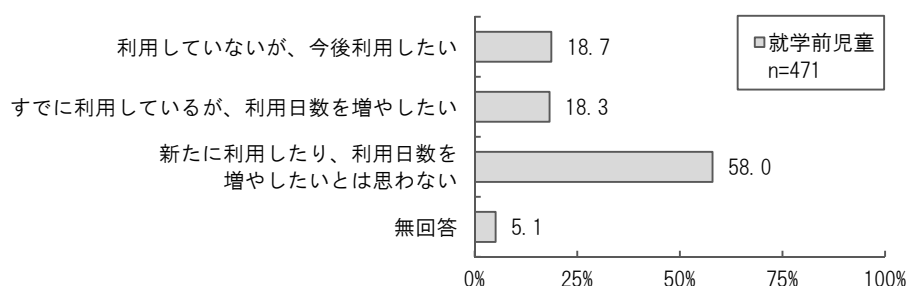


（２）今後の利用意向

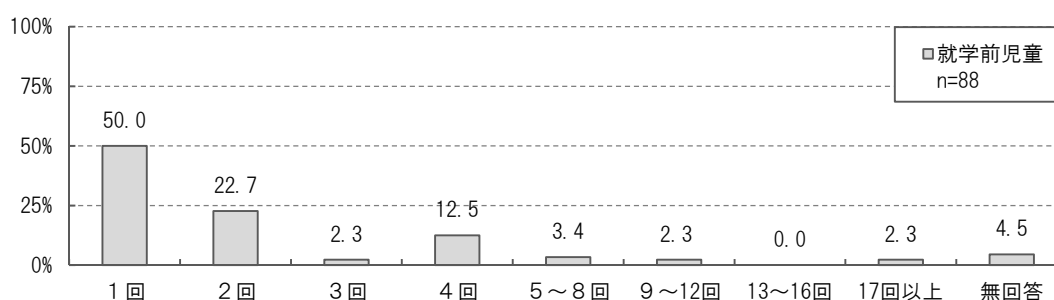
○地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向をみると、「利用していないが今後利用したい」は18.7%、「すでに利用しているが利用日数を増やしたい」は18.3%となっています。

○『現在利用していない』方の今後の利用希望回数は「１回」(50.0%)、「２回」(22.7%)となっています。また、既利用者が今後増やしたい１か月当たりの利用回数は、「２回」(30.2%)が最も高く、次いで「４回」(25.6%)となっています。

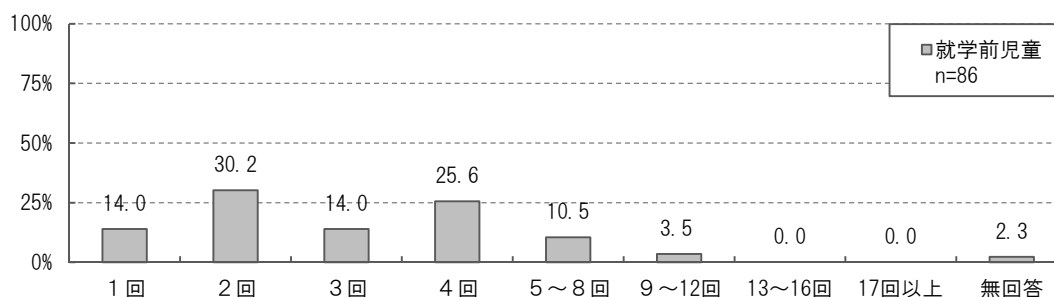
問16 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向



問16.1 『現在利用していない』方の今後の利用希望回数（１か月当たり）



問16.2 既利用者の今後増やしたい利用回数（１か月当たり）

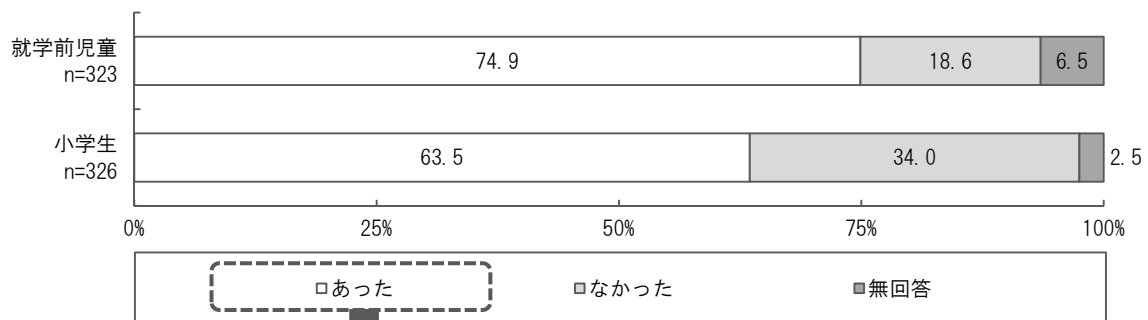


4 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ

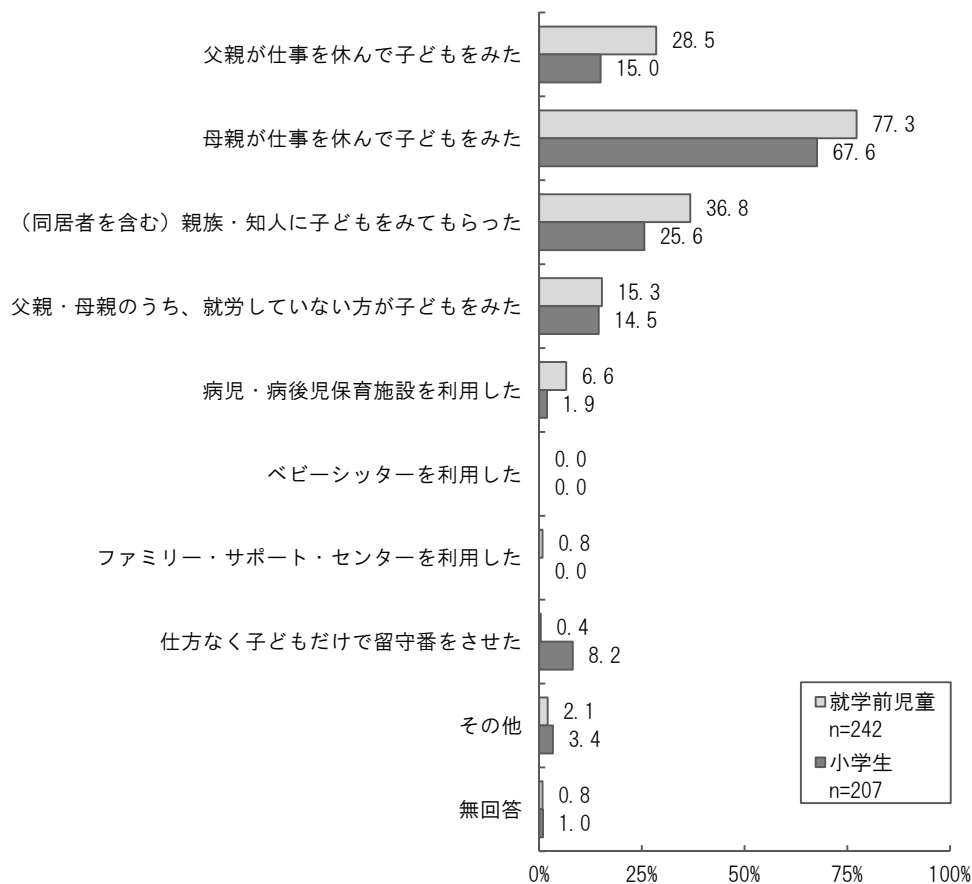
○病気やケガで、通常の教育・保育事業を利用できなかった経験があると答えた保護者は、就学前児童74.9%、小学生63.5%となっています。

○対処方法は、就学前児童・小学生いずれも「母親が仕事を休んで子どもをみた」（77.3%・67.6%）が最も高く、次いで「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」（36.8%・25.6%）となっています。

問19[問13] 病気やケガで、通常の教育・保育事業を利用できなかったことの有無

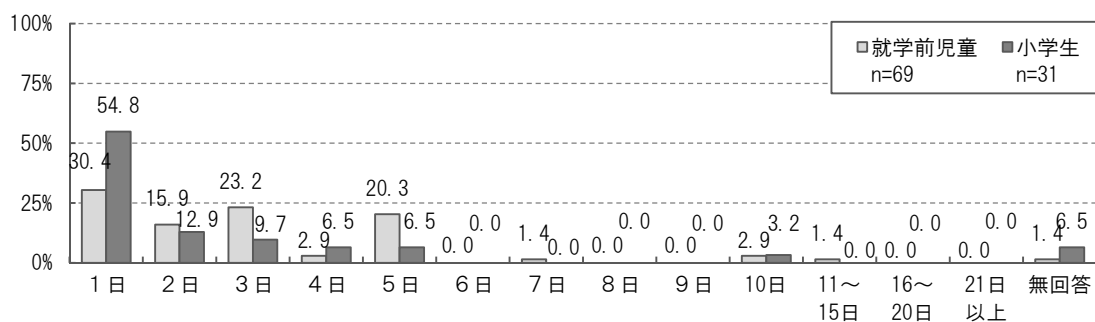


問19-1[問13-1] この1年間の対処方法

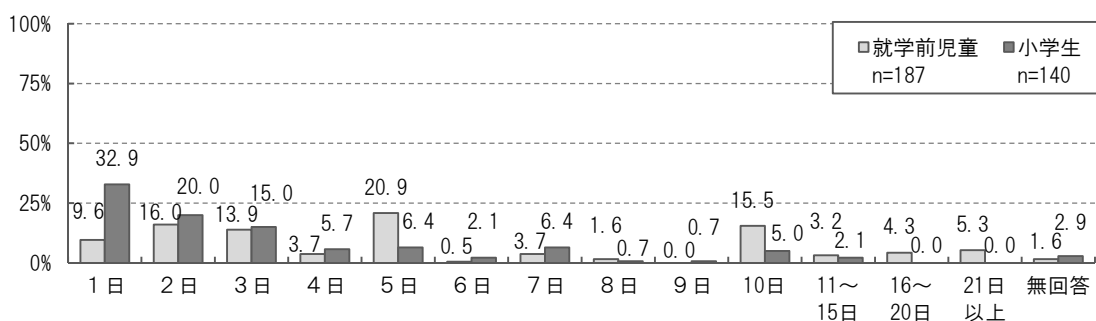


- この1年間の対処日数を対処方法別にみると、就学前児童では『父親が仕事を休んで子どもをみた日数』は「1日」(30.4%)、「3日」(23.2%)となっています。『母親が仕事を休んで子どもをみた日数』は、「5日」(20.9%)、「2日」(16.0%)となっています。
- 『(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった日数』は、「2日」(22.5%)、「5日」(19.1%)、『父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた日数』は「5日」(27.0%)、「10日」(24.3%)となっています。
- 『病児・病後児の保育を利用した日数』は、「10日」(37.5%)、「2日」(18.8%)となっています。
- 『ファミリー・サポート・センターを利用した日数』は、2人が「3日」「5日」、『仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数』は1人が「2日」と回答しています。
- 小学生では『父親が仕事を休んで子どもをみた日数』は「1日」(54.8%)、「2日」(12.9%)、『母親が仕事を休んで子どもをみた日数』は「1日」(32.9%)、「2日」(20.0%)となっています。
- 『(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった日数』は、「2日」(32.1%)、「1日」(28.3%)、『父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた日数』は「2日」(20.0%)、「1日」「5日」(各16.7%)となっています。
- 『病児・病後児の保育を利用した日数』は少人数ですが、「1日」「3日」「5日」の利用となっています。
- 『仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数』は、「1日」(35.3%)、「2日」(23.5%)となっています。
- 『ベビーシッターを利用した日数』は就学前児童・小学生いずれも回答がなかったため省略しています。

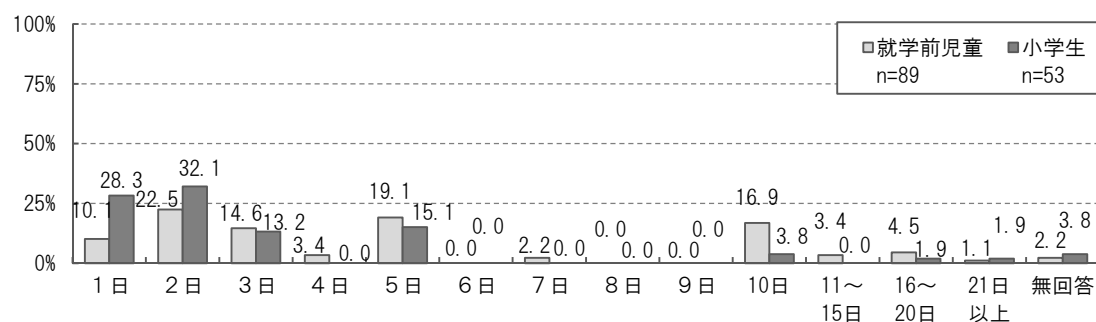
問19-1.1 父親が仕事を休んで子どもをみた日数(年間)



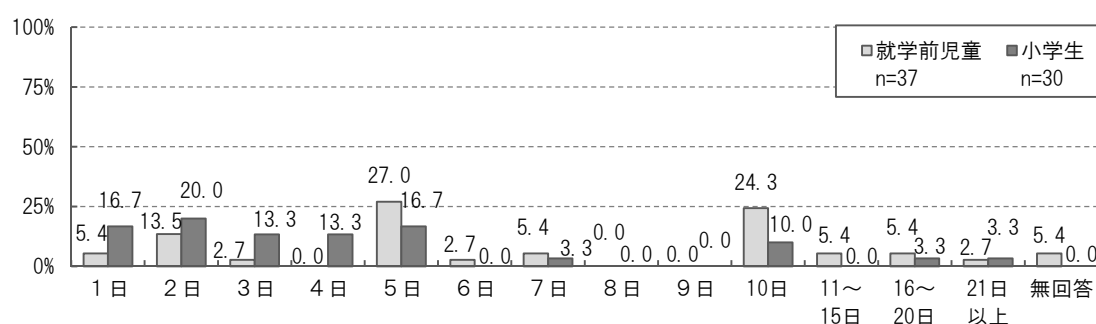
問19-1.2 母親が仕事を休んで子どもをみた日数(年間)



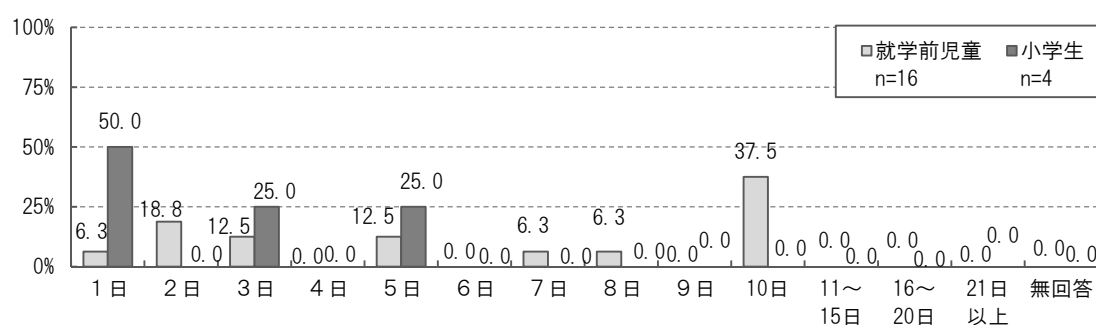
問19-1.3 (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった日数(年間)



問19-1.4 父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた日数(年間)



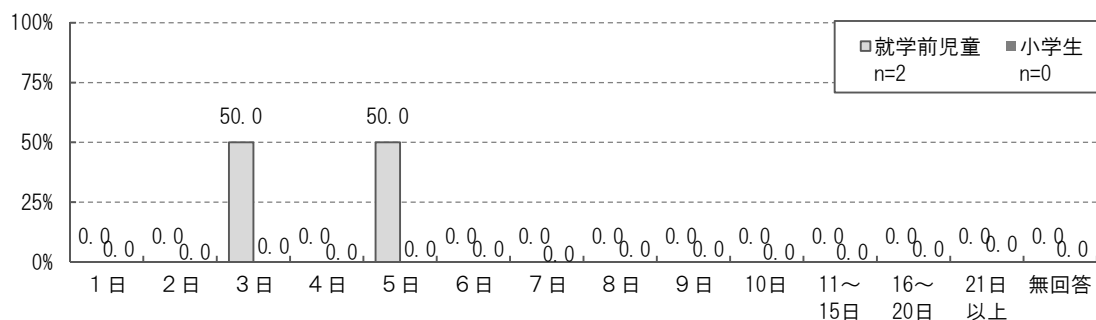
問19-1.5[問13-1.5] 病児・病後児保育施設を利用した日数(年間)



問19-1.6[問13-1.6] ファミリー・サポート・センターを利用した日数(年間)

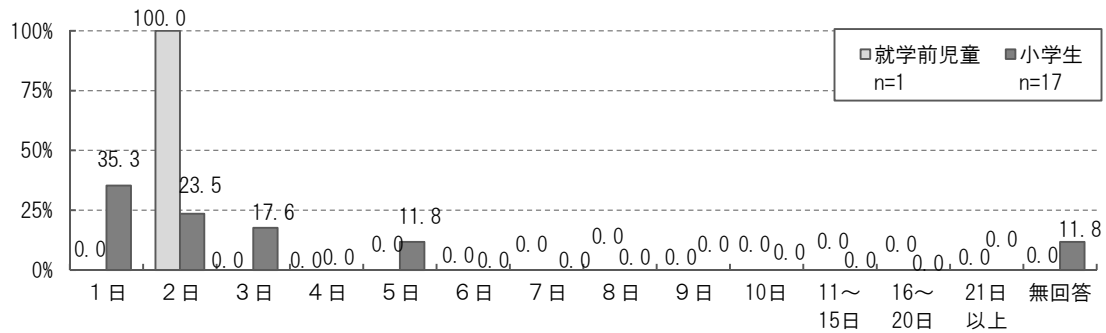
回答者がいないためグラフを省略します

問19-1.7[問13-1.7] ファミリー・サポート・センターを利用した日数(年間)

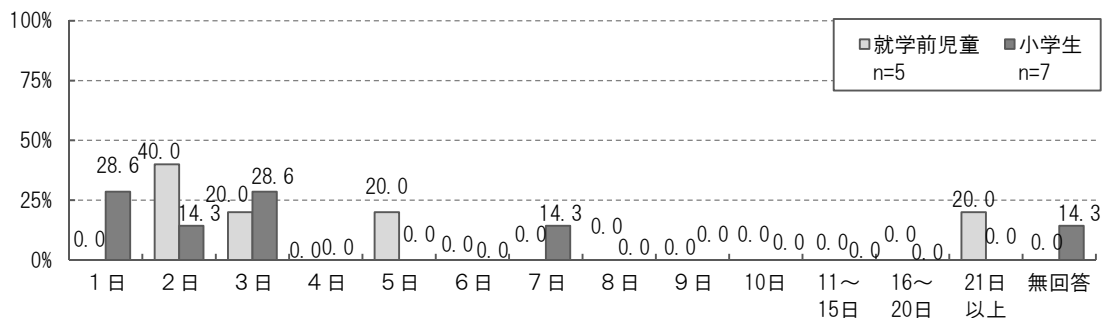




問19-1.8[問13-1.8] 仕方なく子どもだけで留守番をさせた日数（年間）



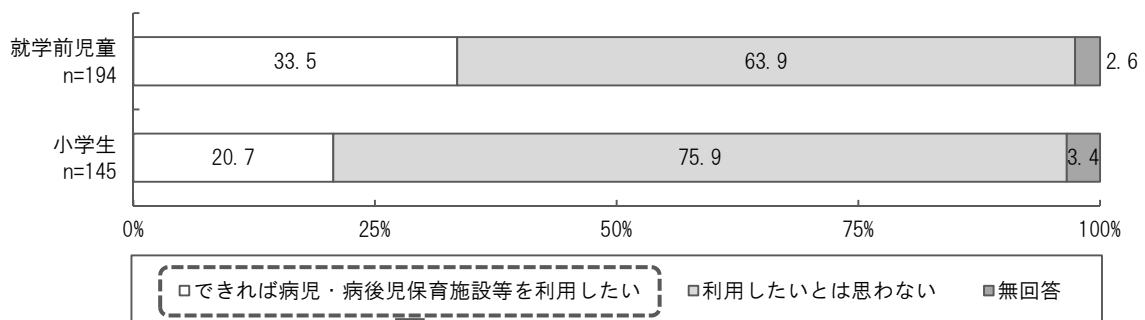
問19-1.9[問13-1.9] その他の日数（年間）



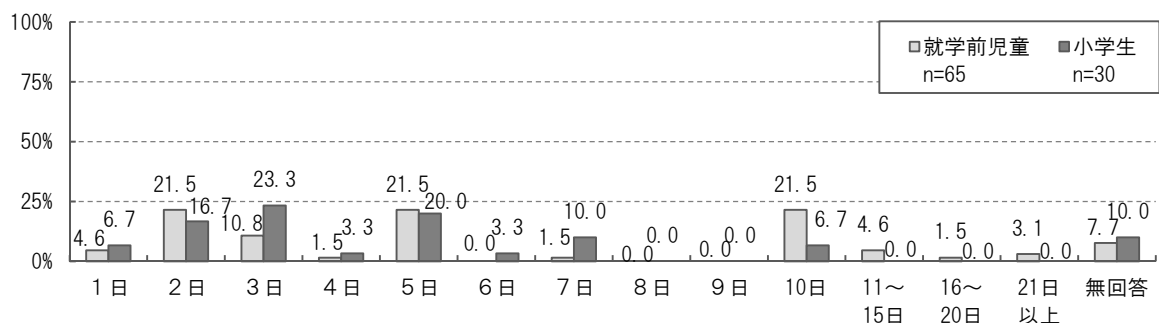
○父親・母親が休んで対処した方の「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」意向をみると、就学前児童は33.5%、小学生は20.7%となっています。

○その際の年間利用希望日数は、就学前児童では「2日」「5日」「10日」（各21.5%）、「3日」（10.8%）、小学生では「3日」（23.3%）、「5日」（20.0%）、「2日」（16.7%）となっています。

問19-2[問13-2] 父親・母親が休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用意向



問19-2.1[問13-2.1] 病児・病後児保育施設の利用希望日数



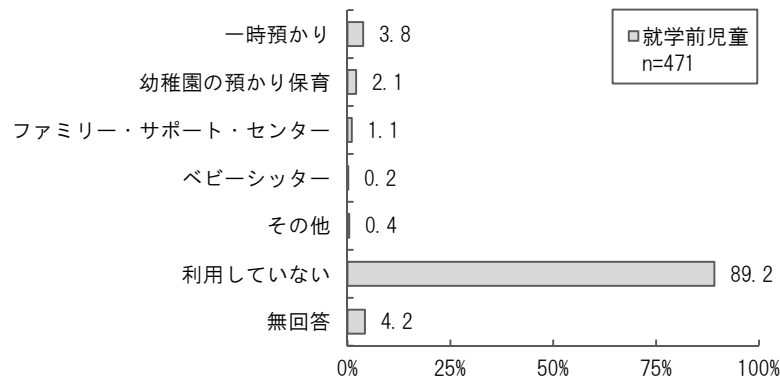
5 不定期の一時預かり等の利用について

(1) 不定期に利用している教育・保育事業の状況

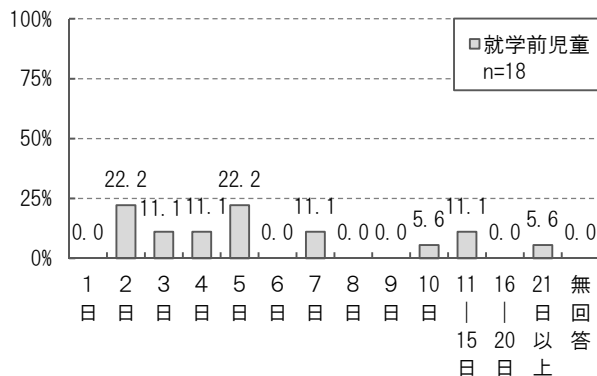
○不定期に利用している教育・保育事業の状況をみると、「一時預かり」(3.8%)「幼稚園の預かり保育」(2.1%)をはじめ、あまり利用がない状況です。

○事業ごとの年間利用日数は、「一時預かり」では「2日」「5日」(各22.2%)、「幼稚園の預かり保育」では「1日」～「3日」の割合が高くなっています。

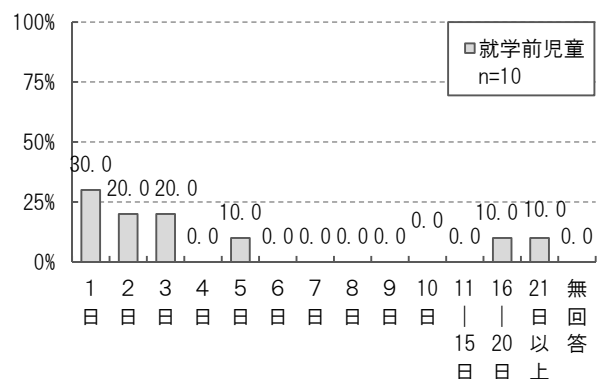
問20 不定期に利用している一時預かり事業



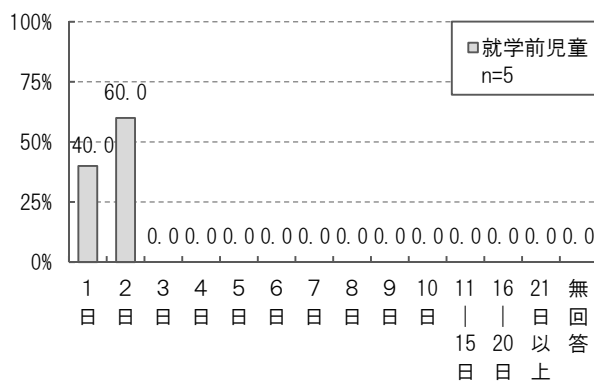
問20.1 「一時預かり」年間利用日数



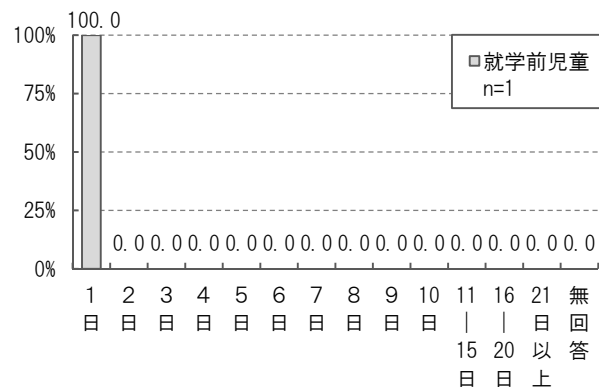
問20.2 「幼稚園の預かり保育」年間利用日数



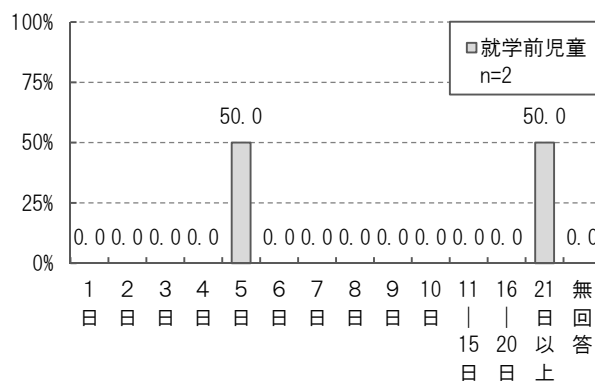
問20.3 「ファミリー・サポート・センター」年間利用日数



問20.4 「ベビーシッター」年間利用日数



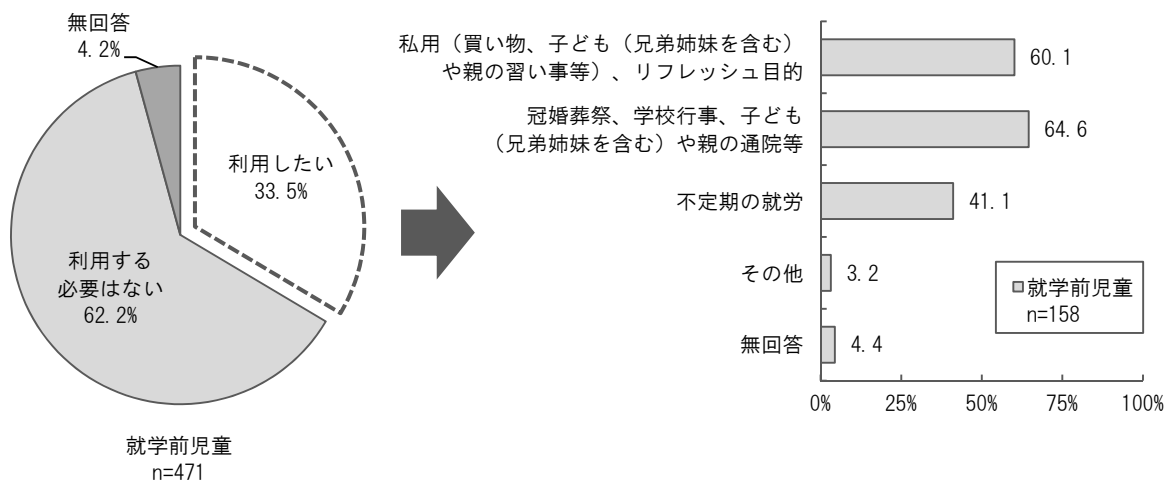
問20.5 「その他」年間利用日数



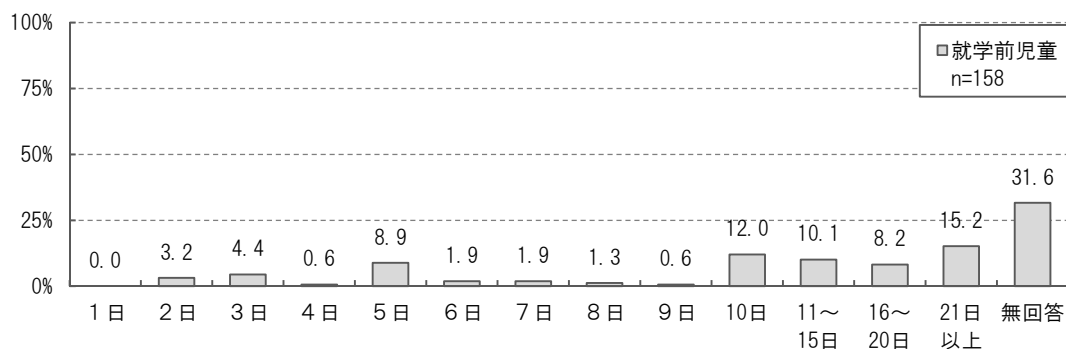
○一時預かり等の利用希望をみると、「利用する必要はない」(62.2%)、「利用したい」(33.5%)となっています。「利用したい」方の利用目的は、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」(64.6%)、「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」(60.1%)、「不定期の就労」(41.1%)となっています。

○利用希望年間合計日数は、「21日以上」(15.2%)が最も高くなっています。

問21 一時保育事業の利用希望とその目的

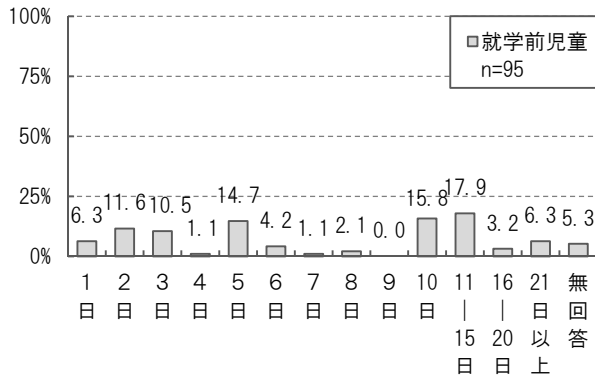


問21.1 一時預かり等の利用希望年間合計日数

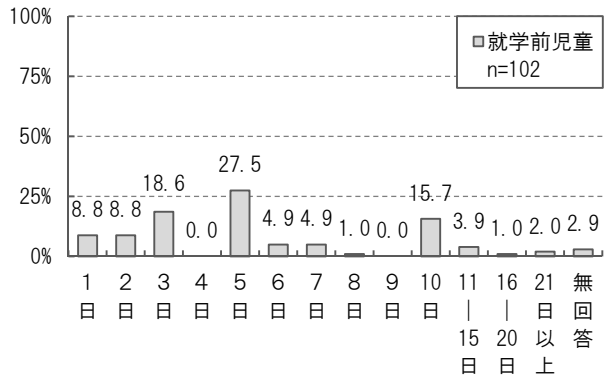


○目的ごとの年間利用希望日数は、『私用、リフレッシュ目的』では「11－15日」(17.9%)、『冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等』では「5日」(27.5%)、『不定期の就労』では「10日」「21日以上」(各16.9%)が高くなっています。

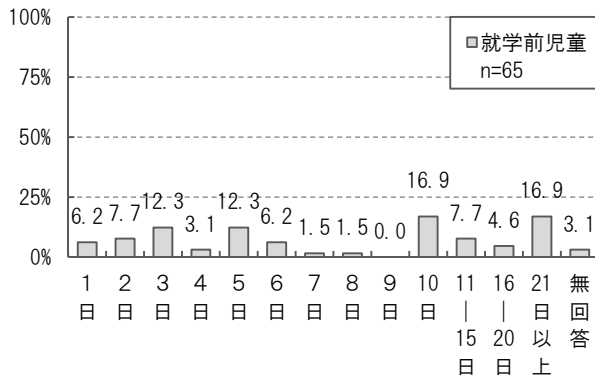
問21.1① 私用、リフレッシュ目的



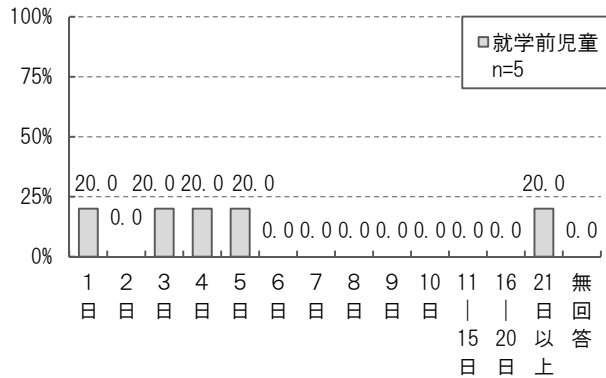
問21.1② 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等



問21.1③ 不定期の就労



問21.1④ その他

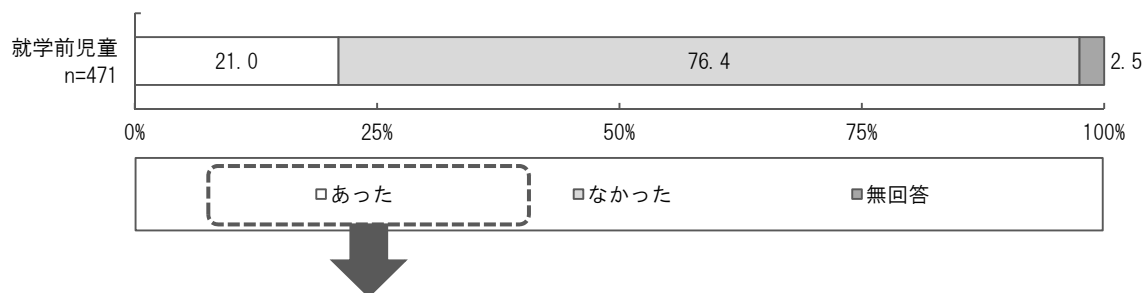


（２）宿泊を伴う一時預かり等の利用状況

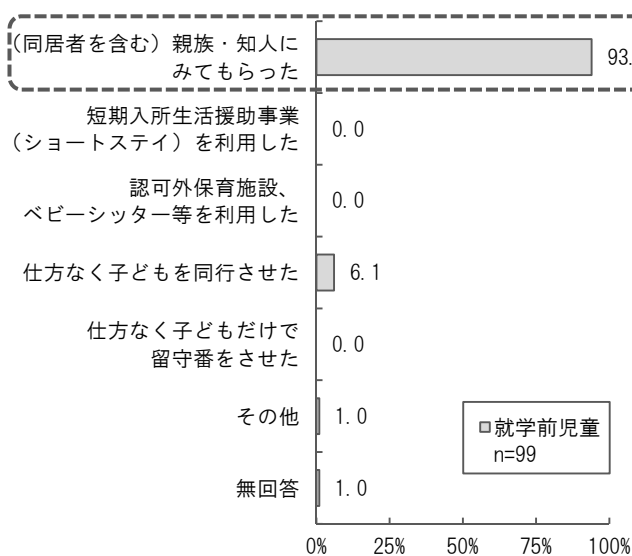
○この１年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけでみてもらったことが、「あった」は21.0%となっています。そのうち9割は「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と回答していますが、「仕方なく子どもを同行させた」も6.1%あります。

○親族・知人にみてもらう場合の困難度をみると、「特に困難ではない」が47.3%、「どちらかという困難」が39.8%、「非常に困難」が11.8%となっています。

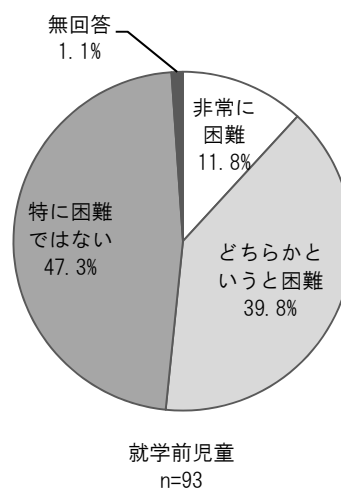
問22 この１年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外に預けたことの有無



問22.1 １年間の対処方法

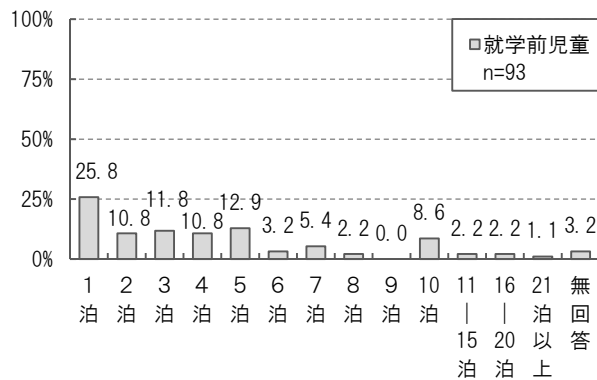


問22-1 親族・知人にみてもらう場合の困難度

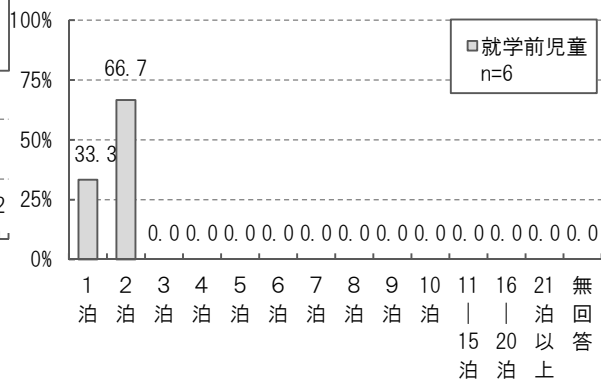


- 年間宿泊数を対処方法別にみると、『(同居者を含む)親族・知人にみてもらった泊数』では「1泊」(25.8%)、「5泊」(12.9%)、「3泊」(11.8%)が高くなっています。
- 『仕方なく子どもを同行させた泊数』では「2泊」、「1泊」が高くなっています。
- 『短期入所生活援助事業を利用した泊数』『認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した泊数』『仕方なく子どもだけで留守番をさせた泊数』は回答がなかったためグラフを省略しています。

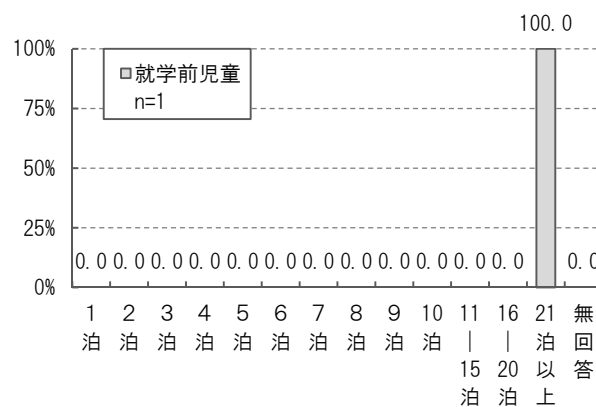
問22.1① (同居者を含む)親族・知人にみてもらった泊数(年間)



問22.1④ 仕方なく子どもを同行させた泊数(年間)



問22.1⑥ その他泊数(年間)



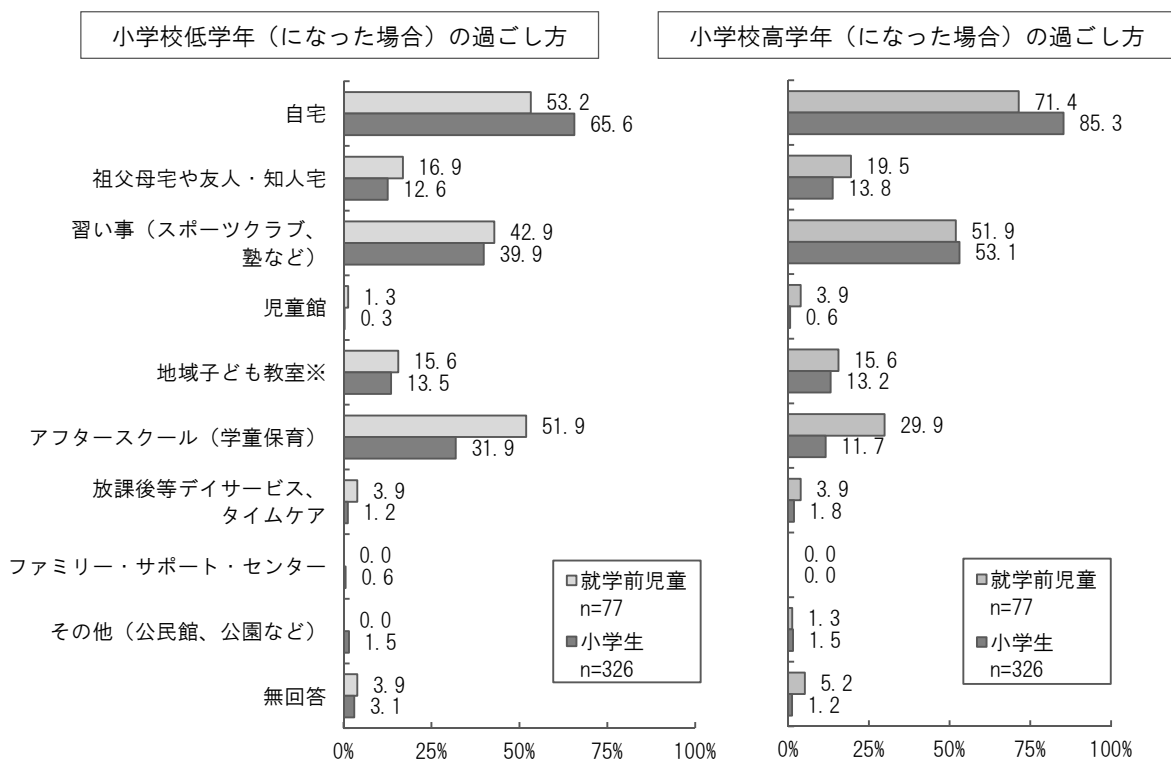
6 放課後の過ごし方について

(1) 平日の放課後の過ごし方について

○放課後の過ごし方の希望をみると、就学前児童は低学年のうち「自宅」(53.2%)、「アフタースクール(学童保育)」(51.9%)、「習い事(スポーツクラブ、塾など)」(42.9%)を希望しています。高学年では「アフタースクール(学童保育)」が22.0^{ポイント}減少し、「自宅」が18.2^{ポイント}増加、「習い事(スポーツクラブ、塾など)」が9.0^{ポイント}増加しています。

○小学生も同様に、低学年のうち「自宅」(65.6%)、「習い事(スポーツクラブ、塾など)」(39.9%)、「アフタースクール(学童保育)」(31.9%)を希望しています。高学年では「アフタースクール(学童保育)」が20.2^{ポイント}減少し、「自宅」が19.7^{ポイント}増加、「習い事(スポーツクラブ、塾など)」が13.2^{ポイント}増加しています。

問23[問14]・問24[問15] 放課後の過ごし方の希望



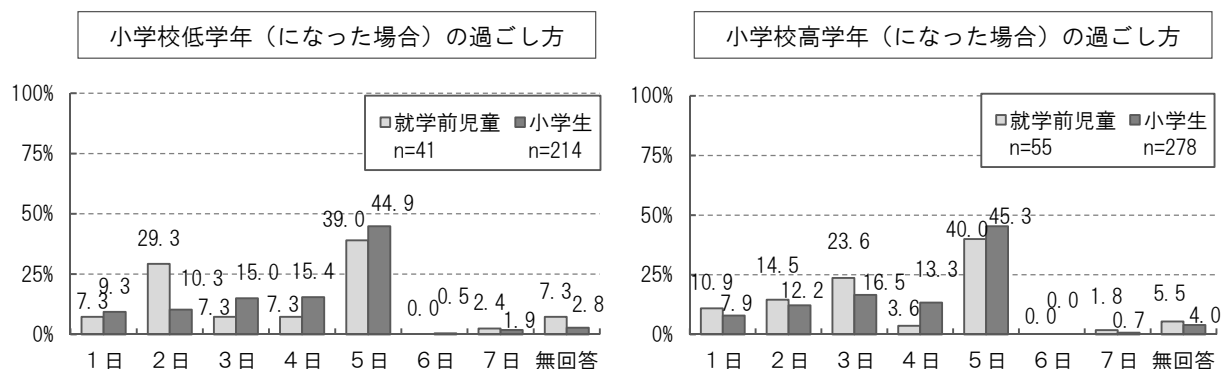
※「小学校低学年」は1～3年生、「小学校高学年」は4～6年生の意味です。

※「地域子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後などに小学校や公民館で学習・集団遊びやスポーツ、文化芸術活動(制作活動・昔あそび)などを体験する取組です。

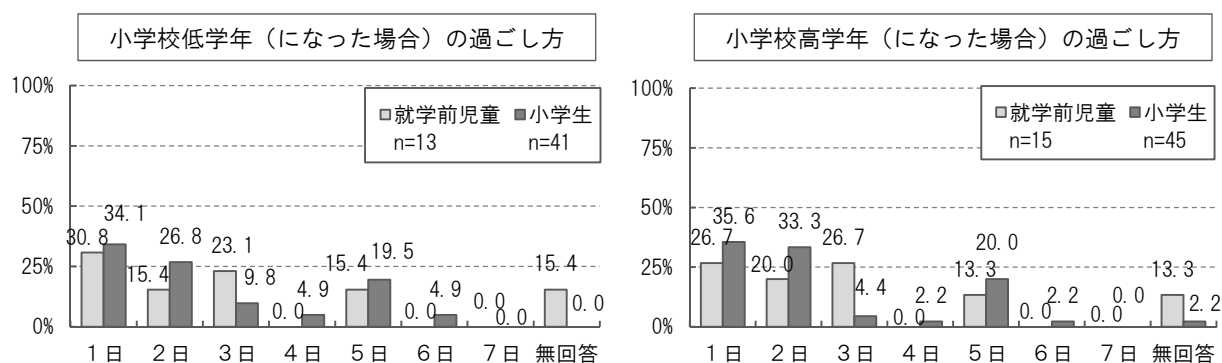
○就学前児童の保護者が放課後を過ごさせたい場所別に1週当たりの希望日数をみると、『自宅』では「5日」（低学年時期39.0％・高学年時期40.0％）が最も高くなっています。『祖父母宅や友人・知人宅』では、低学年時期は「1日」（30.8％）、高学年時期は「1日」「3日」（各26.7％）が最も高くなっています。『習い事』では、低学年時期は「1日」（39.4％）、高学年時期は「2日」（52.5％）が最も高くなっています。『地域子ども教室』では、「1日」（低学年時期75.0％・高学年時期75.0％）が最も高くなっています。『アフタースクール（学童保育）』では、「5日」（低学年時期70.0％・高学年時期43.5％）が最も高くなっています。

○小学生の保護者が放課後を過ごさせたい場所別に1週当たりの希望日数をみると、『自宅』では「5日」（低学年時期44.9％・高学年時期45.3％）が最も高くなっています。『祖父母宅や友人・知人宅』では、「1日」（低学年時期34.1％・高学年時期35.6％）が最も高くなっています。『習い事』では、「2日」（低学年時期36.9％・高学年時期31.8％）が最も高くなっています。『地域子ども教室』では、「1日」（低学年時期97.7％・高学年時期88.4％）が最も高くなっています。『アフタースクール（学童保育）』では、「5日」（低学年時期76.0％・高学年時期63.2％）が最も高くなっています。

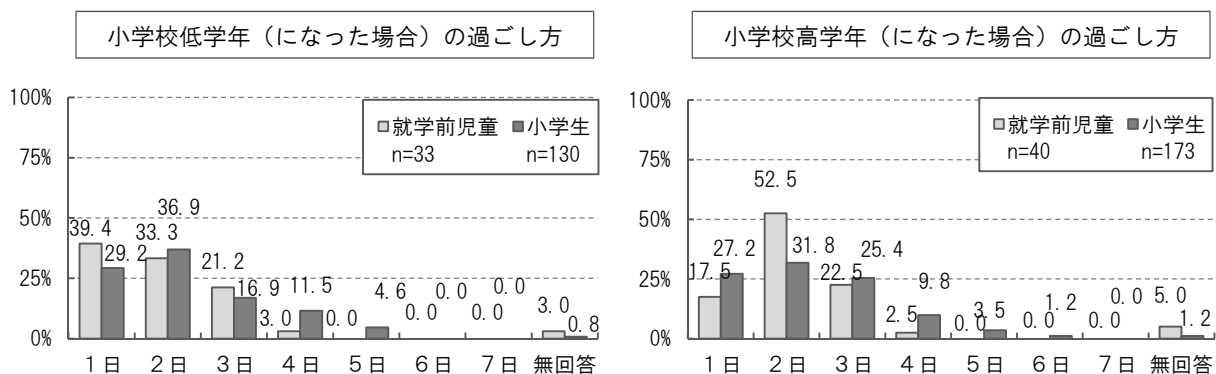
問23.1[問14.1]・問24.1[問15.1] 「自宅」希望日数（1週当たり）



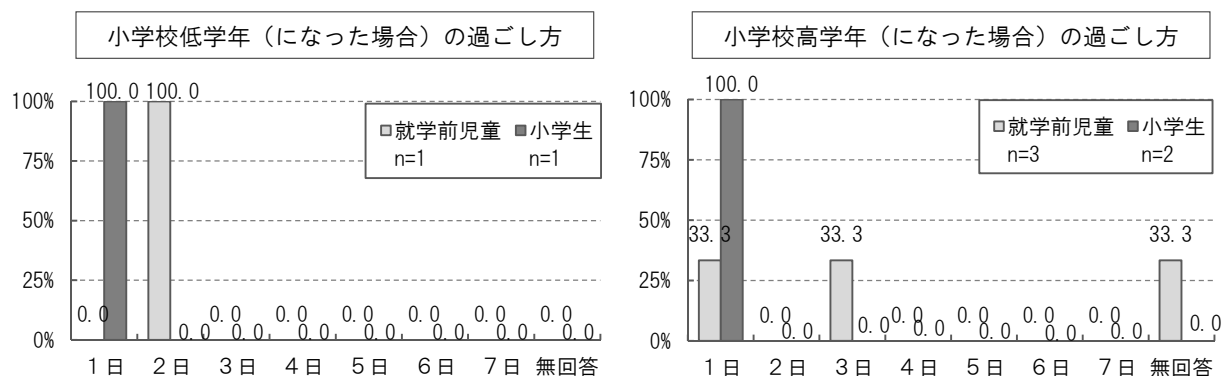
問23.2[問14.2]・問24.2[問15.2] 「祖父母宅や友人・知人宅」希望日数（1週当たり）



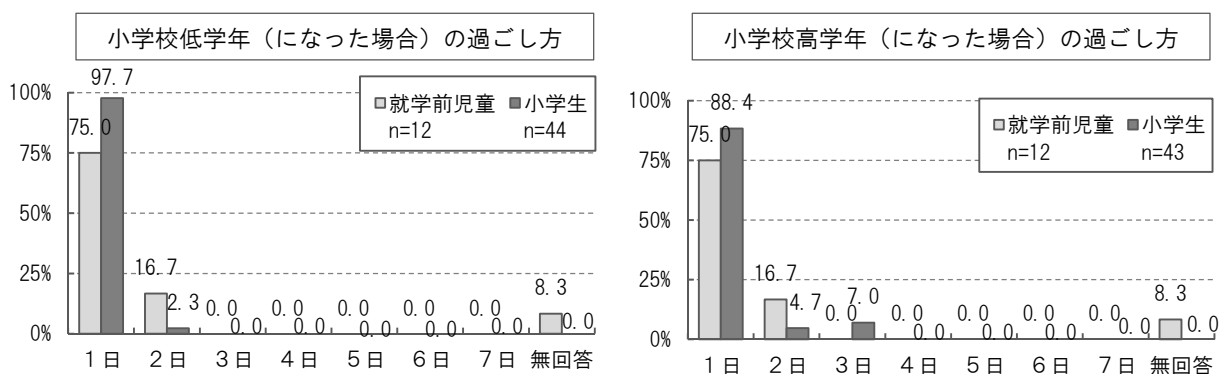
問23.3[問14.3]・問24.3[問15.3] 「習い事（スポーツクラブ、塾など）」希望日数（1週当たり）



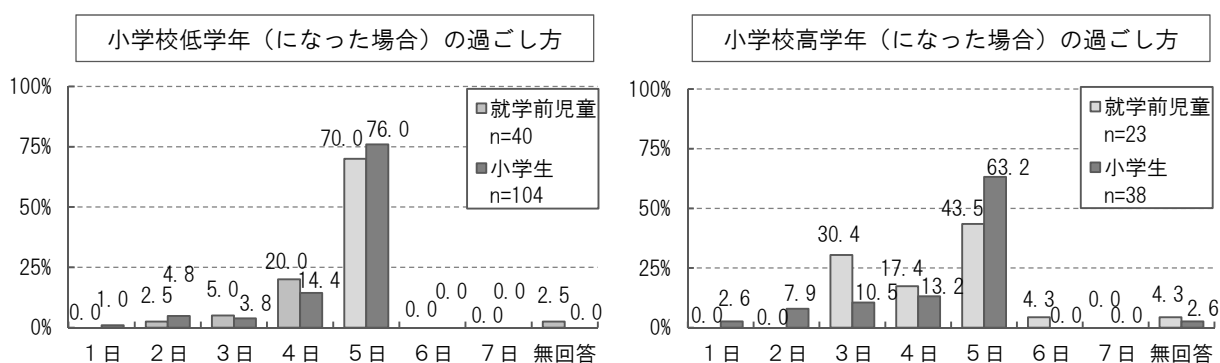
問23.4[問14.4]・問24.4[問15.4] 「児童館」希望日数（1週当たり）



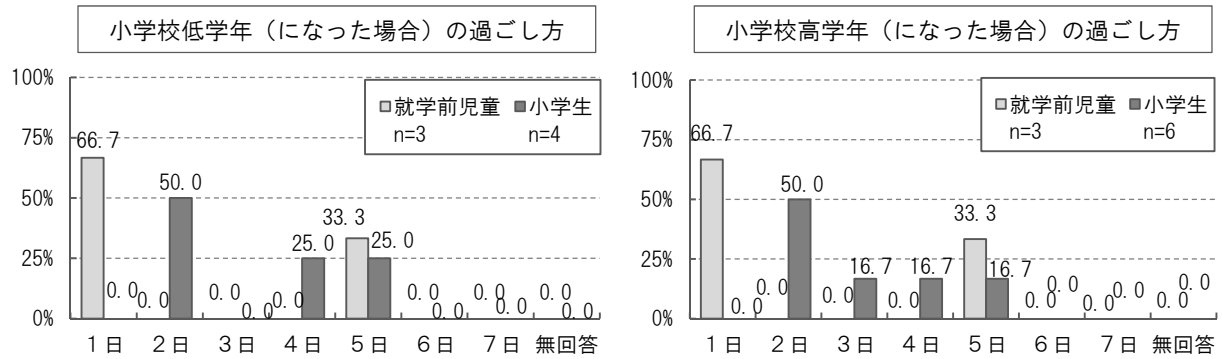
問23.5[問14.5]・問24.5[問15.5] 「地域子ども教室」希望日数（1週当たり）



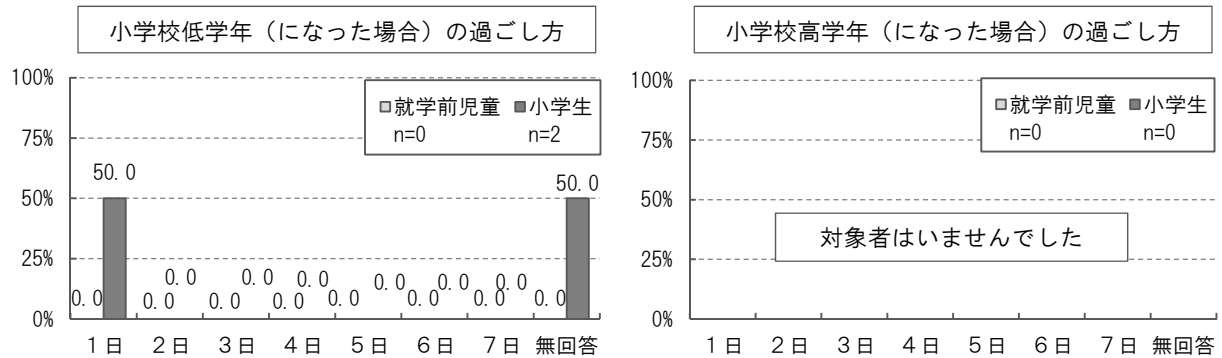
問23.6[問14.6]・問24.6[問15.6] 「アフタースクール（学童保育）」希望日数（1週当たり）



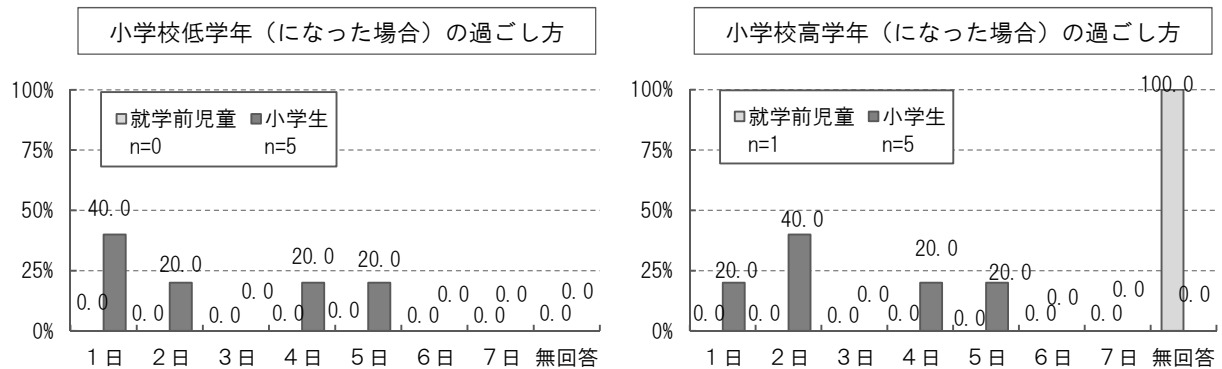
問23.7[問14.7]・問24.7[問15.7] 「放課後等デイサービス、タイムケア」希望日数（1週当たり）



問23.8[問14.8]・問24.8[問15.8] 「ファミリー・サポート・センター」希望日数（1週当たり）



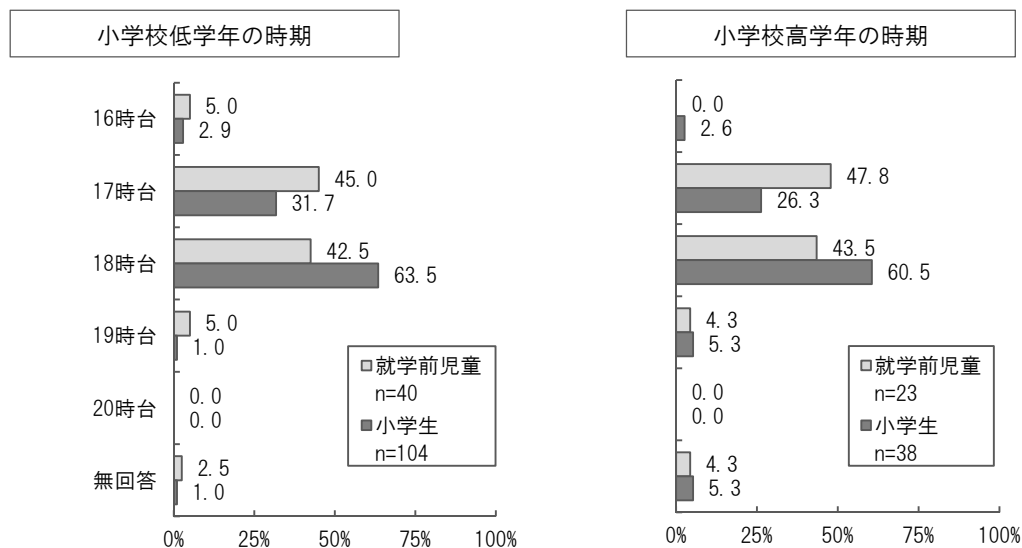
問23.9[問14.9]・問24.9[問15.9] 「その他」希望日数（1週当たり）





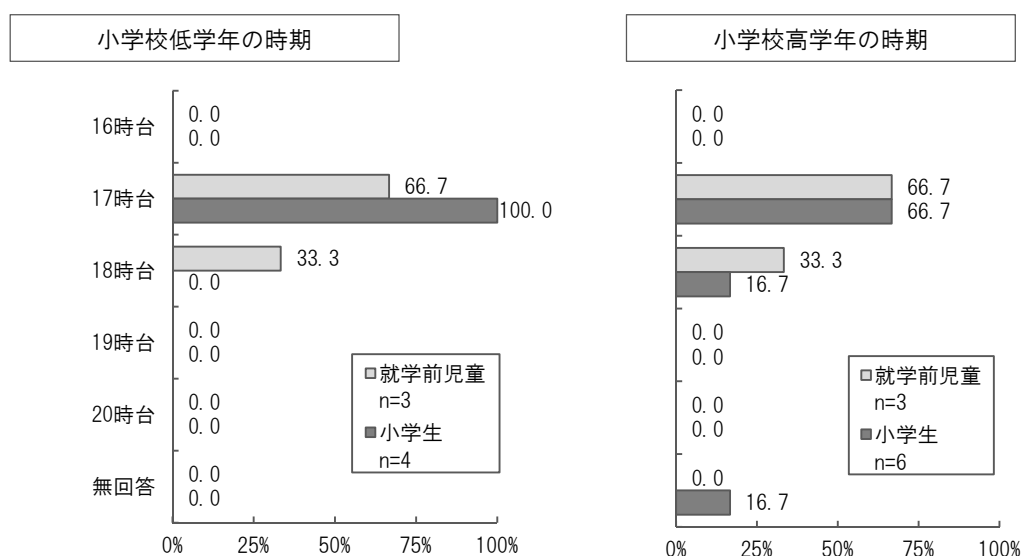
○「アフタースクール（学童保育）」の下校時からの利用希望時間帯をみると、就学前児童では「17時台まで」（低学年時期45.0%・高学年時期47.8%）が最も高くなっています。小学生では「18時台まで」（低学年時期63.5%・高学年時期60.5%）が最も高くなっています。

問23. 6[問14. 6]・問24. 6[問15. 6] 「アフタースクール（学童保育）」下校時からの利用希望時間



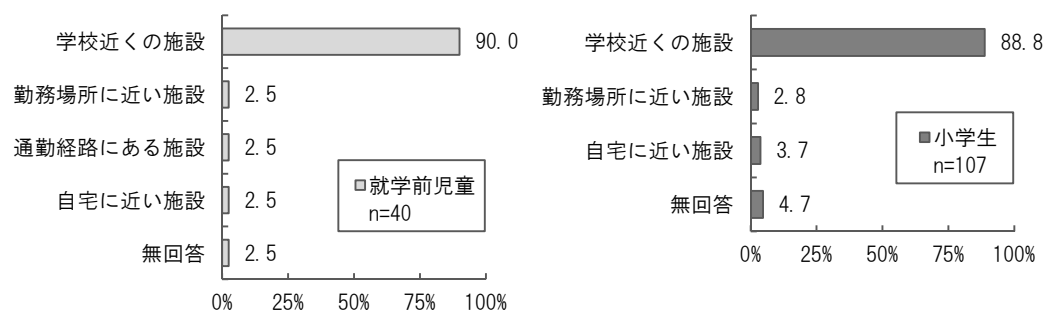
○「放課後等デイサービス、タイムケア」の下校時からの利用希望時間帯をみると、就学前児童では「17時台まで」が最も高くなっています。小学生も同様に、「17時台まで」が最も高くなっています。

問23. 7[問14. 7]・問24. 7[問15. 7] 「放課後等デイサービス、タイムケア」下校時からの利用希望時間



○「アフタースクール（学童保育）」を利用したい場所をみると、就学前児童・小学生いずれも「学校近くの施設」（90.0%・88.8%）が最も高くなっています。

問25[問16] 希望するアフタースクールの実施場所

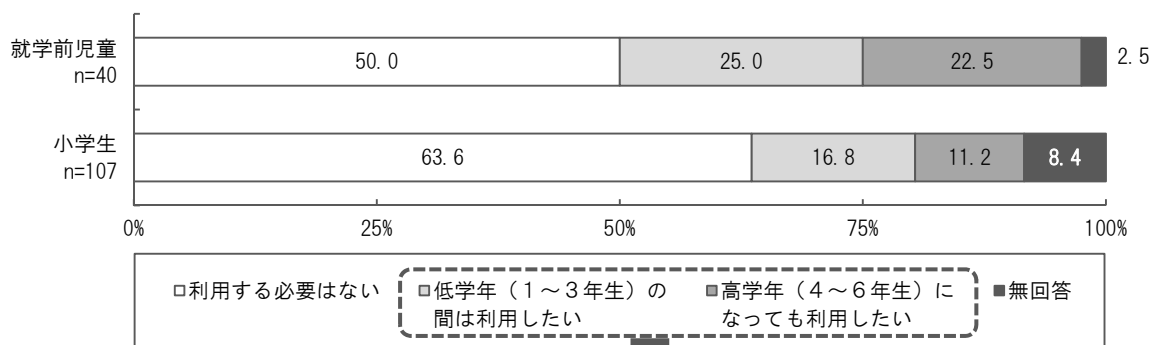


（２）土曜日、日曜・祝日、長期休業期間中のアフタースクール利用希望

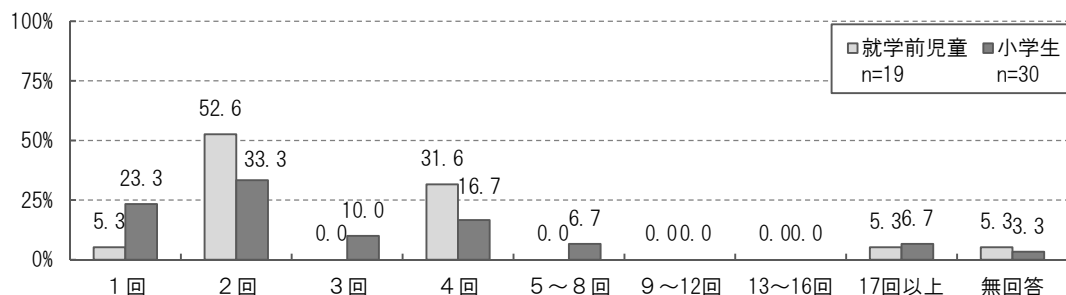
○土曜日の利用希望をみると、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」は就学前児童25.0%、小学生16.8%となっています。また、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」は就学前児童22.5%、小学生11.2%となっています。

○１か月当たりの希望利用日数をみると、就学前児童・小学生いずれも「２回」（52.6%・33.3%）が最も高くなっています。希望開始時間は、就学前児童・小学生いずれも「８時台」（47.4%・70.0%）が最も高く、希望終了時間は、就学前児童・小学生いずれも「18時台」（42.1%・50.0%）が最も高くなっています。

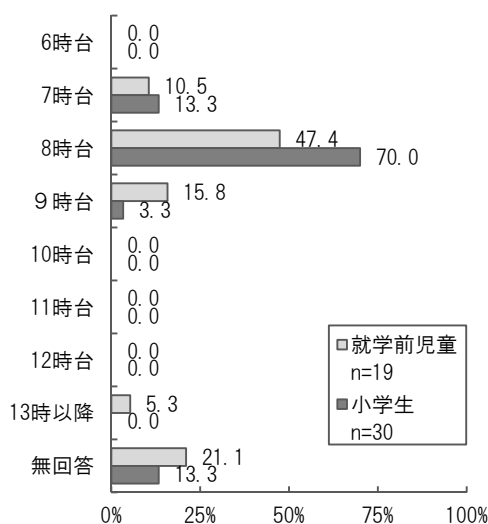
問26(1) [問17(1)] 土曜日のアフタースクールの利用希望



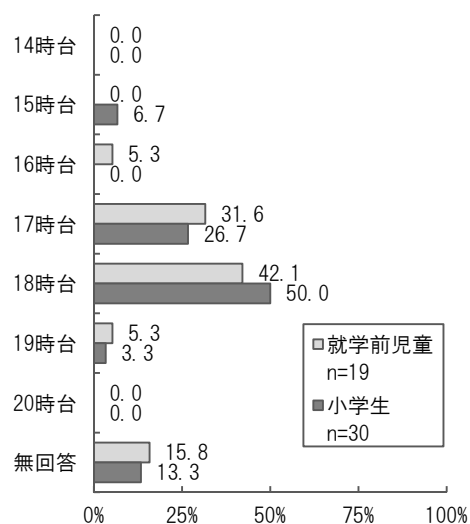
希望利用日数（１か月当たり）



希望開始時間



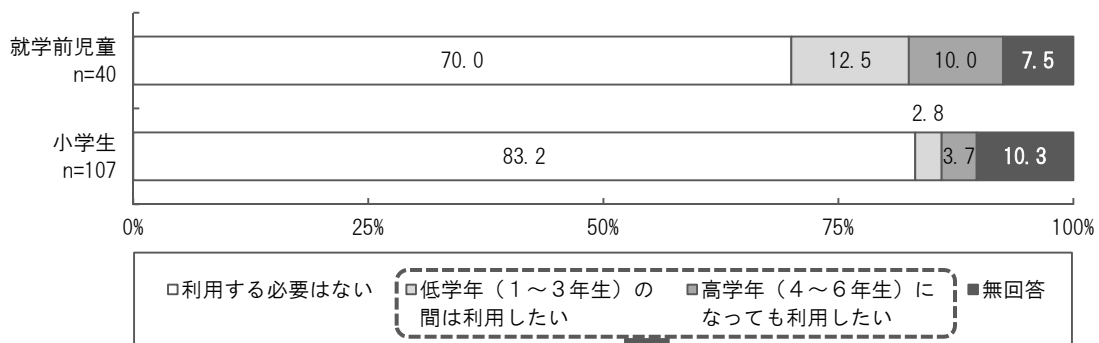
希望終了時間



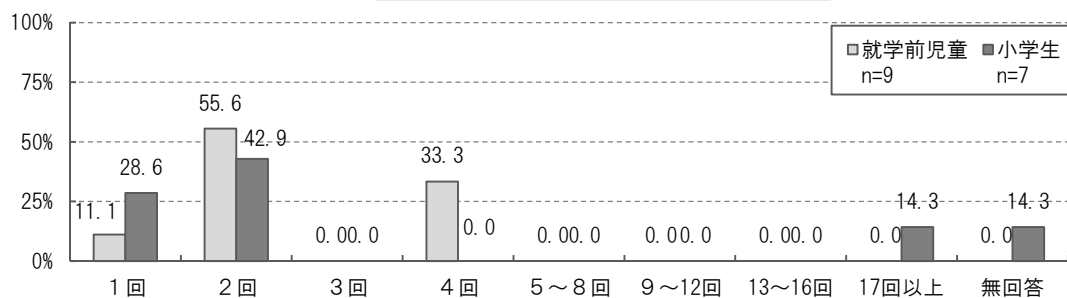
○日曜・祝日の利用希望をみると、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」は就学前児童12.5%、小学生2.8%となっています。また、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」は就学前児童10.0%、小学生3.7%となっています。

○１か月当たりの希望利用日数をみると、就学前児童・小学生いずれも「２回」（55.6%・42.9%）が最も高くなっています。希望開始時間は、就学前児童・小学生いずれも「８時台」、希望終了時間は「１７時台」～「１８時台」の割合が高くなっています。

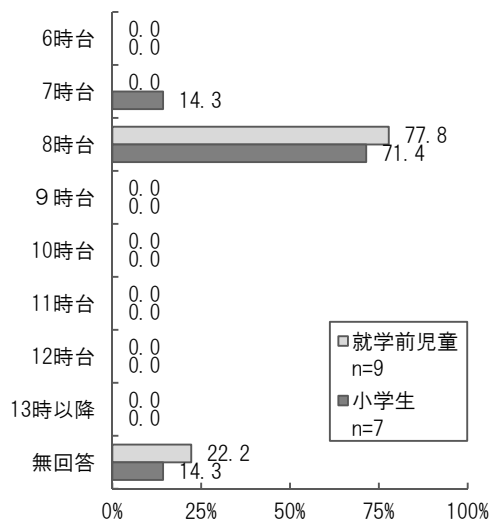
問26(2) [問17(2)] 日曜・祝日のアフタースクールの利用希望



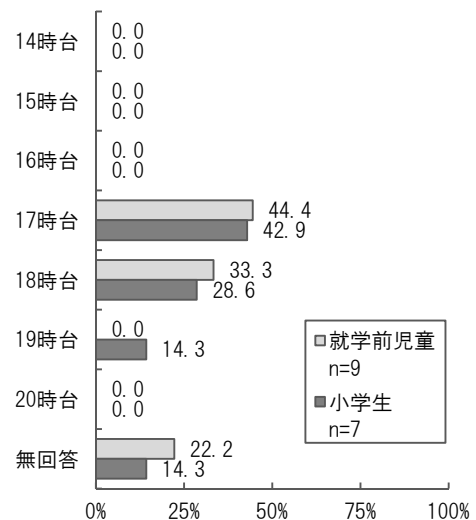
希望利用日数（１か月当たり）



希望開始時間



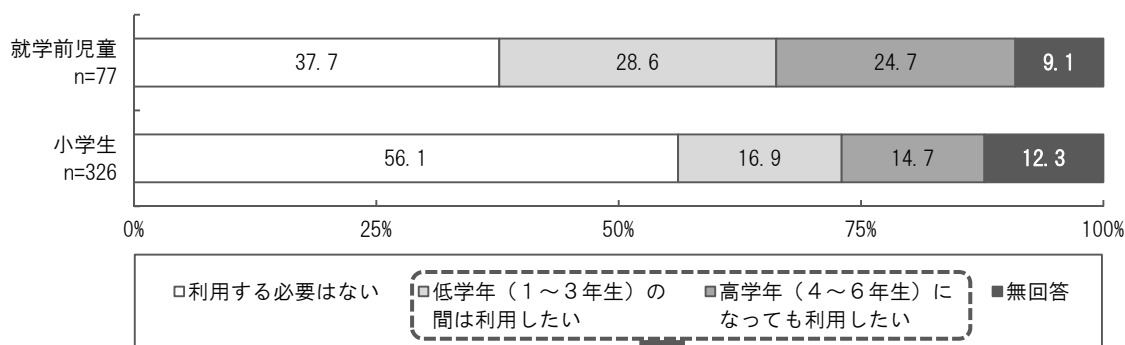
希望終了時間



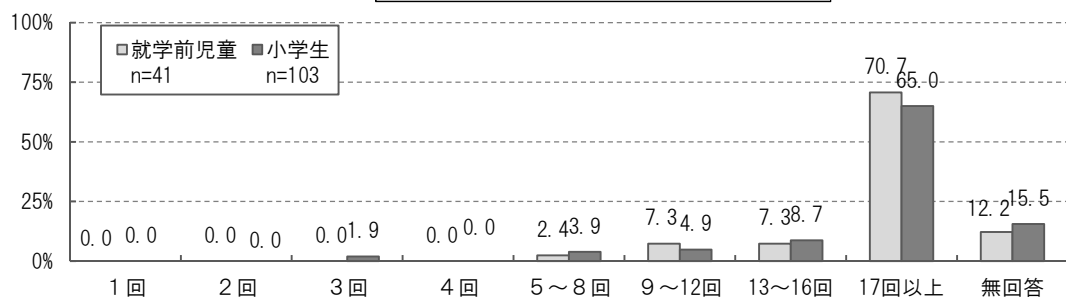
○長期の休暇期間中の利用希望をみると、「低学年（１～３年生）の間は利用したい」は就学前児童28.6%、小学生16.9%となっています。また、「高学年（４～６年生）になっても利用したい」は就学前児童24.7%、小学生14.7%となっています。

○１か月当たりの希望利用日数をみると、就学前児童・小学生いずれも「17回以上」（70.7%・65.0%）が最も高くなっています。希望開始時間は、就学前児童・小学生いずれも「8時台」（68.3%・62.1%）、希望終了時間は「17時台」～「18時台」の割合が高くなっています。

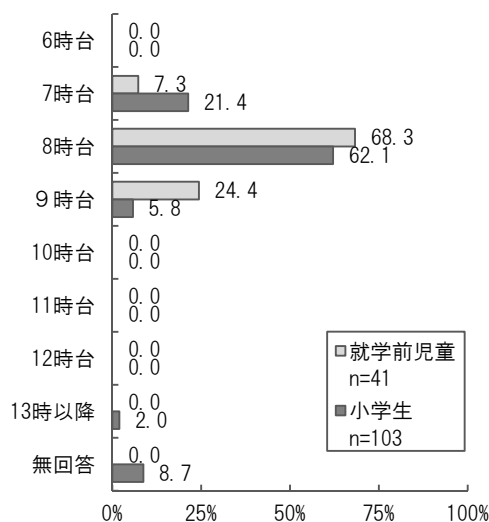
問27[問18] 長期休業期間中のアフタースクールの利用希望



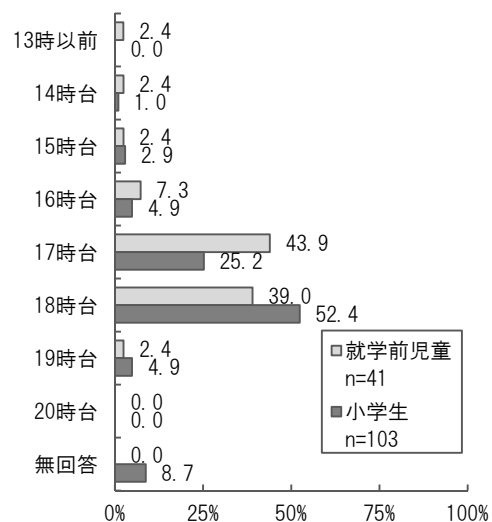
希望利用日数（１か月当たり）



希望開始時間



希望終了時間



第4章

育児休業制度の利用状況

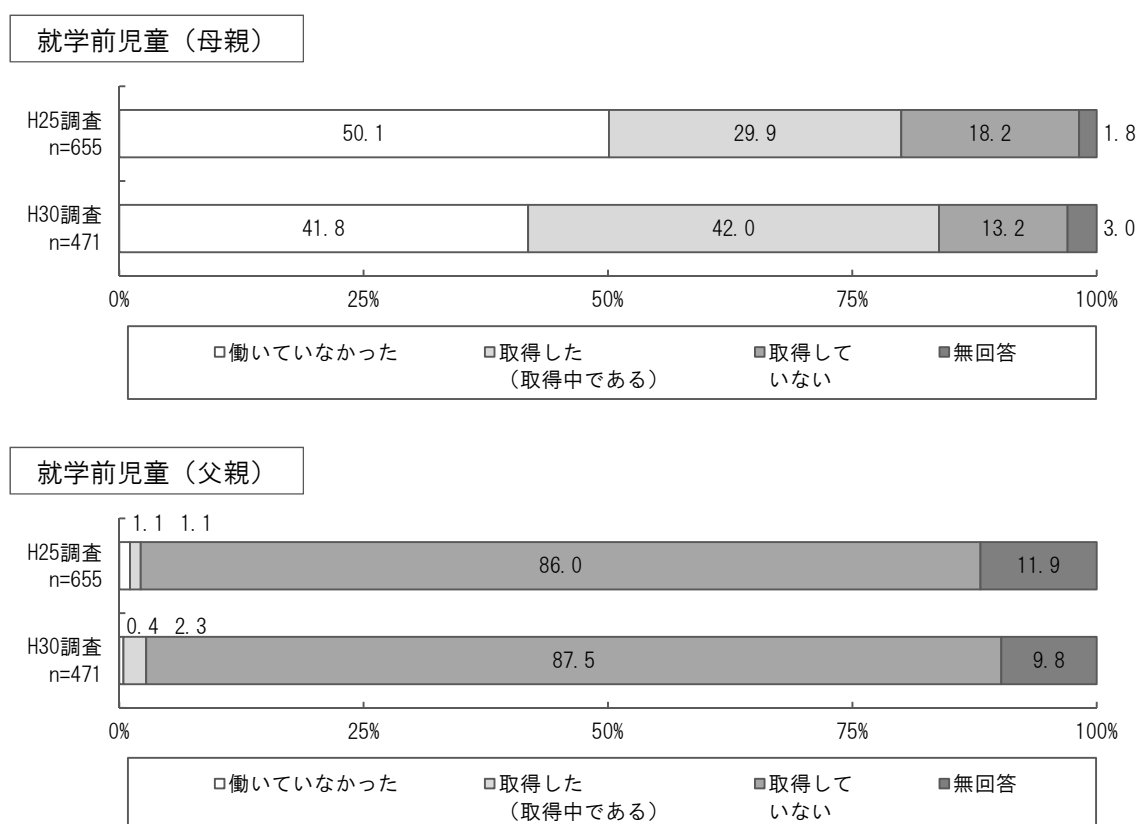
第4章 育児休業制度の利用状況

1 育児と仕事の両立支援制度について

(1) 育児休業制度の利用状況

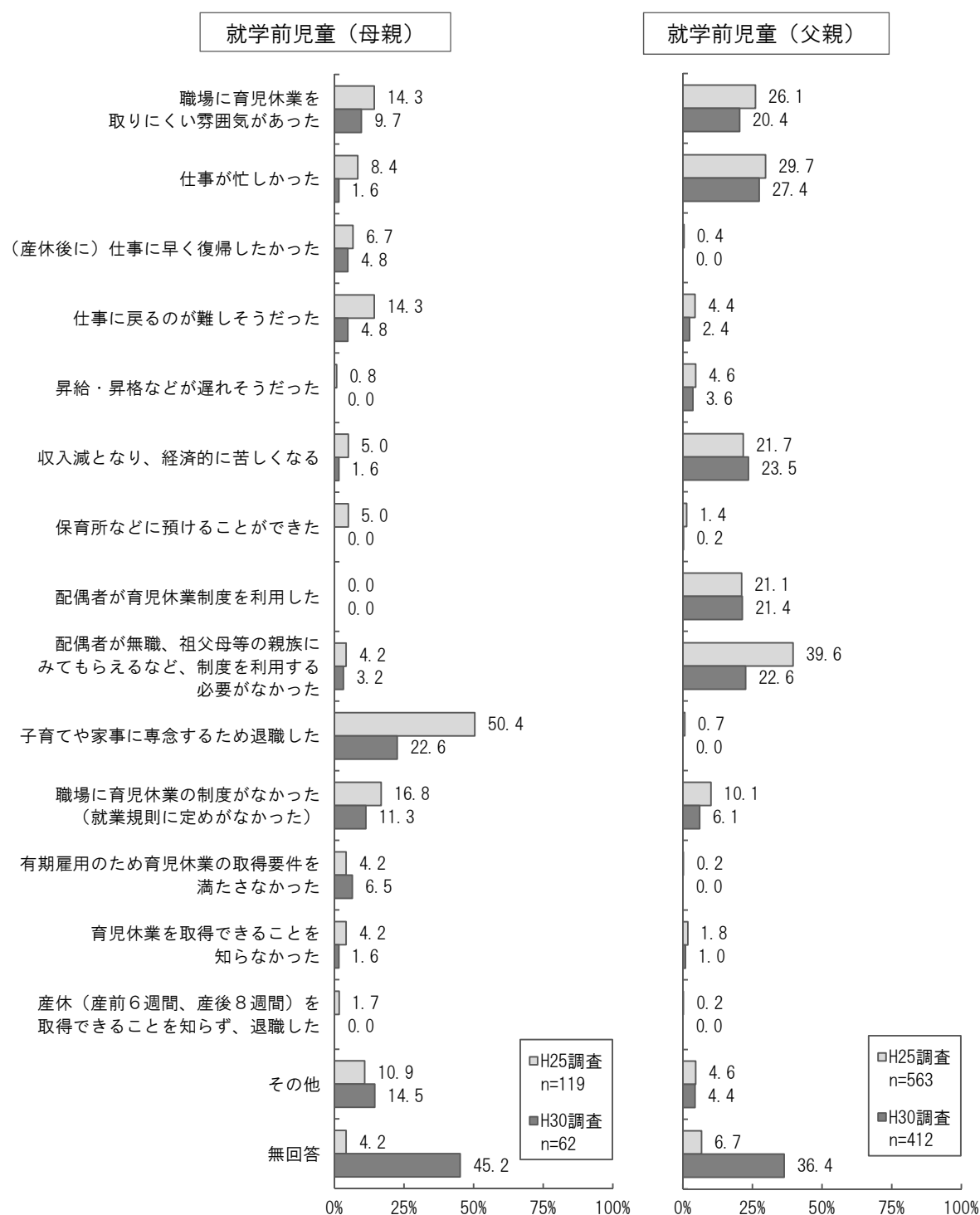
○育児休業制度の利用状況をみると、「取得した（取得中である）」母親は42.0%であるのに対し、父親は2.3%という状況です。また、前回調査と比較すると、「取得した（取得中である）」母親は前回調査（29.9%）より12.1^{ポイント}高くなっています。

問28 育児休業制度の利用状況（経年比較）



○育児休業を取得していない理由について、母親は「子育てや家事に専念するため退職した」（22.6%）、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」（11.3%）などを挙げ、父親は「仕事が忙しかった」（27.4%）「収入減となり、経済的に苦しくなる」（23.5%）、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」（22.6%）、「配偶者が育児休業制度を利用した」（21.4%）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」（20.4%）などを挙げており、母親の理由との違いがみられます。

問28.3 育児休業を取得していない理由（経年比較）

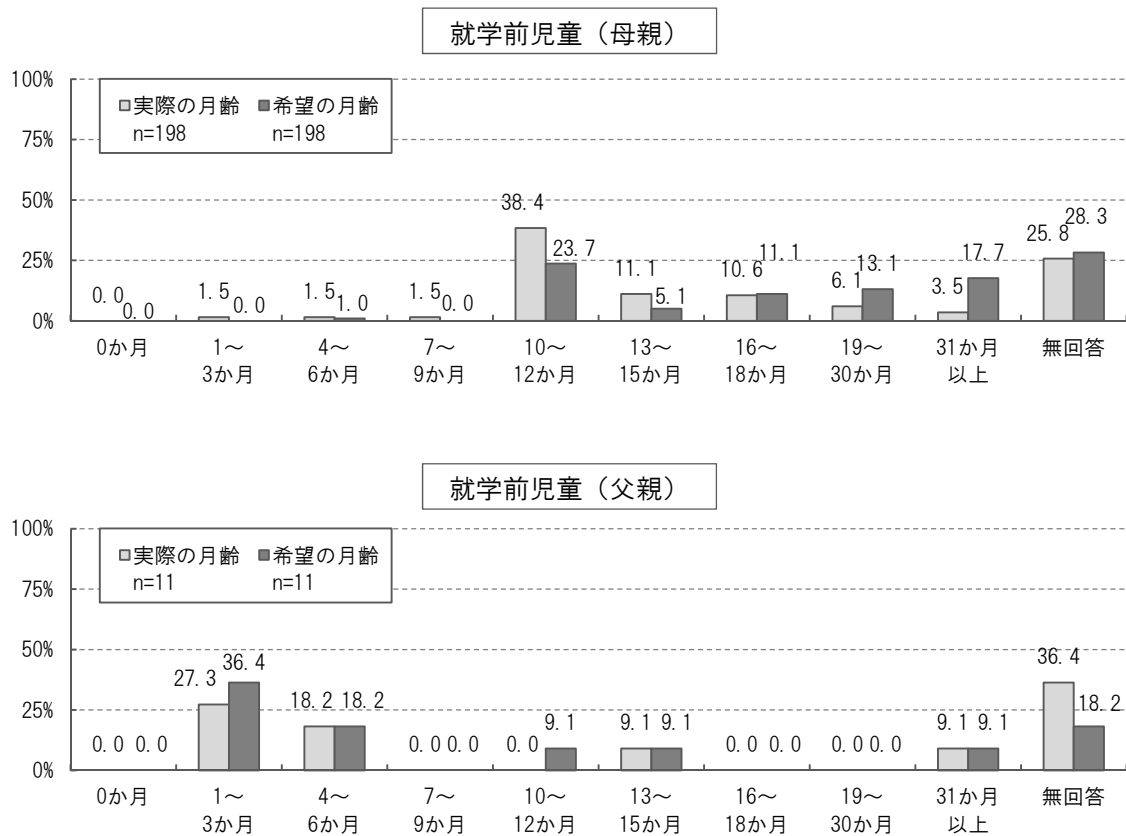


（２）職場復帰の状況

○母親が育児休業から復帰したときの子どもの月齢は、「10～12か月」（実際の月齢38.4％・希望の月齢23.7％）が最も高くなっています。

○父親は、「1～3か月」（実際の月齢27.3％・希望の月齢36.4％）が最も高くなっています。

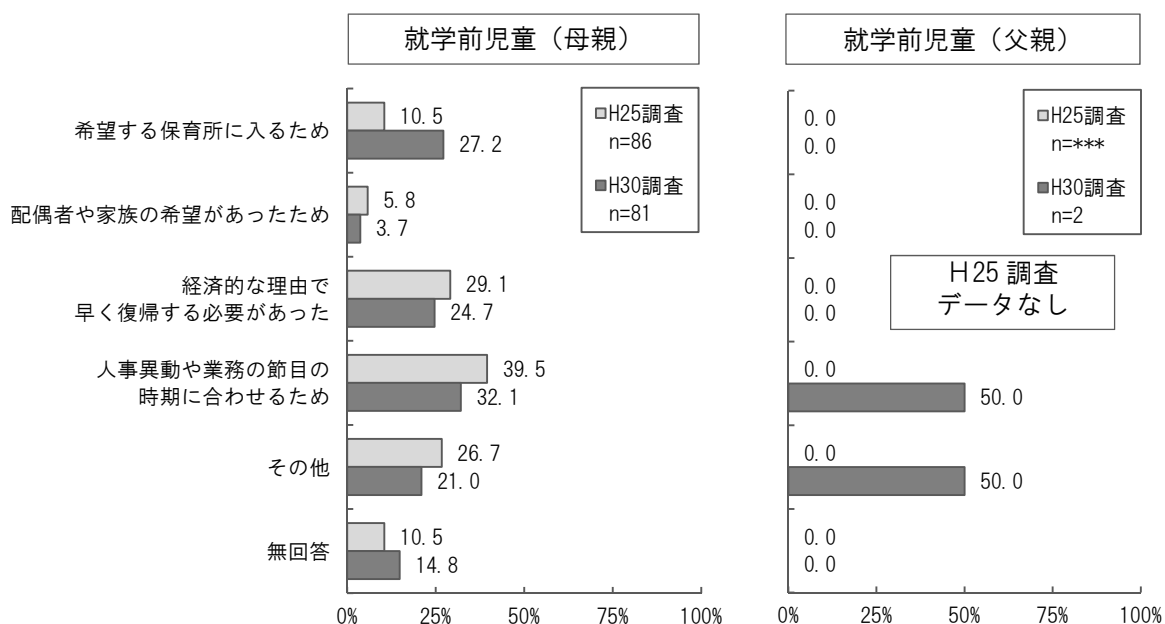
問28-1(1)(2) 育児休業から復帰したときの子どもの実際の月齢と希望する月齢



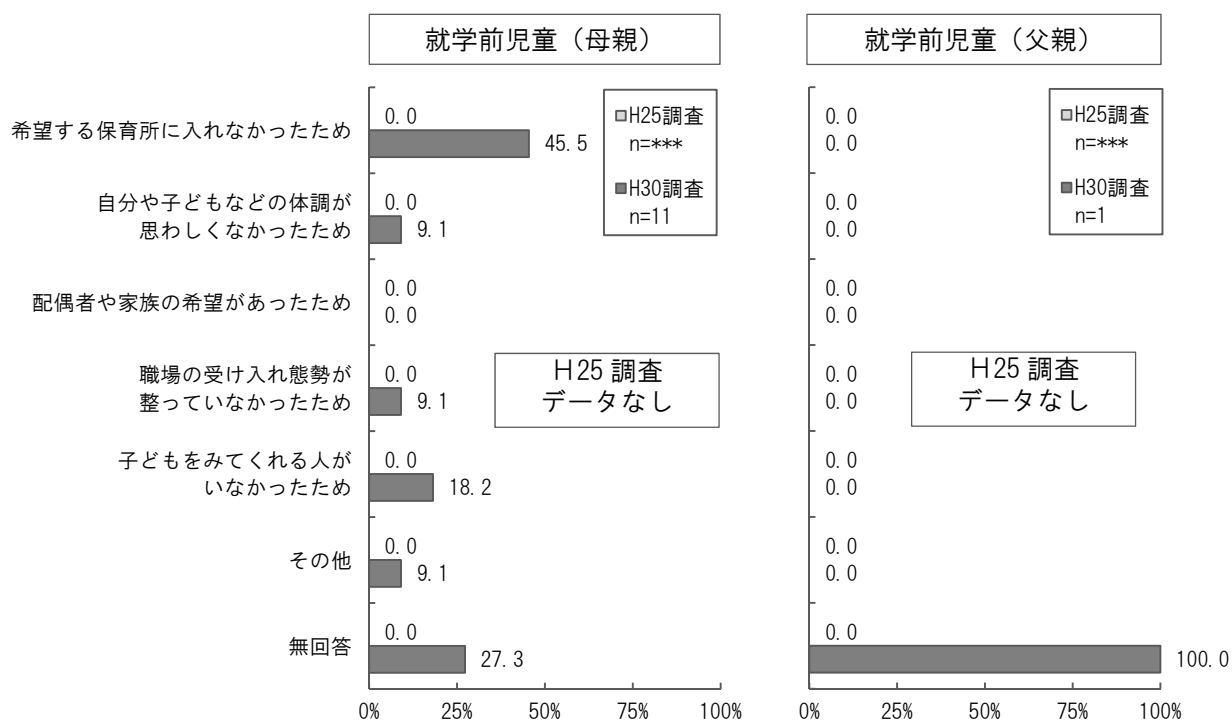
○母親が育児休業から「希望」より早く職場復帰した理由をみると、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」(32.1%)が最も高く、次いで「希望する保育所に入るため」(27.2%)、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」(24.7%)となっています。

○父親が「希望」より早く職場復帰した理由は、以下のとおりです。

問28-2(1)①② 育児休業から「希望」より早く職場復帰した理由（経年比較）



問28-2(2)①② 育児休業から「希望」より遅く職場復帰した理由（経年比較）



第5章

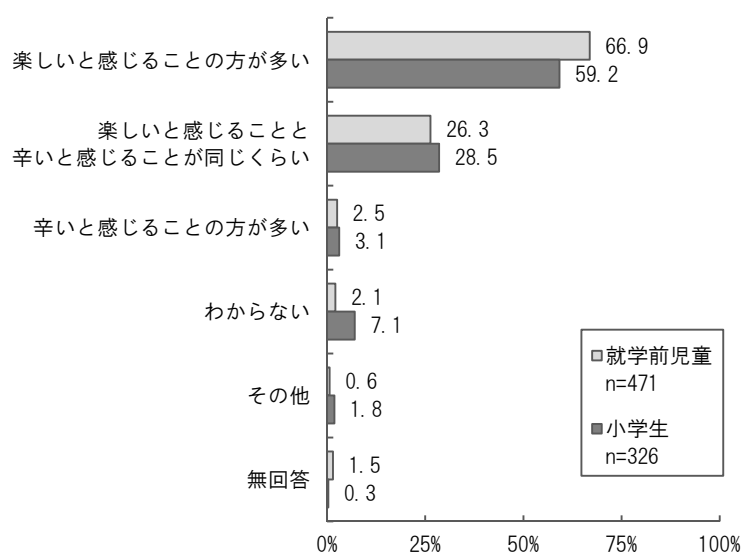
子育て全般

第5章 子育て全般

1 子育ての楽しさについて

○子育てを楽しんでいるかどうかをみると、就学前児童・小学生いずれも「楽しいと感じることの方が多い」（66.9%・59.2%）が最も高くなっています。

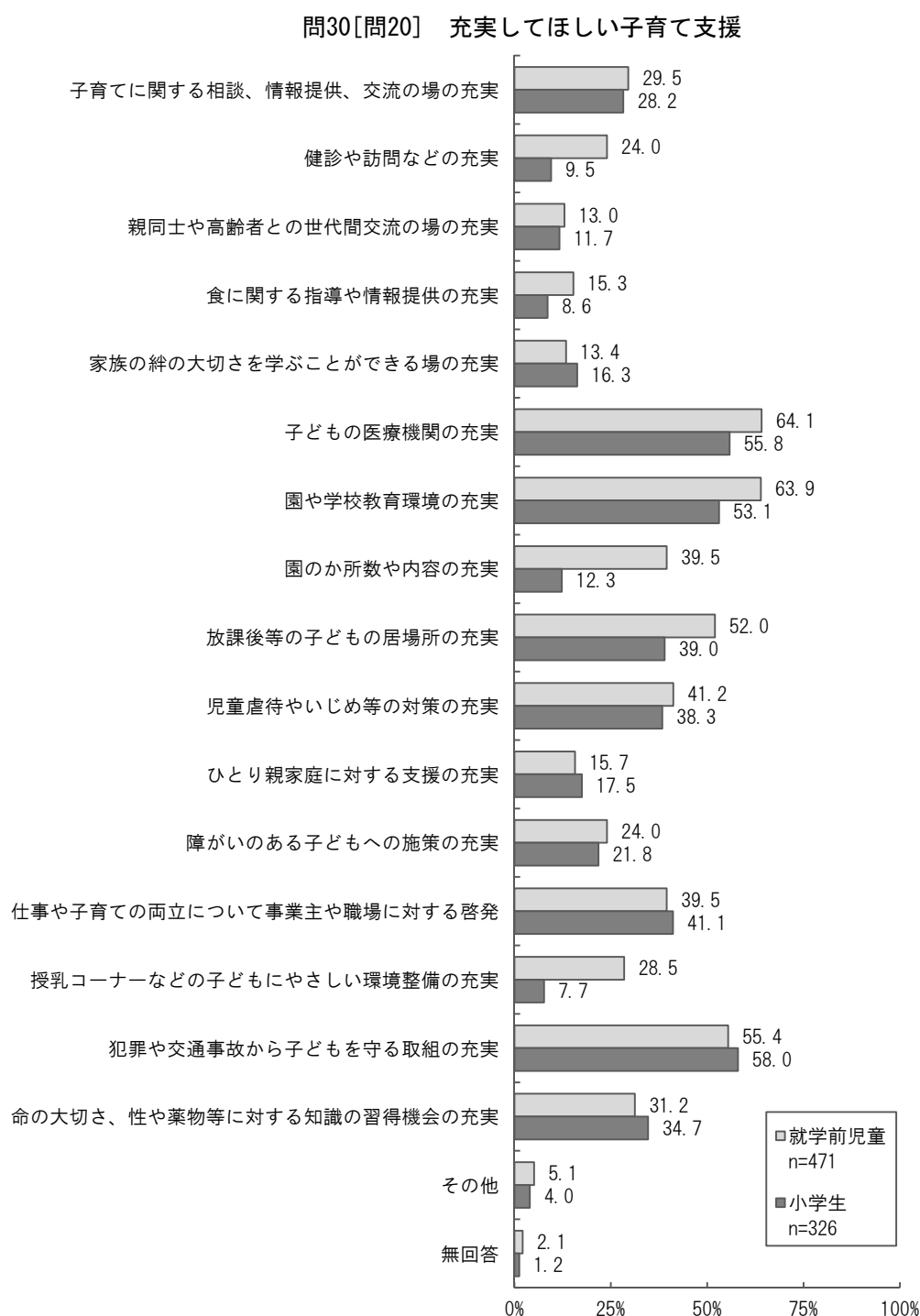
問29[問19] 子育てと楽しいと感じるか



2 充実してほしい子育て支援施策

○充実してほしい子育て支援策は、就学前児童では「子どもの医療機関の充実」(64.1%)が最も高く、次いで「園や学校教育環境の充実」(63.9%)、「犯罪や交通事故から子どもを守る取組の充実」(55.4%)、「放課後等の子どもの居場所の充実」(52.0%)などを挙げています。

○小学生では、「犯罪や交通事故から子どもを守る取組の充実」(58.0%)が最も高く、次いで「子どもの医療機関の充実」(55.8%)、「園や学校教育環境の充実」(53.1%)などを挙げています。



第6章
子ども・子育て支援に関する
自由意見

第6章 子ども・子育て支援に関する自由意見

1 就学前児童の保護者の自由意見

自由意見（抜粋）
神姫バスが加東市の5路線から撤退するというニュースを見ましたが小中一貫校により、スクールバスを運行することになっていますが問題なく実施できそうですか？
見知らぬ土地で、初めての子育てだったので保健センターの保健師さんの1か月訪問、その後の健診でのサポートがとてもありがたかったです。
こども園の料金や一時預りの料金・制度を統一してほしい。
子どもの命はとても大切ですが、あまり過保護な社会になりすぎないようにしてほしいと思います。
子どもの医療費無償は18歳まで制限なしで行ってほしい。4月から保育園に入園予定だが、保育料＋医療費で家計への負担が多く、会社へ復帰しても残業することもできないため手取りが少ないので今後のことが不安になる。子どもはもう1人欲しいが、家計的に難しいと感じている。
警報発令時の対応が園によってばらつきがありすぎるのではないかな。以前工作中に園から迎え要請の連絡が入り迎えに行ったが、激しい風雨の中の迎えで、子どもはびしょぬれになり風でハンドルは取られワイパーもきかず前方も見えにくい中の運転でとても危険に感じた事があった。もう少し柔軟な対応をしてもらっても良かったのでは？他の園に預けている保護者は「すぐに迎えに」とは言われていなかった。アフタースクールもだが保育園も土曜日の開所、保育時間を延長してもらえないか？土曜日だからと言って就業時間が短いわけではないし、職業柄子どもが休みの土日祝日を全て休むわけにいかず、保育出来る人もおらず、困る時が多々ある。
公園の遊具がこわれて、使用できなくてもなかなか直してもらえないので、子どもが行く度に「まだ使えないな」と言うのがかわいそうです。逆に小さな公園がリニューアルしているのはいいことだと思うのですが、遊具がものすごく減って簡単なものだけになってしまいつまらなく感じている公園もあります。
所得に関係なく全世帯の医療費無料（中学生まで）にして欲しい
小児科専門の病院を増やしてほしい。学校までの距離が長いようです。バスなど（学校の）があれば安心して通学できると思います。特に子どもの数も減っている中で、少人数で長時間の通学は不安が多すぎます。
学童保育の無償化を将来的に考えてほしい。大阪市は無料と聞いています。歩道が急になくったり狭かったり、悪路だったり子どもが歩くには危ないと思います。近所に公園がない。
0歳児の途中入園が難しいため中々復職しにくいと感じる。特に早生まれの子は入所申請が期間内にできないので希望する園に入りにくいように感じる。
現在認定こども園に通わせておりますが、祝日の保育がないので仕事を休まなければならない、できれば祝日も預けられるようにしてほしいなと思います。あと育休取って1歳からこども園に入れる際に兄弟と同じ保育園で入れなかったなど転園などで上の子は入れるが下の子は入れないといったり、保育園が別々になるのはすごく困ります。周りでもそうなっているということを耳にするので2人目が出た時に同じ保育園に入れるのか心配になります。なるべく兄弟一緒に保育園に入れるようにしてほしいです。
公園設備の安全性と共に使用禁止の遊具の修理を行ってほしい。夜間や休日に遠方まで行かずに利用できる医療制度。
教育、保育に関わる仕事に就いている方の、仕事が大変だと思います。職場環境や待遇の充実を願います。

自由意見（抜粋）
妊娠中働いていた職場では（加東市です）モラルの低さを痛感しました。産休、育休制度だけでなくマタニティーハラスメントへの事業主の啓発を商工会等で行うべきだと思います。また実家が他市なのでそちらの病院を利用していますが、加東市との子どもの医療への差がありすぎて大変不便です。少なくともこの近辺の市町村で待遇は合わせていただく方が望ましいと思います。
無料化とか言う前に、誰もが平等に入れる保育所、幼稚園の確立の方が重要。入れなければ無料化に意味はない。入園方法をもっと見直すべき。利用者が納得できるような説明をする必要がある。子育てには期限（期間）がある。私たちの子どもが大きくなって対象外になった時に今と同じ様な状況でないことを願う。
児童館の活動をもう少し充実させてほしい。グループ（年齢別）月1回は親子ともに交流ができ、よいが普段は保育士の方たちの関わりがほとんどみられないため、親が子どもを見る、遊ばせるのが基本ではあるが一緒に見守ってもらったり親子遊びをする時間を設定してほしい。またベビーマッサージやリトミック等1歳までしか参加できないものが多いため1歳以降も参加できる企画を増やしてほしい。
加東市は何年も前から「父子手帳」の交付があり、育児初心者のパパのためにとても役立ったと感じました。できれば「祖父母手帳」もあれば嬉しかったです。1歳未満の子どもにハチミツをあててはいけないことや、虫歯予防のため箸やスプーンの共有を避けたいことなどわかりやすく記載された冊子があれば助かります。仕事に行っている間、孫の世話をしてくれている祖父母にはとても感謝していますが、子育てに関する知識が30年程前の状態で止まっている？と感じることもありヒヤヒヤする時もあります。公共の場から子育て、孫育てに関する情報をもっともっと提供していただけたら、今まで以上に安心して生活できると思います。
子育て支援サービス（アフタースクール、ファミリーサポートセンター、病児病後児保育等）の利用料金をもう少し低額にして頂ければ嬉しく思います。特に病児病後児保育等。保育士不足が続いています。保育士の手助けとして無資格の方でも気軽に保育所及び幼稚園並びに認定こども園等、働ける場が広がればよいと思います。大阪市では「子育て支援員研修」を受講し全て終了すれば保育現場で活躍できる幅があります。全国共通の研修ですので、加東市も率先して「子育て支援員研修」後の方々へ保育現場や教育現場で働けるようにしてみてもどうでしょうか？案外主婦で受講されておられる方々がいます。
「ひとり親家庭に対する支援の充実」とかは、書いてあるのに父も母も両方ともいるのに一人で子どもを見ているのは母が多いんじゃないでしょうか？それに対しての対策はないんですか？ひとり親家庭としぼらずに親身に話聞くだけでは無くて「たいさく」というものも必要だと思います。そういう母たちが結果的に精神科に通わなくなってるのも現状やと思います。
アフタースクールなどまだ利用していないので正直よくわかりません。
昨年12月から長女が入院し今年10月までの長期入院です。次女がこの4月小学校1年生。11月にアフタースクールの申し込みが切なのは分かっていましたがどうにかしてほしいと思い、申し込みに行きましたが「すでに定員がいっぱいなので順番待ちです」と断られました。それぞれの家庭の事情はあると思うし、アフタースクールの定員も分かりますが「定員がいっぱい」の一言でそれ以上の話を聞いてもらえなかった事がとても残念でした。何か他に頼れる所などその時に情報が教えてもらえたらと思いました。
来年幼稚園を希望していますが、枠が少なく入れるか心配です。折角仲のいい人が出来たのに同じ幼稚園に入れなくなると。受け入れ人数の見直しをお願いします。合併した意味がわかりません。
米田地区に住んでいる子どもたちが将来、小中一貫になったら通学が大変である。スクールバスなどを設定するのであれば決まりしだい早く知らせたい。小中一貫になる事でいじめが中学卒業まで続く可能性があるのだからちゃんと生徒を見れる環境をととのえて欲しい。使用していない田んぼなどは家を建てられるようにして新しい家族を受け入れられるようにしていければいいと思う。

自由意見（抜粋）
子ども（子育て）と仕事で1人になる時間がなく、心に余裕がもてなくなる事があるので美容院や病院へ行く等でできればなーと思う。父親も（土）は仕事なので保育園も預ってくれると助かるなと思います。子どもに辛くあたる事もあるので。仕事をしていないと基本預りはできないが、通園していない園での一時預り（お金払ってでも）はできるのかなと思うタイミングがある。3人目は2人目と離れたので保育料も高く3人目が無料になっている人とはすごい差があると思う。
加東市内に出産できる施設（病院）がないのが困ります。父母ともに祖父母に頼ることができないので里帰り出産ができません。市内にそういった病院があると大変助かります。東条ミナクル内のあそび場をフローリングからカーペットにして欲しい。1歳未満（歩けるようになるまで）はフローリングでは遊ばせることが出来ません。衛生面のこともあるかと思いますが、前向きに検討お願い致します。
待機児童が多く保育所に入所出来なかった為、やむを得ず退職したというお母さん方の声をよく耳にします。児童館に行っても「保育所入れなかった」「仕事やめるしかないのかな」という話題がものすごく多いです。働くお母さんへの支援をもっと行って頂きたいです。よろしくお願いします。
東条地域、小中一貫校の工事日程や予定を地元の人間にきちんと説明してほしいです
共働きの世帯が増えていると思うので、そういったところに目を向けて施策をしてほしい（病氣、長期休暇など）
現在長女、次女を森のようちえんに通わせています。主にやしらの森公園など加東市周辺で活動しています。他の園児たちは小野市、加西市、神戸北区から通って来ている。子どもたちは毎日外で元気にのびのびと遊んでいます。おかげで体も心も大きくたくましく育っています。子どもにとって外遊びの大切さを毎日実感しています。昔のように子ども達が自然に集まってきて走りまわっている、そんな光景がある街であるといいなと思います。いろんな年齢の子たちが集まってその中で子どもたちはたくさんのことを学びます。そしたらきっといじめもそんなになくなるんじゃないでしょうか。まずは教育者、保育者たちにもっと子どものことを知ってもらいたいです。
病気をした時、夜間でも対応してくれるところが遠く、時間に制限があり不安が大きい。子どもが病気で病児保育があるが申請が前日までに診断書がいることで利用しにくい。小さいうちに病気でしんどいのに預けることへ抵抗があり祖母に仕事を休んでもらっているが、実際職場に休みたいと希望を言い出しにくい。2人目3人目希望しているが、時短が十分に利用できない。制限が暗黙ルールとしてあるため、フルタイムでは難しく転職を考えるが退職すると2人目の保育場所が1人目と違ったり1人目もやっとこども園に慣れたのに変更せざるをえなくなってしまうので不安がある。
子どもが急な熱が出た時など、休む事が多いのはまだまだ母親が多いように感じる。加東市の病児保育もとても手厚く見ていただけるので（子どもも病院の保育園に行きたいと言うぐらい）助かっている。保育所も（現在ようちえん利用）利用していたが、保育の質に疑問を感じる事が多かったので働く母親や父親のサポート施設がふえるのはとても有難いが同時に「質」の部分、子どもを社会全体で支える「根」の部分はきちんとおさえてほしい。人を支えるのは人、人を大切にする環境を作らなければ結局子どもを支える立場で働く人が育たず、子どもにしわよせがいくのなら本末転倒だと思います。
他市から引っ越したため、他市と比べると保育所（こども園）や小児科の開園、開院時間が短いため、仕事をしていると仕事帰りに調整が必要。もう少し時間が長いと市外で働く父兄にとってありがたいと思う。また、園によっては地域性か運動会が小学校と合同になっており園の近くの住所地でないと居場所がない。関わりづらい雰囲気がある。
保育園がいつも定員ギリギリか、少しオーバーしているような状態なので、もう少し園を増やしてほしい。保育士の先生たちの待遇も、良くしてほしい。子どもの体調不良で仕事を休まないといけなことがよくある。職場に理解してもらわないと、仕事を続けることができないので、会社や事業主、管理職への啓発をしっかりとしてほしい。

自由意見（抜粋）
働きたいのに子どもを預ってもらえず、提案されたのは上の子と別の園への入所で仕方なく、決定していた仕事をことわりしました。こども園として教育利用を増やすことも大切だとは思いますが、働きたいと思う親への環境も充実させて欲しいと思います。また、この一年は一時預りを利用して就労することとなります。働らいても保育料で半分ほどなくなってしまうので、その辺の環境も考えて頂けたらと思います。
小野市のように医療費を18歳まで使えるように引きのばしてほしい。妊婦健康診査費用14回100,000円もありがたいですが、産まれるまでもう少し回数が増えるのでもう少しお金を出してほしいです。
保育園を選べるほど近くにないので、行く所が、ほぼ決まってしまう。先生や園長に不満があっても、市は動いてくれない。保護者の意見をもう少し聞いてほしい。
せっかく大きなこども園ができて入れないのでは意味がないです。落ちました。
「小野市と同様に！」というのは難しいのかもしれませんが、義務教育が終了するまでは、親の所得にかかわらず子どもの医療費がゼロになることを願います。あと、1人か2人子どもが欲しいと思っていますが、1歳から払うことを考えるとなかなか前に進むことができません。小さいうちはよく病気になるので出費が。
家庭的保育やファミリーサポートを利用したいのですが、近年乳幼児を狙った犯罪が多く不安です。公的な保育サービスは市の財政的に厳しいと思いますが、安心安全な保育や学童のための人選や指導の充実をお願いします。またスケート、ボード禁止の公園も多く、子どもが安心してのびのびと自転車やボードが出来る様な施設があればいいなあ~と思います。三木市のスケートパークや大型施設を加東市も是非取り入れて欲しいです！
赤ちゃんの内の健診を希望者だけでもいいので回数を増やして欲しい。特に初めての赤ちゃんの場合、気になる事が多い。それと、健診の際にもっと親身に悩んでいる事をきいて欲しい。気軽に相談できるよう、児童館などに相談員を常時おいて欲しい。保育所など、もっとスムーズに預けれるようにして欲しい。待機児童を作らないよう、保育士さんの充実、働きやすい環境を作ってあげて欲しい。
市内保育園の全てのトイレを新しくかえてほしい。くつ下のまま、スリッパをはくことなく入れるトイレがいい。
幼稚園、保育園が統合された結果、新しくできたこども園に入りたかったが、抽選で落ち、入れなかったと言う話をあちこちで聞きました。見通しがあまかったのではないのでしょうか。また、上の子は新設こども園で下の子は別の保育園になったケースもあったとか。働く母親に二つの園の送迎をさせるのは、どうなのでしょう。負担以外の何物でもないと思います。自分のことではありませんが、こんな環境では、働きたい気持ちはあっても、子育てしながら実際に働けるかどうか不安になります。もっと市民の実情に添った支援をして欲しいです。
就学にむけて、特別支援学級を利用するか相談した際、こども園、はぴあ、小学校の説明がとてもわかりづらく、どこも書面でわかりやすい説明書（フローチャート等や、申し込み期限など）を出してくれるところがなかった。遅くとも、年長時の春ごろに保護者への説明会等をするべきだと思う。実際、そうしている自治体があると聞いたことがあります。
保育料の件は以前にも意見させて頂きましたが、所得に応じてというカテゴリー分けの必要性が分かりません。同じ時間、内容の保育を受けるのになぜ、金額に差が生じるのでしょうか？頑張ってる働いた分のほとんどが保育料です。私のパート代が保育料、何のために働いているのか分かりません。
毎年市の健診を行ってほしい。
アフタースクール等でピアノ等の楽器や科学系、社会科系や書道、珠算などにふれて教えてもらえるような、あれば良いと思います。これらは、曜日ごとに（例：月曜は書道、火曜は珠算というように）1週間それぞれがあれば。ただし出席は自由とし、1単位1時間程度、このようなことを実施していただければ、と思います。学習を受ける自主制などをやしなうのに良い。これらを実施するにあたり、参加料が発生しても可と思います。

自由意見（抜粋）
3歳までは健診はありますが、就学するまでは、定期的に市で健診があってもよいのではと思います。3歳以上になると幼稚園や保育園に通っているという事で何もないのでしょうか？もし、子どもに何か問題があったとしても、先生の口からは保護者には言いにくい、と聞いた事があるんですが。それなら健診で保健師や医師から言われた方が相談しやすいのかと思います。保育園無償化もよいとは思いますが、保育士さんの待遇を良くしたり、人員確保、負担軽減をして、子どもや保護者が安心して預けられる保育園を増やしてほしい。子どもが通っていた園では5年間で20人以上先生が辞められています。色々理由はあると思いますが、上が代わったら、とっていましたが代わりがいなくて現状維持です。今年も色々あり、市役所の方にも動いていただいて、大変ご迷惑をおかけしてしまいましたが、これを機に少しでも良い方向にいけばと思っています。定期的に視察や、現場の保育士さんへの面接等、必要なのでは、と思います。
保育園にも保護者会の役員というものがあり、毎年役員に選ばれないようにとドキドキしています。フルタイムで就労している上、職場も遠く、休暇も子どもの病気等で使う必要があるのに、さらに役員の仕事で休まざるをえなくなると、大変困ります。ここに書くべきことではないかもしれませんが、小学校～高校まであるこの役員制度、どうにかならないものかと思います。
いじめや、親からの虐待が増える一方です。ニュースにもなっていましたが、該当機関も大変だと思っています。それでも将来を担うであろう子ども達のために、しっかりとした機関間での連携を強く希望します。趣旨とは逸れますが、インフルエンザが流行した際、加茂こども園でかなりの感染拡大がありました。対応がとても遅かったと思います。保育士も、もっと感染、疾患についてもっと知識を得る必要があると思います。次年度もお世話になりますが、冬期が不安で仕方ないです。
妊娠、出産で認定こども園に入園出来ず、一時預かりもして頂けませんでした。なので、市には期待していません。
公園の遊具をもっと増やしてほしいです。小さい子ども連れでも安心して子どもを遊ばせることができるような公共施設をつくってほしいです。公園に向かう際に通る道にガードレール等がなく、親が周りに気を配っていかなければいけません。公共道路の安全性を図っていただけるような環境整備をしてほしいです。無料で利用できるようなスポーツ施設をつくってほしい。
児童館、図書館ともに月曜日が休みなもので、いつも小野市まで遊ばせにいったままです。休館日をバラバラにしてほしいです。高齢者の運転（車）や外国人の自転車マナーが危険なことが多く、事故寸前の時もありました。（社4区児童公園前の一寸停止無視）小学校など運動会は暑すぎるので（練習を含めて）10月頃にしてほしい。みらいこども園の駐車場の台数が少なすぎだと思います。保育料の保育時短（パート）と標準時間の負担額の差が少ないのに時間幅の差がすごい。幼稚園部との時間差は少ないのに、利用料の差が数倍もあるのが納得できません。
この4月から加東みらい園がスタートしますが、駐車場の数が少なすぎる中、時間内でなければ延長料金が発生するというのは、どのような送り迎えで考えられているのか？園児数の数と駐車場の数のバランスがあっていない。駐車場が確保できないのであれば、送り迎えの時間をもう少し（幼稚園部）長くって頂きたい。（例えば、送りは8：45～ではなく、8：00～か8：30～、迎えは14：00～ではなく14：30～にするなど）いくら今より早く自宅を出発して送り迎えをしても、駐車場にとめられず延長料金が発生するのであれば、今現在の建物で幼稚園とこども園別々のまま現状維持して頂く方が良いです。全然環境整備が充実していません。新設加東みらい園に関しては、まだまだ多くの方々が沢山言いたい御意見があるかと思っています。
少人数での授業を望みます。
児童館やしろこどものいえ。おもちゃ増やして下さい。おもちゃを新しく清潔なものにして下さい。休館日を月1回程度にして下さい。不要と思われる本は処分して下さい。加東市は、近隣市町村と違い4、5歳児の保育料無償ではないのはおかしいと思います。高校生以下の医療費を無料にして下さい。病児保育の受入人数を増やして下さい。

自由意見（抜粋）
夫婦だけで子育てをしていて、二人ともフルタイムなので、もう少しあずかってくれる施設があればいいと思います。又、文化、スポーツなどの才能をみいだせるような低価格の公的な場所をもっといろんな種類を増やしてほしいです。民間は、時間が平日の昼間であったりしてなかなか通わすことができません。色んな夢や希望をもてるような環境があれば、健全に育ってくれそうだからです。
東条地区の小中一貫校について、学校まで距離があり遠いと感じます。スクールバスの運行を希望します。
産婦人科や小児科など医療機関の充実をしてほしいです
加東みらいこども園が開園するにあたり、附属幼稚園の送迎ルートを変更するよう要請があったと聞いています。道が混雑するのは、建設が決まった時点でわかっていることでそれでも建設したのだから、その問題はこども園がルートを変えとか、登園時間をずらすなど、こども園が解決すべきであり、附属を巻き込むのはやめてほしいし、すじ違いだと思います。
4月から新設の加東みらいこども園に転園しますが、規模が大きくなり、こどもの楽しみが減ることが残念です。バス遠足、七夕のつどい、お泊り保育、畑での収穫、図書館や近くの公園へのお出かけ。集約ありきの新設で、こども主体ではなくなっているように思われます。改善してほしいです。また、病児保育施設をもう少し利用しやすくしてほしいです。利用料も高いのでは？
幼稚園（ふぞく）のあずかり時間帯を長くしてほしい。今は8時～18時だけど7時～19時にしてほしい。（市がどうこうでないと思うが。）うちは共働き家庭なので、子どもは小学校へあがったら必ずアフタースクールに行くことになる。しかし、アフタースクールは、場が狭く、子どもがパンパンで指導員の数も少ない。こういううちのような家庭は多いと思うので、アフターの場を広くかくほし、指導員も多くしてほしい。現状で預けるのはとても心配です。アフターでの子ども同士のトラブルも多そうなので、子どもを見てもらえる指導員がたくさんいてほしい。
共働きで、所得の関係上、医療費の免除がなく、重度の病気と判断しない限り、薬局の市販の薬ですませてしまいます。いくら、共働きであっても、子どもが小さい間は病気しやすく、身寄りも遠方にいるので、病児保育等料金のかかる施設を利用せざるを得ません。所得があっても、子どもにかかるお金や、他の出費もあるため、そんな裕福であるとはいえず、せめて医療費の助成はしていただきたいと思います。
こども園や小学校など、大変お世話になり、生活できています。今、ひとつ困っているのは、小学1年生になる子どもが、4月中は、給食なしで午前中に帰宅することです。約1ヵ月間、仕事を休むわけにはいかず、アフタースクールを短期間利用するには、手続きも大変です。学校の教育時間の変更か、手続き（アフター）のしやすさの検討をお願いしたいです。
現在1歳7ヶ月です。加東市は医療費補助に未だ所得制限をもうけられています。しかも、1歳までで医療費補助がなくなります。1歳からが病院に通うことが増えるのにもかかわらず。なぜ1歳なのでしょう。すみよい町、子育てにやさしい町をめざして、ぜひとも所得制限をなくし、安心して医療機関に通えるようにしていただきたいです。
保育園、こども園によりますが、親が参加するイベントが多くて困ります。毎年ある親子遠足や園児の出し物がある七イベントは延期などされると家、仕事の予定がたたなくなり大変でした。何の為に保育園に預けているのか考えてほしい。祖父母が近くにいないと対応できない。
未就園児がいる為、上の子の行事によっては、下の子を連れて行けなく預け先に困ったり、親の急用や急病のときに困ることがあります。一時保育やファミサポは事前登録が必要であったり、利用できる施設を知らなかったりで利用したことはありません。子育てしやすい、仕事しながら子育てできる環境とはまだまだ言えないかなと思います。保育料も高いです。
子ども医療費の「所得制限」をなくして欲しい。万が一大きい病気に子どもがかかってしまった場合の事を考えると安心して子育てが出来ません。もっと議論して頂けないでしょうか。
こども園の園庭開放日等を分かりやすくしてほしいです。HP等作成してほしいです。

自由意見（抜粋）
外国人の自転車のマナーが非常に悪く、とても危険な思いをした。
加東市南山に保育園作ってほしい。
せっかく新しくこども園を作ったのに幼稚園部で9名も待機児童が出るのはよくないと思います。それなら社幼稚園をつぶさなくても良かったと思います。保育園は兄弟優先があるのに幼稚園部はないのも不公平をうんですると思います。また来年度以降今現在補欠待ちしている家庭や待機してる家庭を優先していただきたいです。それと兄弟が多い家庭も優先的に入園出来たらなと思います。1人家で見るのと2人見るのとでは全くちがいます。
今、住んでいる地域では子どもの数がとても少なく来年には3人で登下校することになり、時々子ども達を一人で下校させるのがとても心配です。高学年でもアフターが利用できるようにしていただけると助かります。
小学校に制服を作ってほしい。文房具も学校指定の物に統一してほしい。アフタースクールを6年生までにしてほしい。通学路に防犯カメラを設置してほしい。子育て、教育に対する金銭的負担を減らしてほしい。
子どもが楽しくあそべる公園をもっと増やしてほしい
西脇市は産前産後、育休中に兄弟の上の子を保育園であずけられるのに、加東市は困難でした。保育園に求められた書類を発行してくれないからです。2人目以降も落ちついた環境を少しでも持ちたいです。
ファミリーサポートを利用しています。両方の親が遠いので私の入院などいざという時助かりました。
待機児童ゼロだと聞いていたのにこんなに保育園に入りにくいとは思いませんでした。産休、育休制度のある求人も少なく仕事か育児かどちらかしか選べないのは残念です。子育て何でも相談で保健師の方とお話することがありますが、人によってこちらの言う事に対してネガティブな言葉をかけてこられる方がいて（アドバイスのつもりだとは思いますが）とても否定的で嫌な思いをしました。担当制ではなく、相談内容をメモされているのに次に行った時に引きつぎされている様子もなく、あまり親身になってくれているように思えない。せめて前回の内容をちゃんと確認して「その後どうですか？」と言ってほしい。毎回同じような話を別の人にしているだけでは全く意味がないように感じます。
現在のこども園は警報がでていると預ってもらえません。どこか一時的にあずかっていただける場所があると助かります。
小学校教育について。以前ある小学校で「音楽会」の行事はあったが、子どもが扱う楽器のとりあいで親がケンカするまでに発展し、行事がなくなったとのうわさを聞きました。小学校にはたくさんの楽器があり、学びの場所で親同士のいざこざで子どもの学びの機会をなくしていることは、とても悲しくまた問題であると感じました。私自身子どもはその小学校には通わせたくないと瞬間に感じました。環境を整えても、それを利用する者の気持ちや行動によってだいなしになることだけはしたくないと感じています。子どもの学びの機会を失わないように我々大人がしっかりとバックアップしなければならない体制を整えていただきたいと切に願います。
児童館をよく利用しますが、加東市内の児童館は子どもが楽しめるおもちゃ、遊具が古く少ないのでもっと利用したいと思えるような環境をつくってほしい（例、西脇市のミライエ）ただし施設が良くないだけでスタッフの方は良い人ばかりです。
食に関してもっと本質を見てほしい。牛乳は本当は飲まない方が健康になるや、各予防接種は本当に意味があるのか、ワクチンの中身は全て安全なのかなど。
希望する保育園に入れ、土曜日必要であれば預かってもらえる。特に不満はなく現環境に満足しています。小学校に入学するに当たり、毎年アフタースクールの定員オーバーのうわさを耳にします。希望通り入所できるのか不安があります。
これからも教育、保育環境の充実に尽力願います。よろしくお願いします。

自由意見（抜粋）
子どもの医療の事で社市民病院の先生、親にむかっての口の悪さひどい事をいう、どうかしてほしい（苦情が多いはず）調べてほしい。
第一希望のこども園は定員オーバーでしたが、別のこども園に4月から入園が決まり安心しました。とても良い環境そうだと思います。ただ、0歳1歳2歳児の応募がとて多く入れない方が沢山いらっしゃると思いました。中々難しいかもしれませんが、保育士さんが加東市も増えればいいなあと思います。
加東市に療育のできる施設が増えればいいと思います。他市に通うのが負担になる人もいます。
父親の育児休業がとれなくても、せめて生まれて1年くらいは残業のない定時で帰れる制度（帰らないといけなくらいの）ができればもっと子育てしやすい社会になると思います。週に1回でもいいです。帰らないといけなくらい義務にしてもらいたい。個人の努力にまかせている社会では、その他の支援も意味がありません。
住みやすい街でランクインもしている加東市だが、実際住んでみると期待はずれの方が多い。その1つに近くの市町村と比べてしまうことがあるが、どうせ加東市に住むなら加西市や小野市の方が子育てしやすく保育料も無料で住みよかったのではないかとすごく思った。国が保育料無償化を決めた今、加東市がどんなところで力を入れるのかすごく気になる。
保育料がもう少し安くなれば助かります。医療費も高校3年まで無料になればいいですね。子育てイコールお金なのでそういう面でサポートして頂けたら助かります。
子どもの児童手当金など、子どもにかかるお金をどうかしてほしい。そうすればもう少し子どもも増えると思う。児童館や公園もあたらしくきれいな施設がほしい。小野や西脇に負けている。
0歳児健診のお知らせは2か月程前に通知をもらいたかったです。1か月以内に通知が来た為、そのひと月先の健診に行きました。
世間は今でもなおフルタイムで働く母親に対して理解が乏しいです。特に男性。性差で役割があるとすり込まれている人が多いです。悪気がなくても子育て、家事は母親の仕事、男は働いてナンボ！という考えの方が多いです。男女関係なく、子育ては親がするものです。この考えを持っている方から何度も悔しい言葉を投げつけられました。労働人口もどんどん減っています。子どもたちが大人になる頃には多様性を受け入れる社会になってほしいです。今の大人が変わらないとずっとこのままです。
保育料が高すぎる。子育て支援が全然（他の市と比べて）遊び場が少ない（他の市の方が多いしきれい）保育園のレベルが低すぎる。他の市と比べると加東市はレベルが低いし全く充実していない！もっと早急に取り組んでほしい！
幼稚園がなくなったことが残念でした。長女は幼稚園に2年通い、教育方針もとてもよくのびのび成長する姿を見ることができ、今でもその2年間の学習した事柄が生きていると思うことが日々の生活で多々あります。希望していた幼稚園が閉園となったため、次女はこども園に入園させましたが、どうしても幼稚園の方針やその他のいろいろ比べてしまう不満に思うことがたくさんあります。保育園が認定こども園にした意味が全く分かりません。日常生活のマナー、あいさつ、子どもたちの自主性を伸ばしてあげようという方針が目に見えて伝わっていた幼稚園と比べ、こども園はなんら変わりがなくすごく残念です。こども園を拡大していくのならもっと幼稚園の教育方針を取り入れてください。
どんな子どもであろうとどんな親であろうと親は親、子は子、叱るべき時に叱り、叱り過ぎは良くない。現在に於ける子育てには環境も大事ですが、家庭が1番だと思います。経済的な問題、職場環境の問題いずれの問題も親に余裕が無いからだだと思います。ただ反面教師も然り子育てに正解は無いと存じます。育てるには同じ時間を共に過ごす事が大切だと思っています。一概に「学校や担任」「悪環境や地域」という対外的な問題では無いと思っています。
図書館が充実していてよい。よく利用させてもらっています。人気のよみものがもっと増えるといいです。

自由意見（抜粋）
園によっては警報が出たら休みになる事も多いが、警報が出ても仕事には関係なく出勤になるのでどうかしてほしい。祝日やゴールデンウィークなど長期の休みの場合も、園をある程度あけて保育してほしい。土日祝関係なく仕事する場合に協力者が少なく仕事を休まなければならない。
公園の設備を充実させて頂きたい。
土曜、休日保育を利用しようとする、こども園の先生方から「かわいそう」と言われます。かわいそうという言葉は働く母の心を深く傷付けています。「かわいそうなので家で見た方がよい」とわざわざ言わないで下さい。できるだけ家族ですごせるよう努力した上でお願いしているのです。ルールにのっとって申請、登録してあるのに、かわいそう攻撃で預けにくい。先生が大変で預かりたくない、できないなら土日、休日保育事業はおやめになったらどうですか？土、休日は先生方が少なく知らない先生が保育するのでかわいそうと言われます。かわいそうな保育しか提供できない現状をかえて下さい。お願いします。そして事あるごとにかわいそうと親をおいつめる自分達専門職としてのあり方を恥じて下さい。こども園について。慣らし保育を就労1ヶ月前からできるのがとても良かったです。ただ4月1日就労の保護者へのフォローが必要だと思います。病児病後児保育をインフルなど感染が多い次期だけでも利用枠を増やしてほしい。
アフタースクールの長期休暇期間中の入所が定員超過で入れないことが多いので、定員を増やしてほしいです。特に夏休みは地区水泳などの参加のため、子どもに鍵の管理を任せたり、一人で留守番をさせるのも不安です。他校区のアフターに空きがあっても夏休みの短期間だけ友達がいらない環境へ行くのも嫌がるので、校区内のアフターに通えるようにしてもらいたいです。
保育料無償化などの話があるが、実際困っているのは0～3歳など低年齢児の保育料が高いこと。公務員は3歳まで育休がとれるかもしれないが一般的には1歳になると育休がおわり、保育園利用しなければ仕事ができない。そこで高額な保育料が必要となるのは辛い。多子世帯への援助を充実してもらえなければ、子どもの数が増えないと思う。
私は保育士でも何でもないので、現状や実態はわかりませんが、近年のニュースなどで保育に関するネガティブなニュースをよく観ます。不適切保育や、姫路市であった定員オーバーの保育などありましたが、保護者としては見極めるのは難しいと思います。加東市内にはそのような園はないと信じておりますが、何かしらの報告やおかしい事があれば対応してほしいです。よろしくお願いいたします。また、保育士さん方は本当に大変なお仕事であり、子どものことを第一に、親への子育てへのケアもしてくださり、ただただ尊敬します。低賃金とされていますが、おかしいと思います。保育料無償化、様々な助成は本当に有難いですが、大切な保育士さん方の賃金UPを望みます。
出産前は職場復帰をして家庭との両立をすることが、現代では当たり前と思い職場の多くの人がすることをならって1年半の育休としました。でも1歳5ヶ月の娘と毎日生活をしていると、ずっとできれば一緒にいたい。仕事に穴をあけるのはとても罪悪感があるので、不定休の為休日や平日が休みでも会議等で職場に行く都合があり、毎回会議を欠席する訳にもいかず職場復帰1ヶ月前ですが不安でたまりません。お金さえ自由になれば、不自由しなければ子どもと一緒にいたいのが母親の本音でないでしょうか。
児童館がたくさんあるのでありがたいです。広報に児童館の予定などが載っていますがインターネットでももう少し詳しく教えてほしいです。（見にくい）こども園の利用料をもう少し安くしてほしい！
米田こども園の5歳児の保育がホールだという事は子どもにとって良い環境なのか？同じ保育料で他より良いとはいえない環境なのが問題にはならないのか不思議でならない。あと数年ではあるが、しっかりした保育室で安定、安心の毎日過ごすこと求めることはダメなことなのか。
周りの市は保育料無料になっているのに加東市だけありません。助成金があるとはいえ。友人などの話をきくと不公幸さを感じました。今年の10月から全国無料化になりますが今年で卒園するので正直もやもやしています。もう少し助成金額を上げてほしかったです！

自由意見（抜粋）
近所に公園がないので公園が欲しい。嬉野東。栄枝の坂は、いつ頃、歩道ができますか？東条こども園の駐車場が、もう少し広ければいいなと思います。小中一貫校になったら、育てやすい生き物を飼う。学校にスマホの持ち込みは、必要ないと思います。放課後、兵教の子に勉強をみてもらえる曜日があれば嬉しいです。
無料で遊べる室内の遊び場の充実を希望。児童館等は、グループができていたり、予約がいるようだったり、時々遊びにいく人にとったら、少しハードルが高い。児童館のスタッフも、よく行っている顔みしりにだけ話しかけたりと、少し入りづらいふんいきがある。土、日、祝等、仕事のある人にももう少し安心して預ってもらえるサービスがあるとありがたい。
障がいのある子どもに対する施策を充実させてほしい（施設を増やす、充実させる等）。費用面でのサポートの充実、拡充。
子どもの医療費を所得制限なしにしてほしい。近隣の市では中3、高3まで無料のはず。制限するにしてももっと高所得の家庭のみにしてほしい。受診するのを戸惑います。（今、3割負担なので）小学校の夏休み期間も給食を提供してほしい。給食センターの人は夏休みですか？一般企業は働いています。毎日お弁当は負担が大きく、仕事を辞めようかと思っています。給食なら温い食事を子どもも食べられます。医療費、保育料に関しては近隣より劣っていると感じています。
歩道やカーブミラーが少ない。犯罪防止のためにも他市でやっているような安全装置ミマモルメのようなものを取り入れてほしいです。幼児期には思っていなかったのですが、公園整備が小学生には少しものたりない。もう少し難度のある遊具もほしい。のびのび自由に走りまわる子どもの姿が見たいです。（少し遊んでいる子が少ない気がします）
待機児童が多すぎると思います。育休の人が優先されると、新しく就労希望の人はほぼ働く事ができず経済格差が広がり、不公平感があります。→保育施設、定員を増やしてほしいです。保育の質が下がるのは避けてほしいです。
加東市にもみらいえ（西脇）のような施設ができればいいな、と思います。
10月末の第一次の園の申し込みで11月～の子どもは途中入所となり入りにくいのは困ると思います。
問30、その他に書いた事が
数多く支援があるので助かっておりますが、できれば病後児を見ていただけるファミリーサポートの方が居て下されば良いと思います。仕事を急に休める方ばかりではありませんので。
園庭開放の日がもう少し多いと嬉しいなと思います
最近初めてファミリーサポートを利用しました。とても助かりました。ですが、やはりお金がかかる事がネックでなかなか気軽に利用できないという想いです。無償ならもっと利用したいのですが。あと、子どもを預けて仕事をするとなると料金がかかって結局収入は増えても所得が増えないので仕事をするかしないか悩んでいます。気分転換やストレス発散にはなりそうですが。子どもを2～3人預けても所得が増えるシステムがあればもっと働けるのにはと思います。あとファミリーサポートの依頼会員の条件が妊娠中からであれば、出産までに登録、打ち合わせ、連絡交換することが出来れば利用しやすくなるのではないかなと思いました。子どもを連れての登録は面倒なのでずっと後回しにしてきたので。
加東市全ての園や施設で絵本を読む環境をふやしてほしい。子どもにとっても絵本が身近にあることは心を豊かにすると思います。絵本講師の方に月に1度でも絵本の良さをおしえてもらう機会があれば父母の方も良さを知る機会にもなると思います。
他の地域にくらべてみりよくが少ない。小野市のひまわり公園、西脇市のミライエ、三木市のみきっ子ランド等加東市以外で遊ぶ事が多い。もっとキレイな遊び場を増やしてほしい。保育園の待機も他とくらべて加東市はなぜこんなに入園できないのかと思う。加東市はこんな所がいいよという事が一つも出て来ないのでこのままだとこの先加東市で子育てをやっているのだろうか？と不安になる。小野市は高校まで医療費無料というのはすごくみりよくを感じる。

自由意見（抜粋）
問17の土日の定期的な教育、保育事業の利用希望とありましたが、平日に幼稚園、認定こども園での利用が定期的、急用等で利用できるとありがたいです。幼稚園希望ですが、新しいこども園の利用人数が少なく合併して大きくなったが利用できないのが残念。
モンテッソーリ園の導入。今後必要となってくる英語教育を積極的にしてほしい。又は英語教育に対する補助。
現在認定こども園に通っている。前市外からかわって来たこともあり比べて見てしまう事がある。加東市のこども園、小学校、体質が古いと感じる事が多々ある。市内で統一すべき事はしてほしい。聞くところによると滝野東小学校の給食で牛乳のストローを使わないとのこと。エコのためだとか。しかし衛生的に良くない。行儀もよくない。今のニーズには合っていない事が多々あると思う。改善して下さい。
日頃保健センターや児童館はよく利用することがあり、親身に相談にのって下さったり、子どもと楽しい時間を過ごせるよう工夫いただき感謝しています。ただ、近隣の市と比べると子育て世帯への医療費負担や保育料の助成はまだまだと思います。様々な理由で共働きであって決して余裕がある訳ではありません。中学生までは完全無償化にして頂きたい。又、新しいこども園ですが、ブロック壁が低すぎませんか？大人は軽々と飛び越えられるのではないのでしょうか。警備員さんがいつもいらっしゃるのでしょうか。ICカードは何のためですか？それで門が開くとかなら意味が分かるのですが。時間の管理としか思えません。
私の実家は市外ですが出身の市ではベビー用品の貸し出し（チャイルドシートなど）がありとても助かりました。医療費、学費の市からの補助が充実するともっと人が集まって市自体もよくなると思う。電車は少ないがバスで便利に利用できたりいい所はたくさんあると思う（加東市は）もっともっと良くなると思う。
夜間や休日に病気になるってしまった場合、西脇や加古川、高砂の小児科や総合病院まで行かなければならないことが多く困っています。
こども園の空きを作してほしい。
就学しても夫婦正社員、フルタイム希望です。土日祝一般的に休みの裏側で働かなければならない仕事もあります。土日祝安心して仕事が出来よう遅い時間（20時くらい）まで子どもを見て頂けるアフタースクールのような制度を希望します。
新設の保育園の写真をみましたが、とってもキレイで近くであるならば通わせたいなと思うほどすてきでした。東条の3園もとても古い施設なので、是非設備投資してほしいと思いました（加東市で南山はとても子どもが多い地域だと思うので、力を入れていただきたいです）
働きたい子どもに教育を受けさせたいと思っても、園に入れない為なかなか難しいなあと思います。私が子どもの頃は保育園から幼稚園へ行くのが当たり前でしたが（親の就労有無に関係なく）今はそれができずに困ります。子どもにとって長く家に居ることがいいのか、集団生活をさせてあげたいという気持ちと何がどうしてあげることがベストかなあと考えさせられます。また教育費はかかるが、働けないという状況も（園に入れないと）子どもを生み育てることへの難しさを感じます。
こども園幼稚園部で働きはじめたら希望する人全てが保育園部にいつでも変更できるようにしてほしいです。（10月以降も）できないのであれば本当に働いて幼稚園部で延長利用している人の延長料金を10月からはとらない、又は市が無料にするとかできたら嬉しいです。そうでないと仕事をやめて再び働きたい人と産休をとれた人との経済格差がますます広がって親としてはしんどいです。小中一貫校、社、滝野地域はやめてほしいです。通っているこども園の中に病中病後保育があって、そのまま子どもがしんどくてもみてくれるとありがたいなと思いますが。難しいでしょうね。色々とすみません。
ひとり親なのでどうしても変則勤務ができなくて正社員になれない。お金が必要なので正社員になりたいがなれずにとっても残念。もっとひとり親が働きやすい環境ができればいいと思う。
子どもが3歳になったら働きたいと思っているけど保育料無償の時とかぶるので、希望するこども園に預けることが出来るのか不安。

自由意見（抜粋）
今年から小学校に通う子ども（１人っ子）がいますが、土曜日も父母共に仕事があり祖父母も仕事をしているのでアフタースクールが土曜日もあればとても助かります。都合をつけて何とかしようとは思っていますが、よろしくお願いします。
初めての妊娠、育児で子育てに関する様々な取組み、支援があることを知りました。実際気軽には利用しづらいもの（ファミサポ、一時あずかり）もありますが、そういったものがあるのは心強いと感じます。支援を受けるべき人が受けられるよう保護者の一人として考えつつ行政にも望みます。そして父親の育児参加がより進むよう労働時間に調整がきくなど理解と整備があればと思います。また、子どもの有無に関らず子育てに関する理解と周知が広がることを願います。
4月から兄と弟で別々の園へ通うことになった。上の子は幼稚園に今通っているのもそのままこども園の幼稚園部に通う。同じ園の2歳児に申し込んだが違う園になってしまった。勤務証明も出したがダメだった。兄も保育園部に変更すれば入れたか？（保育料が高い）（毎日2時間預かり保育をする方が安い）こども園が空き次第転園したいと思うが、それもこちらから聞き続けられないといけないのも大変だと思う。
近所に住む子ども（とくに幼児、小学校低学年）が夕方暗くなる時間まで遊んでいます。その子どもたちの親もおしゃべり等に盛り上がり子どもたちの様子はほとんど見ていません。私からすればネグレクトに感じます。市内でも不審者情報等が出ているので本当に危険だと思います。防災行政無線を使って呼びかけたりなどの措置を望みます。
幼稚園を利用しても長期休暇中、利用料は支払うので保育を選択制に変えてほしいです。幼稚園に通わせているのは就業しないのではなく諸々事情（介護など）があり、就業できないこともあるからです。ファミサポを利用するなどしてきましたが、園で保育して頂ければ子どもたちも思いきり遊んだり楽しめ、親も安心です。新こども園では保育事業も一緒です。是非ご検討、実施をお願い致します。
社小学校区の歩道をもっと安全にしてほしい。一部片側にしか歩道がなく両側に整備してほしい。歩道と車道の間にさくなどを設置してほしい（老人ドライバー対策）いじめで自殺などがおこった時に明らかな原因があるのにもかかわらず自殺との関係を認めない無能な人（教育委員会、教師）が絶対に出ないように市が監視してほしい（全国のニュースを見て）
新設みらい園での保護者用のタイムカードの廃止。何で送りやお迎えにそんな時間シビアにする必要があるのか。安全に来て帰ってもらうのが一番と思うけど。私が公務員ならこれを考える。
加東市は問30に示す様に子どもに関する医療費ケアが少なすぎる。まず命＝健康が大切なら医療費の軽減できれば12歳まで無償化などを実行して欲しい。それが最も子どもを守ることになるはず。
医療（乳児）等所得で料金がちがったり、受けられたりするが平等でない。こども園内で幼稚園部と保育部との利用料のちがいはおかしい。同じことをしているのに変である。今後は無償化されるが、現在納得いかない。
今通っている保育園で日よう保育をやってくれたらなぁと思う。慣れるのに時間がかかる子なので新しい環境に預けるのが怖い（大変そう）2歳児育児教室？の時に子育ての悩みを相談しようと思っていたが当たった保健士さんが今までになく上から目線で業務的だったのでいろいろ話せなくて残念でした。今までで一番ハズレでした。
加東市近辺では小児救急（夜間）がなさすぎます。消防に救急病院の問い合わせをすると大抵神戸など遠い病院を紹介され困ります。小児救急の充実を希望します。土曜や祝日の保育をもっと充実させて欲しいです。保育自体はされていますが、9:00～16:00までなど結局勤務時間に影響が出てしまいます。警報が出るとおむかえの連絡が来るのですが、園によってはそのまま見てくれるところもあると聞きます。園によって対応がちがうのはやめて欲しいです。病児保育も8:00～18:00までで勤務時間に支障が出ます。もう少し時間の範囲を広げて欲しいです。

自由意見（抜粋）
収入に関係なく子どもは医療費無料にしてほしい。
こども園の土曜保育の時間を平日と同じにしてほしい。
現在市内の保育園に通園しています。私の勤務体制は月～土曜日のシフト制で平日休みもあります。その平日休みにも保育園を利用しています。入園して土曜保育の希望を出すと担任の保育士に「お母さん、平日休みありますよね？土曜日預けるのなら」ときっと土曜日利用するなら平日は自宅でみてくださいというような対応でした。結果現在平日休みに普段の仕事の帰りが遅いため出来ない用事もあるので、平日5日間保育園に通せ土曜日は祖母にみてもらっています。それでも保育料は月額一定料金を支払い月曜～土曜日分になっています。それなら保育料を日割にしていただけるとこちらも仕事が休みで予定がなければ子どもを預けず一緒にいます。高い保育料を支払っているのにどうしても腑に落ちません。保育園の入園基準や保育料は市が管理、決定権があるみたいですが、園の方針などは金銭面が関わっていても園側の意見を聞くしかありません。子どもを預けている手前こちらもあまり無理強いできません。他にも子育てするにあたり不公平な事が多々あります。少子化だという事で子どもへの補助など手厚くなっているかもしれませんが、正直我が家の世帯収入は平均より上だと思います。だからと言って高収入でぜいたくな生活をしているわけではありません。日々共働きで頑張っています。しかしそのおかげで保育料は高額、子ども手当は減額、医療費は2割負担。それが2人目3人目（保育料は安くなっていくかもしれませんが）と考えると何のために働いているのかと2人目へとなかなか気が進みません。働けば働く程税金は上がり、補助は減ります。加東市のHPを見ると「子育て子育て応援タウンかとう」とスローガンを上げられていましたが、応援してくださいのならせめて子どもへの手当て補助を親の年収で線引きするのは、やめていただきたいです。私たちも子どものために毎日頑張っています。長くなりましたがきっとこのようなアンケート回答が一市民の意見が反映されるとは思いますが、せっかくアンケートが届いたので意見を述べました。

2 小学生の保護者の自由意見

自由意見（抜粋）
子育て支援する行政も大切だが、家庭の誰かが家庭で子育てできる社会を作ってほしいと常々思う。（ＥＸ）働く母親が働かずに生活できてその母が子育てできるなど。子どもの心が育つ社会でないと将来親は幼子を虐待し、年老いた親を子が虐待する。また犯罪も多くなる社会など、そんな世の中にならない、真の大切な子育て法や社会の仕組みを作ってほしい。
アフタースクールの長期休暇中の預かりに関して、警報発令時、午前７時現在で休所となっていますが、１０時までに解除されたら１３時から開所するなど対応していただけると昼から仕事に行けたりするのでありがたいなと思います。
書いても反映されないのが無駄だと思いますが、共働きで子沢山の方はあまり優遇されず（所得制限）専業主婦や扶養内の世帯は保育料３人目無料や医療費無料など女性が働かない方がお得なのかなと考えてしまう。祖父母が裕福で両親の所得でしか算定に反映されず、預ける先もなく必死で働いても、世帯が裕福で働かず、保育料も無料で保育園預けている方を見ると不公平だと感じる。せめて医療費は所得制限を外すなど小野市を見習ってほしい。無駄が絶対あるはず。
現在はアフタースクールを利用しておりませんが、月単位ではなく、一日ずつや曜日限定の利用などでできれば仕事の幅も増やせると思います。
宛名の子どもではないが、軽いＬＤの子ではないかと思われる子に対して教科書の学習内容が、理解できる程度の指導をして頂ける場所があれば大変うれしい、私設の塾は受験が念頭にあるので、ついて行けない子には厳しく感じる。
学校行事が土曜日ばかりなので見に行けない（有給がない）。予備日が必要な行事以外は、日曜日にしてほしい。ＰＴＡの役員などにあたると家計にひびく。
加東市としての体制が整備されていく上で、庁舎や保健センターの合併により、交通に不便な場所からの道中は乳児（＋小さい子ども）を連れての行動はとても大変でした。保健センターは東条、社、滝野地区でそれぞれ置いて欲しいと思いました。（乳幼児健診の時のみ出張開設など）。教育に関しては小学校くらいで、命の大切さをもう少し取り入れて欲しいです。
都会にあるような児童館（小学生が利用でき、児童館職員が常時、４～５人おり、見守る、あまり干渉しない、ゲームや本などがあり、天候に関係なく自由に行きたい時に行ける学区内にある）（加東市は乳幼児がメインのため）。障害（発達含む）のある児童に対しては、手厚く支援されていると思いますが、友達関係においては、障害のある子、その親の意志の一方通行では成り立つものではないと思います。小学校、中学校で何件かの話を聞いたり、見たりしましたが、１人の児童に固執することなく誰とでも関われる環境作り、多くの児童が障害のある子と関わるのが大切だと思います。長く１人の子を同じ空間におくことは、その子の性格にもよりますが、負担が大きかったり（傷つくことも経験したり）すると、人格形成にマイナスになることがあると思います。第三者の子によって（同じクラスになりすぎると、ずっとみられている、と思うようになり、動けなくなり、反対に嫌いになり、逆効果になることがあります）心が病むこともあるので、そういうことも配慮してほしいと思います。
今は子どもが大きくなったので、一人で留守番できるようになりましたが、乳幼児の時は、一番仕事を両立させるのが大変でした。保育料も収入によって変わるので高くて大変でした。中学校のことですが、先生たちも学校の授業、部活と大変なので、部活担当のコーチを採用したら先生の負担も少ないと思います。
医療費が高校まで無料化になると嬉しいです。図書館や公園の充実（乳幼児から大人までが利用したいと思う場所、施設があると良いです）。子どもが将来加東市で働ける場所、会社が必要（子どもたちが、ずっと加東市内に住み続けていけるような対策）
頑張る子には家庭環境に関係なく高等学校、大学の授業料免除制度など、金銭面の補助をもっと取り入れて欲しい。保育園には確かに高い保育料を今まで払い大変でしたが、本当に大変なのは高等学校、大学進学時だと思います。頑張る子がむくわれる社会をつくって欲しい。

自由意見（抜粋）
子どもの医療制度ですが、期限をその子の誕生日にして欲しい。3月31日までで区切ると3月生まれの子は4月生まれに比べて利用できる期間が短く、不公平です
まず最初に、このアンケートは無記名かつ個人が特定される事はないよう書かれています。しかし、宛名の子どもの生まれた年月、きょうだいの人数等書くことでそんなに子どもも多くない地域ですし特定されると思います。封筒にもバーコードのような印刷もあり信用できないと思います。子育て支援に関するアンケートとはすこしずれるかも知れませんが、加東市の乳児、子ども医療費助成制度についてですが、近隣の市では所得制限がなくみんな平等に無料の所が増えてきています。うちは基準を越えているため無料ではないのですが、どうして税金を多く納めている方が制度を受けられないのでしょうか？こんな田舎では、医療機関も少ないですし子どもの病院へ行くと知り合いに出会う事も多いです。ほとんどの方が会計で支払わず帰中、私達は支払いをし、周りからはあの家は助成が受けられない＝（イコール）お金がたくさんあるかの様に思われ、実際、それをわざわざ聞いてくる方もいます。それをまたママさん同士であの家はそうなんだよとか勝手にうわさされ、すごく気分悪いです。子どもがしんどくて、またはケガをして病院へ行くのですが、誰かに見られているんじゃないか、会計の時誰にも見られたくないなあと、私達は何も悪いことをしていないのに、それらの事ですごくストレスを感じます。どうして平等ではないのでしょうか。平等に無料に出来ないなら、一回の診療一律上限700円、500円のようにするとよいのではないのでしょうか。無料だから多めに薬をもらったとか、無料だから何回も検査してもらったのと話をよく聞きます。こちらは、出来るだけ病院へ行かなくていいように、予防したり、それでもカゼを引いた時などは、1回の診療で1回の診療料ですむようにとメモ書きしたりして、工夫をしています。子育ては大変ですが楽しい事も多いです。それなのにこんな事でストレスを溜めなければならないのでしょうか。それらの事により、子どもたちがのけものにされたり、いじめられたりする事もあるんじゃないかと心配します。本当に必要な事や物にお金を使っていたきたいです。子どものケガや病気は急になるので、そうなった時、お財布にお金あったっけ？無いからATM行かなきゃ、しんどい子を車においたままお金引き出し、あわてて病院へ行き、診察してもらって安心するのも束の間、支払いで誰かに見られてないか気にして、本当なんなんでしょうね、「子育て支援」大変良い事だと思いますが、見える所で支援の差があるなんて、本当にそれでよいのでしょうか。
パートタイマーでも、急な休みをとる事はやはり仕事を続けて行く上で障害となります。でも、子どもの体調の急変（急に熱が出る、学校や保育園を休まないといけない）は起こりうることで、そんな時誰にも助けてもらえない事もあり困りました。又、警報時も同じくです。そういう場合の助けとなる制度が子育てする上で市に望むことです。パートはしないと金銭的にも教育費がかかる時代ですし、今一番の悩みです。
3年前に引っこしてきましたが、子どもの医療機関の充実を切にねがいます。でもその反面、加東市ならではのとりくみなど、とても充実しており、色々な体験（いねかりやキャンプや料理教室など）を通して楽しい思い出が作れました。滝野南小学校でのとりくみ「親子遠足」は、親のお仕事などで、参加出来ずお休みして、子ども1人でさみしい参加や下の子がいて大変だったりします。親子遠足そろそろ中止でもいいのでは？
週に何回かアフタースクールを利用しています。迎えに行く時、駐車場から建物（アフターの）まで、少し距離があります。この道を歩いている時に、動物（たぶん犬だと思いますが）のフンがそのままの状態に放置してある事が多く、雨が降って、等となるとニオイも気になります。とても不衛生で子ども達にも「はっしょ、歩かんといて」と声をかけると道路側を歩く事になるので、うしろから車が来て危険を感じることもあるので、なんとかならないかと、いつも感じます。そのまま放置する飼い主側のモラルの問題でもあると思いますが、建物付近の環境を整えるのはスタッフの方の問題ではないかなとも思います。それと夏場になると建物付近の草がのびっばなしなのも気になります。たくさんの子どもの対応で何かと大変だと思います。誰もが気持ちよく利用する、誰が見ても「行き届いている」という場になればと願います。毎日のことで大変だと思いますが、時間を見つけて環境の方にもほんの少し「力」を入れていただけたらありがたいと思います。

自由意見（抜粋）
米田小学校でお世話になっています。人数が少ないからこそその教育をして頂き、心から感謝しています。このまま子どもらしくのびのびと成長していけるように願っています。
下校の際に一人になってしまう道があるので心配です。不審者情報も度々あるので。放課後の教室が、習い事を教えてもらえる様な場所になればいいのになと思う。社小学校の夏休みの水泳教室が学年ごとだけで登下校してプールに入りに行くのが心配でしかたない。1年生だけで歩いて行くとか、3年生になると自転車で集まって行くとか危険だと思うので、いつもの登下校の様に全学年集合して学校へ行き、水泳のある時間帯の学年以外は教室で夏休みの宿題をするなどして一斉下校で帰ってほしい。昔と今では安全性が全然違うので制度を見直してほしいです。
世代間をこえて集まれるような（気軽に）、公共の施設の充実を図ってほしいです。その場所に行けば、体を動かしたり、勉強や読書ができたり、ちょっとしたお茶が楽しめたりするような場所ができたなら地域の活性化につながるのではないかと思います。小さい子ども連れでもいけるような施設も増やしてほしいです。子どもがバスケットボールをしているのですが、自主練ができるようなスポーツ施設をつくってほしいです。
子どもは、1年間週1回の放課後に子ども教室に通わせて頂きました。当日の朝、前日から「（明日、今日は）子ども教室の日だ！」とワクワクしてうれそうに話して、毎回「楽しかった」と大喜びしています。お世話してくださる先生方もご親切でおやさしい方ばかりで、よくお世話もして下さり助けて頂きましたこと感謝しております。ただ、高学年になってくると、放課後一人でも自由にすごせる「自宅」にいる方に魅力を持ってしまう傾向があるのか？子ども教室の高学年の利用が少ないようです。高学年でも興味が持てる、喜んで利用が出来る何かがありましたら尚うれしいです。来年からも是非ともお世話になりたいと願っていますのでどうぞよろしくお願いします。
ゲームやネット等の遊びで友人関係がくずれないように取り組んで欲しいです。自然豊かな環境を生かし、外で自然とふれ合ったりする放課後や休日の過ごし方を増やせる仕組みが欲しいです。帰宅後、十分な夕食作りの時間がない時など、地域で安心、安全な食材で手作り夕食を提供し合えるような仕組みがあればありがたいです。子どもと十分に接し、向き合える時間が、家事に追われて無くなり、心の余裕もなくなる事があります。地域で子育てが出来る環境を充実してほしいです
国際学習塾の図書情報センターがなくなった事により、学習スペースもなくなりました。小学校高学年、中学、高校生の学習スペースを作る事は加東市の子どもたちに重要であると思います。たとえば、おとなり西脇市のミライエのような、小さな子どもから学生、地域の人たちが交流できる場が一か所に集まっているのはいいと思います。加東市にもそんな場所を作ってほしいとよく友人となはしています。あと市営プールがないのはなぜでしょうか？
問10ー2等記入し難い回答欄でした。問14複雑な利用なしかたをしているため、回答し難かったです。ファミサポの利用について、とても助かります。ただ、もう100円でも安くなったらもっと利用しやすいと感じています。土曜日のアフターも毎月開所していただければとても助かります。
病児保育について。病後は良いと思うのですが、熱のある子どもは家でゆっくりと過ごし家族に世話をしてもらおう事で、親の優しさを実感し、その子もゆっくりと体を休められるのではないのでしょうか。将来、その子は「熱が出ても見てもらえなかった、親は自分より仕事の方が大切なんだ」と思い、自尊心を失くし非行などの道へと行ってしまいかもかもしれません。今はよく自尊心を育てよう、自己肯定感を高める教育、保育と聞きますが、社会が行っていることは、子どもにとってよい支援なののでしょうか。病児保育に預けられている子どもがかわいそうで、そのような大人の都合に合わせた施設を作った加東市にも腹が立ちます。
はぴあではとても多くの相談や勉強をしていただいたり同じなやみをもつ親との交流の場ももっていただいた。とてもたよりになり、たのしく感じた。社幼稚園の先生方や社小学校の先生方にも子どもをみていただいて期待以上の成長を感じた。
教育にかかる金銭面が不安です。本当に頑張っている子に援助がほしいです。

自由意見（抜粋）
調理士、自営業、子の祖父です。現在の食事の中で、欧米国はお米をたべる子どもは少ないんです。英国は生れた赤坊の離乳食から5歳までの子どもはお米を食べさせないです。（移民たちがたべるとします）特に現在のお米は栄養が殆んどないです。糖が多いだけです。お腹満腹だけです。自分の意見は週二回、三回、パンの食事を増える方がよいと思います。（全麵粉、黒パン）お米を食べる民族中国南部、上海、広東などあたり、日本、韓国、マレーシア、タイなど東南亜洲の民族が身小さい人が殆んどです。しかし欧米にあるこれらの身体の小さな民族の2世3世の子どもたちは皆が大きいです。ごめんなさい。遺伝する事はわかです。子どもはあさ8時～4時まで学校にいますので、たべ物、特に昼る食事は大切だと思います。欧米、中国など、国は子どもの成長、身の小さい事は（ほかの子どもと比べると）父母の責任です。母親は責任が重い。私が世界各国の学生の食事を調査した上にわが国東条町の学校の昼食事パン、チーズ発酵する食品を増える方がよいと思います。食事費400円、500円まで増える方がよいと思います。
5、6年時、夏休みにあったスタディライフが良かったです。放課後のみならず長期休暇中も友だちと集まれる機会があれば良いのにと思いました。（学校や公民館、市の施設等）今年度の夏休みプールが暑さのため中止となりましたが登下校時も含め開催される方法があれば良いと思います。（中止になったのは仕方ないと思っています）
昨年、夏休みのアフタースクールに申込んだが入れなかったという家庭がありました。猛暑の中、子どもたちだけで日中過ごしたそうです。猛暑だけでなく事件、事故に合わないか他人のことながら心配し、不安がありました。我が家も、もし、アフタースクールに入れなければ子どもだけで日中過ごすことになります。どうか、希望者が皆アフタースクールに入れるようよろしくお願いします。安心して子どもをあずけ、仕事に行けることを望みます。子どもの医療費に全ての家庭で無料になるようにしてほしいと思います。子どもは病気がケガが多いので医療費の負担が大きいです。
義務教育内での子どもへのスマートホン携帯許可には反対です。今後登下校での安全対策が問題になった時は他の対策案を考えていただきたいです。
アフタースクールや病児保育施設の利用料がもっと安くなるとか、無料にでもなればもっと利用しやすくなるのにと思います。小学校の教室内にビデオカメラのようなものを置き、保護者がスマホなどで授業や休み時間の様子が見れるようになれば安心できるのにと思います。
私は日常から家族の絆の大切さを重んじているのですが、地域をみるとそうじゃない場合も多い（仕事柄いろんな人と関わるので）ので、学ぶことが出来る場は必要だと思います。地区の広場もボール禁止が貼ってあるので、公園でのボール遊びが出来る場所が増えたらうれしい。公園の遊具もかなり減っているの。
学校の先生の力不足や忙しさを知って、不信感を抱いています。児童と保護者の意見を聞いて教育委員会などが各学校に指導したり、教師以外に子どものサポートをしてくれる先生や教師の事務作業を手伝う人をやとることができるようにしてはどうか。登下校時の安全の為、学校周辺の道路の歩道整備や時間指定の車両通行止めをしてほしい。
政府は女性に働けと云いますが、家事も仕事もしろと、これ以上働けというのは、ふざけるなと思います。もっと家の仕事を分担するように企業が早く仕事を終らせる（定時に）とか、男性に理解させるようにしないと働き損な感じです。私はこれ以上、仕事の分量が増えるのはしんどいので、フルタイムでは働きたくないです。男性がもっと育児すれば、保育園充実もそれほど必要ないと思いますが。
おつかいや子どもだけで通える空間、場所がほしいです。今は店のトイレさえも親のつきそいがいります（防犯）。安全な町を望みます
まだ先ですが、小中一貫になり学校生活がどの様に変化するのか不安があります。
休日、夜間などで医療機関で困る事が多いのでそういう時の対応できる病院などがふえるといいと思う。子どもに関する事の相談できる所がもっと充実していればよいと思う。（利用しやすさがあればよい）

自由意見（抜粋）
地域の子ども教室の案内をもらってきます。内容はとてもよく、行かせたいのですが、高学年になり木曜日だと家に帰ってくるのが、4時半で子ども教室は5時まで、低学年の子はアフター利用の子が多く、高学年は下校が遅くあまり人が来ないと聞きます。なので、5時限の時に試してみないかと言っても行きたがりません。いろんな学年の子と遊んだり、何かを作ったりと、とても良い事なのに残念です。上の子が中学校に通っているのですが学校内ではないのですが先生がタバコを吸っているのを目にしているようです。小学校の時はそんな事なかったと言っているのに加東市でも学校によってルールが違うのかもしれませんがその辺がどうなっているか気になります。
病児、病後児保育の料金を安くしてほしい。子どもの進学（私立高校や大学）に対して多子世帯に対しての補助を考えて欲しい。県外国立大学に進学した場合でも、学費や生活費が多額になります。他の兄弟をがまんさせる事になります。将来の日本の為に誰もが希望すれば学習でき、納税できる大人に成長できる支援をお願いします。多子世帯は収入に関係なく給付型の奨学金をお願いします。
昨今、変質者など被害が多く子ども達だけの留守番やカギを持たせての帰宅など、高学年になったからと、安心できる環境にありません。しかし、両親共働きが増えている現状が環境とのアンバランスとあいまって、子育てのしにくさにつながっていると思います。地域の子ども教室などもっと充実させて頂けたらもっと放課後の子ども達の安全・安心につながると思います。図書館や児童館をもっと小学生の放課後に安全の活用できる等、何か手だてを早急に考えて頂ければ親として幸いです。
近くに公園がなく、子どもが安全に遊べる場所が少ない。
低学年は地区から出れないので、地区に公園がないと遊ぶ所がない。子ども教室は、とても楽しく、利用している。高学年になると学童も行きたがらないようなので、子ども教室のように学校で過ごせる活動があればいいなと思います。アフターの先生の教育。若い先生は辞めるのが早く、子どもが残念がる。色々な児童へ対応できるよう指導も必要な気がします。日単位での預かりがあればいいなと思います。
学校が終わってからの自宅で過ごす時間帯を、（アフタースクール利用ではなく）地域子ども教室のような支援に力を入れて頂きたい。普段、子どもだけで遊ばせる公園のような施設がなく、家の庭周りで走り回っておりますが、車などが心配です。結局、親の制限などを聞き入れるとゲーム機で遊ぶというようなサイクルになるのです。子ども達が責任をもって（ないし親責任の元）歩いてか自転車などで行って遊べる空間を設けてほしいと切に願っております。地域の公民館でもいいのです。元気に走りまわって遊べる環境、ゲーム以外で子ども達が熱中できる場を提供してほしいです。
病児で預かって頂く所高いと思う。
犯罪などから子どもを守る取組を充実してほしい。
地域子ども教室を利用することで、いろんな方と接することで学び、親や祖父母以外の人との交流の中より、知らないことを知り、知ることによって学び、学ぶことが楽しいと思える教室であれば願うところです。教育現場では、先生の技量やご理解があって、子は伸び、自分らしく成長できました。障害のある子が利用出来る憩いの場、又、その憩いの場で生きる力を、就労できるような場ができれば子ども達は大人へ。親同士の交流の場も気軽にでき安心できることを願うばかりです。教育、デジタル化を必要とする児童に対しても、ひけめなく利用できる学びができることを願っております。
祖母と同居しているので、放課後や夏休み等見てもらっていますが、元気だからこそお願いできています。もう数年後は？月に数日、アフタースクールに行くことが可能にしてほしい。
いつもお世話になっています。加東市では、妊娠中から出産後子どもの成長と共に子育て支援が充実しているので安心して子育てできる（スクールカウンセラー等）環境でとてもうれしく思います。しかし、最近では犯罪や交通事故などが以前より多くなっているのに、一層子どもを守る取組強化をお願いしたいです。今後よろしくお願いします。

自由意見（抜粋）
両親ともに仕事が朝早くから夜17時頃まであり、アフタースクールが欠かせません。低学年だけでなく高学年でも利用できるようにして欲しいです。
将来、高等学校に通う場合の交通手段を充実してほしい。高等教育無償化の所得制限額を引上げてほしい。国、県への働きかけをしてほしい。
ファミリーサポート利用し、助かっています。
子ども食堂は、共働きで居場所のない子が利用する場所らしいのですが、近所の子は「タダだから」利用していると言っていました。「家庭や学校で居場所がない子ども達」は利用で来るのでしょうか？子ども達の居場所があるのはすごく良いことだと思います。困っている子ども達がたくさん利用して欲しいと思います。
特にありません。
保育園を利用している時に土曜日、祝日に夫婦共仕事があり、子どもを預かってもらえる時間が17時までで困ったことがありました。現在はどのような対策をとられているのかわかりませんが、片親の方も増えているので時間の延長が必要だと思います。加東市民HPの横の病気のなった子どもを一時的に預かってもらえる施設がありますが、利用しにくいと思います。
土曜日や祝日（GW等）アフターがあいていないため共働きの家庭はこまっています。祖父母も高齢になってきているためなかなかお願いできないのも現状です。半日だけでもいいのでアフターがあいてくれたら助かります。子どものためにも仕事の調整も考えていますが、生活をしていくためにもなかなかやめることもできません。勝手なこと記入してすみません。
親の就労状況に関係なく、平日の放課後に利用出できるアフタースクール（有料で学習できるような）があればいいなと思います。
保育園の時、土曜日あずけるさいに、先生にいやな顔されたりすることがあり、気分が悪かったです。先生が早く帰りたいのか、早く迎えにこいといったかんじのことを言われることがありました。
兵教大附属小に通っていますが、市立小に比べ市内（市役所等）からの情報提供が少ない。同じ市内に住んでいるのに、附属小の生徒への情報が少ないのは残念である、可能な限り、平等にしてほしいと願っています。
私自身、子どもはもう5年生になっているので子育てに関してはだいぶ楽になりましたが、核家族だったため、アフタースクールはとても有難かったです。やはり、子どもが小さい時は、日常的に見ていただく体制が整っていないと、現在、働くお母さんが多い中で、思うような働き方ができないのが現状だと思います。ただ、子どもを保育園等に預けすぎにならないように、頼りすぎないように、親としての関われる時間が少しでもあれば接することは必要不可欠だと思います。また、もっともっとワークライフバランスを確立していかなければならないと思います。
小中一貫やこども園の合併などが、教育・保育環境の充実につながるのか？年齢に合った環境の充実を考えてほしい。本当に支援が必要な家庭や子育て支援に税金を使ってほしい。
ありがたいことに、我が家は周りに祖父母など子育てだけでなくいろいろ助けてもらえる環境があります。そのため、思いつめたり、逃げ出せなかったりといった心理状態にはなりません。虐待についてはそれだけでなく、いろいろな要因があるのですが、まず何より周りの目、救いの手があれば防げるのではないかと思います。血縁者にこだわらず、ここに電話したら、ここに行ったら気持ちが楽になる、心に余裕ができる、そんな場所があればいいなと思います。
近隣市町で3回転居した中で子育てではないですが、保健部分について弱いと感じました。保健師による指導、かわりが希薄であり、説明が不十分と思い、他市は少子化が進み、1人の子どもに対し手厚いとまでは言いませんが保健師の対応に温かみを感じました。子育て環境も大事とは思いますが、初期のかかわりで不安なこと相談したいと思える「心」の保育環境を作ってほしいと思います。子育ての心配事を気軽に話せる場所作りができるよう期待しています。

自由意見（抜粋）
障害のある子への中学生以上になった時のアフターサービスがほしい。（学校が終わった後、アフタースクールの様に見て頂きたい）
市の郊外部分の歩道、街灯設備等、通学児童の安全に対する整備の充実。地域住民による見守り活動の拡大。
加東市に転居して参り、主人はもうすでに転勤となりましたが、子育ての環境が他のどの地域よりすばらしかったので、子ども達の意見も尊重して加東市で子育てをしております。まず、図書館のすばらしさには、引越してきた時から今も称賛しております。子育てに必要な本は十分すぎるくらいで満たされております。公園もあり、教育環境もしっかり学習できる学校もあり満足しております、ただ、転居してきて驚いたのが、市民プールがない。その様なところが今まで経験しておらず、これ程熱心な地域なのに残念でした。少しそういった点が老害のある老人発言が強い地域からの脱却が出来ていないところかなと新参者の私が加東市を第三者的に垣間見た所存です。幸せな子育てをさせて頂いています、加東市に母子共々心より感謝申し上げます。
子どものランドセルの重さが全く減っていません。道徳や保健体育、図工の本等、日々の宿題に関係ない本は学校に置ける様にしてください。大人が持っても驚くくらいの重さで、それを毎日背負って数km往復歩いて通学するので肩や背中腰が心配です。ドリルノートは不要だと思います。ノートに書き写せば済みます。その為にまたノートが1冊増えています。2学年使う教科書も薄くして1年で1冊になれば荷物が軽くなります。ドリル類も1頁づつに分けて使用したりコピーすれば荷物も減ります。昔に比べノートやドリルがどんどん増えて毎日持参する等、荷物が増える一方です。加東市は防災の準備がかなり遅れています。子ども達全員防災（防火）頭巾の座布団を持たせた方がいいと思います。
P T A役員や子ども会役員、旗当番など負担が多すぎる。なぜ役員会に子どもを残して夜遅くに出ないといけないのか。父親が早く帰ってくるとは限らないので、子どもだけでまかせている（現実）。何かあっても自己責任だろうし、廃止してほしい。昔と違い、今は共働きの世代も多いので、昔のままではおかしいと思う。疲れてしまう。
高校の無償化がのぞましい。
子どもに習い事をさせたいと思っても近くになくすべてくるまでの送り迎えが必要な為仕事との両立がとても大変です。ほとんどが社の方まで出ないといない、東条地区にも子育てしやすい環境を充実させてほしいです。
アフタースクールについて。夏休み期間中、1日あたり、例えば1000円など、単発で利用できる日があれば助かります。
滝野地区で不審者が目立つ。登下校時の見守り隊の場所は目立つ所だけで下校の子どもが1～2人になる離れたエリアは無人、人を配置するなら子どもの大勢の所よりも、手薄な所に配置する方が良いと思う。
これからもよろしくお願いします。
19時まで子どもを預かってくれる保育園で先生に祖父母に頼んでも、もっと早く迎えにくるようプレッシャーをかけられることがある。19時まで預かってくれるということでその園に決め仕事をしているのに、安心して子どもを預けて仕事をする事の出来る園ではないなと感じた。仕事をしている人が預けられるのが保育園なのに矛盾を感じた。教育に関しては、中学校の先生に対して、生徒とお友達みたいな先生が多いと感じた。また、子どもの自然に感じる感情（たとえば〇〇さんが嫌いとか）を否定し、子どもが精神的に追いつめられたことがある。良い、悪いことを教えてくれるのはいいが、自己を否定するような先生はいらない。自分だって嫌いな人の1人、2人はいるだろうと思う。嫌いという感情は認めつつ、でも、こういう接し方は相手を傷つけるからやめよう、とか、そういう人にはこんな風に接するとお互いに嫌な気持ちにならず、学校生活を送れるね、とか、そういう指導をしてくれたらいいのと思った。信頼して困ったことを相談できる先生がほとんどいなかった（いても産休でいなくなった）ことが残念。もう少し個々の先生が人間性を高めていただけたらな、と思う。

自由意見（抜粋）
障害者福祉がもっともっと充実してほしい。
発達障がいの子どもに対しての関わり方について、その子が困っている状況、状態についてどう関わっていけばいいのか？どう対応していけば子どもが混乱し困らなくなるのか、講習会に親として参加してきましたが、学校の先生方にもその様な講習会に参加し、今以上に発達障がい困っている子どもに対応できる取り組みをしていただきたいと思います。
子ども医療保険証の所得制限をなくしてほしい。
小学校では、休日でもよくグラウンドで遊んでいる子を見かけたり遊びにも行きますが、中学校でも部活等で使用していない時であれば遊べるようにしてもらえると、とても子どもたちは喜ぶと思う。公園では遊びが限られてしまい、ボール遊びをするとよく近所の人から叱られたり、冷たい視線を感じることもあるようなので。学校なら思いきって遊べるのでは？と思います。
世帯収入に関係なく子どもに対して充実した子育てができる支援をして頂きたい。1人親世帯でなくても手助けして頂けるサポート体制をわかりやすく説明して頂きたい。
子どもが少なく登下校の不安がやまない。家から学校まで遠いと友人と別れた後一人になる。親が迎えにいくなどという状況。一人で帰らせると不安。中学の子についても同じ。自転車だが、途中から外灯がなく暗い中一人で帰るのは安全面でどうなのか。現実には暗い中帰っているが、外灯などを充実させてほしい。
児童館が遠いので利用しづらい。図書館の隣など、子どもが利用しやすい場所の設置を希望します。
近所に住む子どもたち（幼児、小学生低学年）がかなり遅い時間になるまで街灯もない暗い場所で遊んでいます。その子どもたちの親もおしゃべり等で盛り上がっているらしく、なかなか帰ろうとしません。子どもたちの成長が著しい時期に夜遅くまで遊ばせておくのは生活リズムも乱れますし、防犯的にも危険だと思います。私個人の意見としてはなるべく早く帰宅して今日あった出来事などを話たり家族と会話する時間やふれあう時間をもっと増やせたらいいなと思ってしまいます。市町村によっては夕方5時頃になると防災行政無線で「早く帰りましょう」というアナウンスで呼びかけたりしているところもあります。加東市はなぜやらないのでしょうか？時間を知る目安になるし、無線がなったら帰ろう、というきっかけにもなるかと思います。あとは、市と協力して各保育・教育の現場から各家庭に子どもたちの成長や発達に影響を与えてしまう、犯罪につながるという内容で周知されることを望みます。このアンケートに記載するのは場違いだとは思いますが、心の声として書かせていただきました。
医療の無償化（高卒まで無条件）。高校授業無償化。
小中一貫校の場所は安全か。子どもを通わす上でとても心配である。何かあってからでは遅い。だれが責任をとるのか。はっきり示してほしい。その責任をかくごがある上での東条地域建設なら仕方ないが、誰も覚悟がなく、責任の所在がはっきりしないのなら納得できない。このような住民の声が出ているのに聞いてもらえないのはおかしい。建設に都合良い声ばかり反映され表に出される。不快。
ちょっと違うかもですが、医療費無料、所得制限なくしてほしい、不公平。
仕事と子育てを両立している家庭も多く、それに介護を抱えている家庭もあり、疲れきっている人を見ることがあります。そんな人達が少し楽になるようにサービスを提供して欲しいと思います。子どもは大きくなり大人へと成長します。その時「故郷（加東市）に帰ろう」や「故郷（加東市）ってこんな所だった」と思いだせるような加東市になって欲しいと思います。「今」の改革も大切ですが、5年先、10年先の未来への改革を願い多くの説明でよい未来になって欲しいです。
放課後にクラブ活動のようなものがあつたらいいのと思う。
ふりかえ休日が、月曜日が多いので、図書館は月曜日の休みを違う日にしてほしい。児童館があればいいと思います。



自由意見（抜粋）
中学校までしっかり勉強しても高校進学の際に通学の問題で行きたい高校行けないという現状があると思います。加東市内の3地区すべてから小野、三木、西脇への交通手段をなんとか充実させていただきたいです。せっかく学力があるのに小野に行けないのはかわいそうです。交通費も高いので家庭の負担が大きくなります。

資料編

資料編

1 就学前児童の調査票

就学前児童の保護者の方へ

加東市子ども・子育て支援に関するアンケート調査

皆様には、平素より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、本市では、平成27年3月に「加東市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て支援等にかかわる様々な施策・事業を推進してまいりました。

このたび、同計画の取組を検証するとともに、次期計画策定に向けて、市民の皆様の子育てや子育て支援に関する実態、ご意見・ご要望などを把握するため、ニーズ調査を実施することとなりました。この調査は、就学前のお子さんを無作為に選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。調査結果は、すべて統計的に処理され、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他に漏れたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成31年3月

加東市長 安田 正義

【ご記入にあたってのお願い】

- アンケートは、封筒の宛名のお子さんの保護者の方にご記入してください。
(無記名ですので、住所・氏名の記入は必要ありません。)
- ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などを記入していただく場合があります。
- 設問によって、「あてはまる番号1つに○」「あてはまる番号すべてに○」など、回答数を指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。
また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある() 内には、具体的な内容を記入してください。
- 数字で時間を記入いただく場合は、24時間制(例：午後6時→18時)で記入してください。
- 設問のご回答によって、次の設問にご回答いただく必要がなくなる場合がありますので、指示や矢印に従って回答してください。特に指示のない場合は次の設問にお進みください。
ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、

平成31年3月25日(月)までにご返封ください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

加東市 教育委員会 子ども未来部 子ども教育課
電話：(0795) 43-0546 FAX：(0795) 43-0559

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます

【主な子育て支援サービス】

- ◆アフタースクール(学童保育)
就労等の理由により、保護者が居間家庭にいない子どもを対象として、授業終了後や夏休み等の期間に、家庭に代わる生活の場として子どもの安全を確保し、健全育成を図る施設です。加東市では、各小学校区に1か所ずつ設置しています。(利用料：月額6,000円 長期休業期間：15,000円)
- ◆ファミリー・サポート・センター
子育ての援助を受けたい人(依頼会員)と、子育ての援助をしたい人(協力会員)を登録し、会員相互間で育児等の援助を行う事業です。(利用料：月～金曜日の7時から20時まで600円/時間、それ以外の時間は700円/時間、土日祝日は1000円増し)
- ◆病児・病後児保育
学校・保育所などへ通学・通所している子どもが発熱等の急病(病児)、病気の回復期(病後児)にあって、保育所などへ通えず、保護者が仕事などの都合により家庭で養育できない場合に、保育する事業です。
加東市では現在、病児病後児保育を実施しています。(利用料：1日2,000円)

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの小学校区(地区)はどこですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 社小学校区	2. 福田小学校区	3. 米田小学校区
4. 三草小学校区	5. 鴨川小学校区	6. 滝野南小学校区
7. 滝野南小学校区	8. 東栗家小学校区	9. 東栗家西小学校区

10. 分からない(お住まいの地区・自治会名：)

宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(□内に数字でご記入ください)

平成 □ □ 年 □ □ 月 生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいはいくらいますか。
宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。
※お子さんが5人以上の場合、末子の生年月月をご記入ください。(□内に数字でご記入ください)

きょうだい数 □ 人 末子の生年月月 平成 □ □ 年 □ □ 月 生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。
宛名のお子さんからみた関係をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。
(あてはまる番号1つに○)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。
※お子さんからみた関係をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父 5. その他()

宛名のお子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)にもっとも影響を与えると思う環境は何ですか。
※お子さんからみた関係をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 家庭 2. 地域 3. 幼稚園 4. 保育所
5. 認定こども園 6. その他()

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる → 問8-1へ
2. 緊急時もしくは用事の時に祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる → 問8-2へ
4. 緊急時もしくは用事の時に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない → 問9へ

問8-1 問8で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。
祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。
(あてはまる番号1つに○)

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的・精神的負担や時間的制約が大きく心配である
3. その他()

問8-2 問8で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。
友人・知人にみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 友人・知人の身体的・精神的負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的・精神的負担や時間的制約が大きく心配である
3. その他()

問9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所もありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. いる/ある → 問9-1へ 2. いない/ない → 問10へ

問9-1 問9で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。
お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる人は、誰(どこ)ですか。
(あてはまる番号すべてに○)

1. 祖父母等の親族 2. 友人や知人
3. 近所の人 4. 子育て支援施設(児童館等)
5. 保健センター 6. 発達サポートセンターはひあ
7. 保育所 8. 認定こども園
9. 幼稚園 10. 民生・児童委員
11. かかりつけの医師 12. 加東市役所の子育て担当窓口
13. その他()

宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
（母親、父親それぞれあてはまる番号1つに○）
※ひとり親家庭の場合は母親または父親のみお答えください。

選択肢	母親	父親
1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労している	1	1
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	2	2
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労している	3	3
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	4	4
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5	5
6. これまで就労したことがない	6	6

問10-1 問10-1～問10-2は、問10で「1」～「4」に○をつけた方にうかがいます。
1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。
（□内に数字をご記入ください）
※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

母親	1週当たり	□	日程度	1日当たり	□	時間程度
父親	1週当たり	□	日程度	1日当たり	□	時間程度

問10-2 家を出る時刻と帰宅時刻を、□内に数字をご記入ください。
※時刻が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
※時刻は、必ず（例）09時、18時のように、2時間間隔でお答えください。

母親	家を出る時刻	□	時	帰宅時刻	□	時
父親	家を出る時刻	□	時	帰宅時刻	□	時

問11 問10で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。⇒該当し441方は、問12へフルタイムへの転換希望はありますか。（母親、父親それぞれあてはまる番号1つに○）

選択肢	母親	父親
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1	1
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2	2
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	3	3
4. パート・アルバイト等の就労もやめて子育てや家事に専念したい	4	4

問12 問10で「5」または「6」に○をつけた方にうかがいます。⇒該当し441方は、問12へ就労したいという希望はありますか。（あてはまる番号・丸数字それぞれ1つに○）
※該当する□内には数字をご記入ください。

（1）母親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもの□□歳になったときに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

① フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	□
② パートタイム・アルバイト等（①以外）	□
→1週当たり	□
日当たり	□
時間程度	□

（2）父親

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもの□□歳になったときに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

① フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	□
② パートタイム・アルバイト等（①以外）	□
→1週当たり	□
日当たり	□
時間程度	□

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業（幼稚園や保育所、認定こども園など）の利用状況についてうかがいます。

※ここでの「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所、認定こども園など、問13-1に示した事業が含まれます。

問13 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所、認定こども園などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。（あてはまる番号1つに○）

1. 利用している ⇒ 問13-1へ 2. 利用していない ⇒ 問14へ

問13-1 問13-1～問13-2は、問13で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。
※年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。
（あてはまる番号すべてに○、そのうち最も利用している番号1つに◎）
※1週当たり何回、1日当たり何時間（何時間分）かを、□内に数字でご記入ください。
※時間（時刻）は、必ず（例）08時00分、18時30分のように24時間制でご記入ください。

利用時間	希望	1週		利用時間	
		現在	希望	現在	希望
0. 例 ○○○園	現在	3	日	0	9時00分～15時00分
	希望	5	日	0	9時00分～17時30分
1. 幼稚園（通常の就学時間の利用）	現在	日	時	分～	時
	希望	日	時	分～	時
2. 保育所	現在	日	時	分～	時
	希望	日	時	分～	時
3. 認定こども園	現在	日	時	分～	時
	希望	日	時	分～	時
4. 事業所内保育（企業が主に従業員に提供する施設）	現在	日	時	分～	時
	希望	日	時	分～	時
5. その他の認可外の保育施設	現在	日	時	分～	時
	希望	日	時	分～	時
6. その他（ ）	現在	日	時	分～	時
	希望	日	時	分～	時

問13-2 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。（あてはまる番号1つに○）

1. 加東市内 2. 市外（市町名： ）

問14 すべての方にうかがいます。

現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業（現在、加東市で実施されていない事業も含む）はどれですか。（事業ごとにあてはまる番号1つに○）
※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかりますが、回答にあたっては、それぞれの事業が無償である場合も想定した上でお答えください。

教育・保育事業の内容	利用意向		
	利用料が かかっても 利用したい	無償であれば 利用したい	利用したいと は思わない
①幼稚園（通常の就学時間の利用）	1	2	3
②幼稚園の預かり保育（通常の就学時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）	1	2	3
③保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの）	1	2	3
④認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）	1	2	3
⑤小規模な保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）	1	2	3
⑥家庭の保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもの保育をする事業）	1	2	3
⑦事業所内保育施設（企業が主に従業員に提供する施設）	1	2	3
⑧自治体の認証・認定保育施設（保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）	1	2	3
⑨その他の認可外の保育施設	1	2	3
⑩在宅訪問型保育（ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）	1	2	3
⑪児童発達支援施設（児童発達支援や放課後等デイサービスなどの事業を行う施設）	1	2	3
⑫ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	1	2	3
⑬その他（ ）	1	2	3

問14-1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。（あてはまる番号1つに○）

1. 加東市内 2. 市外（市町名： ）

問14-2 問14で1～2のいずれかの事業で「1」または「2」に○をつけ、かつ3～13のいずれかの事業にも「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。
特に幼稚園（幼稚園の預かり保育も含めて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（あてはまる番号1つに○）

1. はい 2. いいえ

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問15 宛名のお子さんは、現在、児童館等（やしろこどもいえ、きらら、東条館こいランド）や、保育所・幼稚園・認定こども園等で実施されている子育てひろば等を利用していますか。
（あてはまる番号すべてに○）
※なおその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

1. 児童館を利用している
1週当たり ☐ 回 もしくは 1ヶ月当たり ☐ 回 程度
2. その他、市内で開催されている類似のサービス（子育てひろば等）を利用している
（具体名：）
1週当たり ☐ 回 もしくは 1ヶ月当たり ☐ 回 程度
3. 利用していない

問16 問15のような施設・サービスについて、今は利用していないができれば利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。（あてはまる番号1つに○）
※なおその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい
（利用したい施設・サービス名：）
1週当たり ☐ 回 もしくは 1ヶ月当たり ☐ 回 程度
2. すでに利用しているが、利用日数を増やしたい
1週当たり 更に ☐ 回 もしくは 1ヶ月当たり 更に ☐ 回 程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

8

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休業中の「定期的な」教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問17 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。（一時的な利用は除きます）
（1）（2）それぞれについて、あてはまる番号1つに○
※希望がある場合は、利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。
（例）08時、18時のように24時間制でご記入ください。
※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。
※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認定こども園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

- （1）土曜日
1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい
- 利用したい時間帯 時から 時まで
- （2）日曜・祝日
1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい
- 利用したい時間帯 時から 時まで

問17-1 問17の（1）もしくは（2）で、「3」に○をつけた方うかがいます。

毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまる番号1つに○）
1. 月に数回仕事が入るため 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要のため 4. リフレッシュのため
5. その他（）

問18 現在、「幼稚園」を利用している方うかがいます。 → 利用していない方は、問19へ
宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休業期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。（あてはまる番号1つに○）
※希望がある場合は、利用したい時間帯を、口内に数字でご記入ください。
（例）08時、18時のように24時間制でご記入ください。
※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数回利用したい
- 利用したい時間帯 時から 時まで

問18-1 問18で「3」に○をつけた方うかがいます。

毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（あてはまる番号1つに○）
1. 週に数回仕事が入るため 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いが必要のため 4. リフレッシュのため
5. その他（）

9

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。 （平日の定期的な教育・保育事業を利用する方のみ）

問19 平日の定期的な教育・保育事業を利用していると答えた保護者の方（問13で「1. 利用している」に○をつけた方）にうかがいます。 → 利用していない方は、問20へ
この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業を利用できなかったことはありますか。（あてはまる番号1つに○）

1. あった ⇒ 問19-1へ 2. なかった ⇒ 問20へ

問19-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育事業を利用できなかった場合に、この1年間に行った対応方法はどれになりますか。（あてはまる番号すべてに○）
※それぞれ、なおその日数も口内に数字でご記入ください。（平日程度の場合も1日と数えます。）

1年間の対応方法	日数
1. 父親が仕事を休んで子どもをみた	☐ 日
2. 母親が仕事を休んで子どもをみた	☐ 日
3. （同居人を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	☐ 日
4. 父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた	☐ 日
5. 病児・病後児保育施設を利用した	☐ 日
6. ベビーシッターを利用した	☐ 日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	☐ 日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	☐ 日
9. その他（ ）	☐ 日

⇒ 問19-2 問19-1で「1」「2」のいずれかに○をつけた方うかがいます。
その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。
（あてはまる番号1つに○）
※日数についても口内に数字でご記入ください。（1年間でお考えください）
※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ ☐ 日
2. 利用したいとは思わない

10

宛名のお子さんの不規則的な教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問20 宛名のお子さんについて、定期的な保育や病気のため以外に、私用・親の介護、不規則的な就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（あてはまる番号すべてに○）
※1年間のおおよその利用日数も口内に数字でご記入ください。

利用している事業	日数（年間）
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	☐ 日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の幼稚園預かり保育と異なり、預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ）	☐ 日
3. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	☐ 日
4. ベビーシッター	☐ 日
5. その他（ ）	☐ 日
6. 利用していない	☐ 日

問21 宛名のお子さんについて、私用・親の介護、不規則的な就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いませんか。利用希望の有無・日数をお答えください。
（あてはまる番号・日数すべてに○）
※利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。
※なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計	日
① 私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の買い物等）、リフレッシュ目的	☐ 日	☐ 日
② 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	☐ 日	☐ 日
③ 不規則的な就労	☐ 日	☐ 日
④ その他（ ）	☐ 日	☐ 日
2. 利用する必要はない	☐ 日	☐ 日

11

問22 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、寄名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありませんか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。（あてはまる番号・丸数字すべてに○）
※それぞれの前数も口内に数字でご記入ください。

1年間の対応方法	年間日数	
1. あった	①（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	☐ 泊
	② 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	☐ 泊
	③ 24時間保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	☐ 泊
	④ 仕方なく子どもを同行させた	☐ 泊
	⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	☐ 泊
2. なかった	⑥ その他（ ）	☐ 泊

問22-1 問22で「1. あった ①（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。 ①「1. ①」以外を選択した方は、問22の
その場合の困難度はどの程度でしたか。（あてはまる番号1つに○）

1. 非常に困難 2. どちらかという程度 3. 特に困難ではない

12

寄名のお子さんが5歳以上の方に、 小学校就学後の放課後の過ごし方の希望をうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問28へ

問23 寄名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）
※それぞれ該当する該当する日数を口内に数字でご記入ください。
※「アフタースクール」「放課後等デイサービス、タイムアップ」の場合には、利用を希望する時間口内に数字でご記入ください。

（例）18時のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	☐ 日くらい
2. 祖父母宅や叔父・叔母宅	☐ 日くらい
3. 習い事（ピアノ、サッカー、習字など）	☐ 日くらい
4. 児童館	☐ 日くらい
5. 地域子ども教室	☐ 日くらい
6. アフタースクール（学童保育）	☐ 日くらい 一下校時から ☐ 時まで
7. 放課後等デイサービス、タイムアップ	☐ 日くらい 一下校時から ☐ 時まで
8. ファミリー・サポート・センター	☐ 日くらい
9. その他（ ）	☐ 日くらい

※「地域子ども教室」……地域の内外の協力を得て、放課後などに小学校や公民館で学級、集団あそびやスポーツ、文化芸術活動（製作活動・音楽など）などを体験する取組です。

問24 寄名のお子さんが小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）
※それぞれ該当する該当する日数を口内に数字でご記入ください。
※「アフタースクール」「放課後等デイサービス、タイムアップ」の場合には、利用を希望する時間口内に数字でご記入ください。

（例）18時のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	☐ 日くらい
2. 祖父母宅や叔父・叔母宅	☐ 日くらい
3. 習い事（スポーツクラブ、塾など）	☐ 日くらい
4. 児童館	☐ 日くらい
5. 地域子ども教室	☐ 日くらい
6. アフタースクール（学童保育）	☐ 日くらい 一下校時から ☐ 時まで
7. 放課後等デイサービス、タイムアップ	☐ 日くらい 一下校時から ☐ 時まで
8. ファミリー・サポート・センター	☐ 日くらい
9. その他（ ）	☐ 日くらい

※「地域子ども教室」……地域の内外の協力を得て、放課後などに小学校や公民館で学級、集団あそびやスポーツ、文化芸術活動（製作活動・音楽など）などを体験する取組です。

13

問25 問23または問24で「6. アフタースクール（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。
寄名のお子さんについて、アフタースクールを利用したい場所はどこですか。
（あてはまる番号1つに○）

1. 学校近くの施設 2. 勤務場所に近い施設
3. 通学経路にある施設 4. 自宅に近い施設

問26 問23または問24で「6. アフタースクール（学童保育）」に○をつけた方にうかがいます。
寄名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、アフタースクールの利用希望はありますか。
（1）～（2）それぞれについて、あてはまる番号1つに○）
※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。
※利用したい日数と時間帯を口内に数字でご記入ください。
（例）08時、18時のように24時間制でご記入ください。

（1）土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい ☐ 1ヶ月あたり ☐ 日

2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい ☐ 利用したい時間帯 ☐ 時から ☐ 時まで

3. 利用する必要はない ☐ 時

（2）日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい ☐ 1ヶ月あたり ☐ 日

2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい ☐ 利用したい時間帯 ☐ 時から ☐ 時まで

3. 利用する必要はない ☐ 時

問27 寄名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中のアフタースクールの利用希望はありますか。（あてはまる番号1つに○）
※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。
※利用したい日数と時間帯を口内に数字でご記入ください。
（例）08時、18時のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい ☐ 1ヶ月あたり ☐ 日

2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい ☐ 利用したい時間帯 ☐ 時から ☐ 時まで

3. 利用する必要はない ☐ 時

14

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問28 すべての方にうかがいます。
寄名のお子さん生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたが、
（母親、父親それぞれあてはまる番号1つに○）
※取得していない方は、下の表からその理由をご記入ください。
（母親、父親それぞれあてはまる番号すべてに○）
※取得していない方はその理由をご記入ください。

（1）母親（いづれかに○）	（2）父親（いづれかに○）
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である）	2. 取得した（取得中である）
3. 取得していない	3. 取得していない
⇒ 取得していない理由 （下から番号を選んで記入ください） （いくつでも）	⇒ 取得していない理由 （下から番号を選んで記入ください） （いくつでも）
1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	
2. 仕事で忙しかった	
3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった	
4. 仕事に返るのが遅そうだった	
5. 育児・育児などが遅れそうだった	
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる	
7. 保育園などに預けることができた	
8. 配偶者が育児休業制度を利用した	
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	
10. 子育てや家事に専念するため退職した	
11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めなかった）	
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	
13. 育児休業を取得できることを知らなかった	
14. 産休（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した	
15. その他 母親（ ） 父親（ ）	

問28-1 問28の（1）もしくは（2）で「2. 取得した（取得中である）」に○をつけた方で、すでに職場に復帰されている方にうかがいます。⇒ 産後4ヶ月は、問29へ
育児休業から「復帰」に職場復帰した方は、お子さんが何歳何ヶ月のときでしたか。また、お勤め先の育児休業制度の期間中の「希望」の育児休業期間としては、お子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたいですか。（口内に数字でご記入ください）

母親	実際の取得期間	歳	ヶ月	希望の取得期間	歳	ヶ月
父親	実際の取得期間	歳	ヶ月	希望の取得期間	歳	ヶ月

15

(1)「義理」より早く準備した方

(1)「希望」より半く減額した方

(2)「希望」より速く帰偏した方			
	選択数	母親	父親
1. 希望する保育所にいれなかったため		1	1
2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため		2	2
3. 配偶者や家族の希望があったため		3	3
4. 園場の受け入れ態勢が整っていないだったため		4	4
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため		5	5
6. その他()		6	6

1. 楽しいと感じることの方が多い
2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい
3. 辛いと感じることの方が多い
4. わからない
5. その他 (

1	子育てに関する相談、情報提供、交流の場の充実	2	読書や読聞かせの充実
3	親同士や高齢者との世代間交流の充実	4	子どもの権利や権利保障の充実
5	家族の大切さを学ぶことのできる環境の充実	6	子どもの返事機能の充実
7	園や学校教育課程の充実	8	園の外部交流の充実
9	放課後の子どもの憩いの場の充実	10	児童虐待やいじめ等の対策の充実
11	ことし年度実施に対する意見の充実	12	障がいのある子どもへの配慮の充実

13. 行事や子育ての自立に関する事業主や職員に対する啓発

14. 授乳コーナーなどの子どもにやさしい環境整備の充実

15. 犯罪や交通事故から子どもを守る取組の充実

16. 森の大切さ、性質や動物等に対する知識の習得機能の充実

17. その他（ ）

[illegible]

17

2 小学生の調査票

小学生の保護者の方へ

加東市子ども・子育て支援に関するアンケート調査

皆様には、平素より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
さて、本市では、平成27年3月に「加東市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て支援等にかかわる様々な施策・事業を推進してまいりました。

このたび、同計画の取組を検証するとともに、次期計画策定に向けて、市民の皆様の子育てや子育て支援に関する実態、ご意見・ご要望などを把握するため、ニーズ調査を実施することとなりました。この調査は、小学生のお子さんを無作為に選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。調査結果は、すべて統計的に処理され、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他に漏れたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成31年3月

加東市長 安田 正義

【ご記入にあたってのお願い】

- 1 アンケートは、封筒の宛名のお子さんの保護者の方にご記入してください。
(無記名ですべて、住所・氏名の記入は必要ありません。)
- 2 ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。
- 3 設問によって、「あてはまる番号1つに○」か「あてはまる番号すべてに○」など、回答数を指定している場合は、指定の範囲内で○をつけてください。
また、「その他」をお選びいただいた場合、その後にある()内には、具体的な内容を記入してください。
- 4 数字で時間を記入いただく場合は、24時間制(例：午後6時→18時)で記入してください。
- 5 設問のご回答によって、次の設問に回答していただく必要なくなる場合がありますので、指示や矢印に従って回答してください。特に指示のない場合は次の設問にお進みください。

ご記入が済みましたら、お手数ですが同封の返信用封筒に入れて、

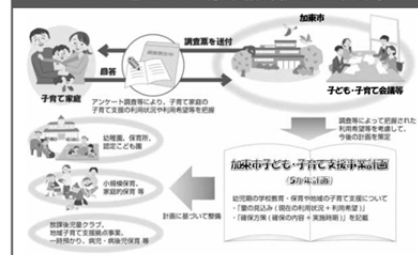
平成31年3月25日(月)までにご投函ください。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

加東市 教育委員会 子ども未来部 こども教育課

電話：(0795) 43-0546 FAX：(0795) 43-0559

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



【主な子育て支援サービス】

◆アフタースクール(学童保育)

就労等の理由により、保護者が昼間家庭にいない子どもを対象として、授業終了後や夏休み等の期間に、家庭に代わる生活の場として子どもの安全を確保し、健全育成を図る施設です。加東市では、各小学校区に1か所ずつ設置しています。(利用料：月額6,000円 ※長期休業期間：15,000円)

◆ファミリー・サポート・センター

子育ての援助を受けたい人(依頼会員)と、子育ての援助をしたい人(協力会員)を登録し、会員相互間で育児等の援助を行う事業です。(利用料：月～金曜日の7時から20時まで600円/時間、それ以外の時間は700円/時間、土日祝日は1000円増し)

◆病児・病後児保育

学校・保育所などへ通学・通所している子どもが発熱等の急病(病児)、病気の回復期(病後児)にあつて、保育所などへ通えず、保護者が仕事などの都合により家庭で養育できない場合に、保育する事業です。

加東市では現在、病児病後児保育を実施しています。(利用料：1日2,000円)

1

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの小学校区(地区)はどこですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|---------------------------|------------|------------|
| 1. 社小学校区 | 2. 稲田小学校区 | 3. 米田小学校区 |
| 4. 三好小学校区 | 5. 鴨川小学校区 | 6. 滝野東小学校区 |
| 7. 滝野南小学校区 | 8. 東栗東小学校区 | 9. 東栗西小学校区 |
| 10. 分からない(お住まいの地区・自治会名：) | | |

宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(□内に数字でご記入ください)

平成 年 月 生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいはいくらいますか。

※宛名のお子さんを含めた人数を□内に数字でご記入ください。
※お兄さんが2人以上の場合は、末子の生年月月を記入してください。(□内に数字でご記入ください)

きょうだい数 人 末子の生年月月 平成 年 月 生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。

宛名のお子さんからみた関係をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 母親 2. 父親 3. その他()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしているのはどなたですか。

※お子さんからみた関係をお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他()

2

宛名のお子さんの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)にもっとも影響を与えると思う環境は何ですか。

※お子さんからみた関係をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 家庭 2. 地域 3. 幼稚園 4. 保育所
5. 認定こども園 6. その他()

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の場には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の場には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

⇒ 問8-1へ

⇒ 問8-2へ

⇒ 問9へ

問8-1 問8で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

祖父母等の親族に宛名のお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。

(あてはまる番号1つに○)

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的・精神的負担や時間的制約が大きく心配である
3. その他()

問8-2 問8で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。

友人・知人にみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号1つに○)

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的・精神的負担や時間的制約が大きく心配である
3. その他()

問9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. いる/ある ⇒ 問9-1へ 2. いない/ない ⇒ 問10へ

問9-1 問9で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|------------------|-------------|------------------|
| 1. 祖父母等の親族 | 2. 友人や知人 | 3. 近所の人 |
| 4. 子育て支援施設(児童館等) | 5. 保健センター | 6. 発達サポートセンターはぴあ |
| 7. 保育所 | 8. 認定こども園 | 9. 幼稚園 |
| 10. 小学校 | 11. 民生・児童委員 | 12. かかりつけの医師 |
| 13. その他() | | |

3



問16 問14または問15で「6. アフタースクール(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんについて、アフタースクールを利用したい場所はどこですか。
(あてはまる番号1つに○)

1. 学校近くの施設 2. 勤務場所に近い施設 3. 自宅に近い施設

問17 問14または問15で「6. アフタースクール(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。
宛名のお子さんについて、土曜日と日曜・祝日に、アフタースクールの利用希望はありますか。
(1)～(2)それぞれについて、あてはまる番号1つに○)
※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。
※利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。
(例) 08時、18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 土曜日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 1ヶ月あたり 日
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい 利用したい時間帯
3. 利用する必要はない 時から 時まで

(2) 日曜・祝日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 1ヶ月あたり 日
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい 利用したい時間帯
3. 利用する必要はない 時から 時まで

問18 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休業期間中のアフタースクールの利用希望はありますか。(あてはまる番号1つに○)
※事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。
※利用したい日数と時間帯を口内に数字でご記入ください。
(例) 08時、18時のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい 1ヶ月あたり 日
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい 利用したい時間帯
3. 利用する必要はない 時から 時まで

加東市の子育て支援施策についてうかがいます。

問19 すべての方にうかがいます。
ご自身にとって、子育てを楽しいと感じることが多いですが、それとも辛いと感じることが多いですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 楽しいと感じることが多い
2. 楽しいと感じることが多いと感じることが同じくらい
3. 辛いと感じることが多い
4. わからない
5. その他 ()

問20 加東市に対して、どのような子育て支援の充実を希望しますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子育てに関する相談、情報提供、交流の場の充実 2. 健診や訪問などの充実
3. 親同士や高齢者との世代間交流の場の充実 4. 食に関する指導や情報提供の充実
5. 家族の絆の大切さを学ぶことができる場の充実 6. 子どもの医療機関の充実
7. 園や学校教育環境の充実 8. 園のか所数や内容の充実
9. 放課後等の子どもの居場所の充実 10. 児童虐待やいじめ等の対策の充実
11. ひとり親家庭に対する支援の充実 12. 障がいのある子どもへの施策の充実
13. 仕事や子育ての両立について事業主や職場に対する啓発
14. 授乳コーナーなどの子どもにやさしい環境整備の充実
15. 犯罪や交通事故から子どもを守る取組の充実
16. 命の大切さ、性や薬物等に対する知識の習得機会の充実
17. その他 ()

自由意見欄

問21 最後に、教育・保育環境の充実など子育て環境や支援に関してご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
同封の封筒(切手は貼らず)に入れ、
平成31年3月25日(月)までに郵便ポストへご投函ください。

第2期加東市
子ども・子育て支援に関するアンケート調査
結果報告書

発行日 平成31年3月

発行者 教育委員会 こども未来部 こども教育課

〒673-1493 兵庫県加東市社50番地

TEL 0795-43-0546 FAX 0795-43-0559

URL <http://www.city.kato.lg.jp/>

